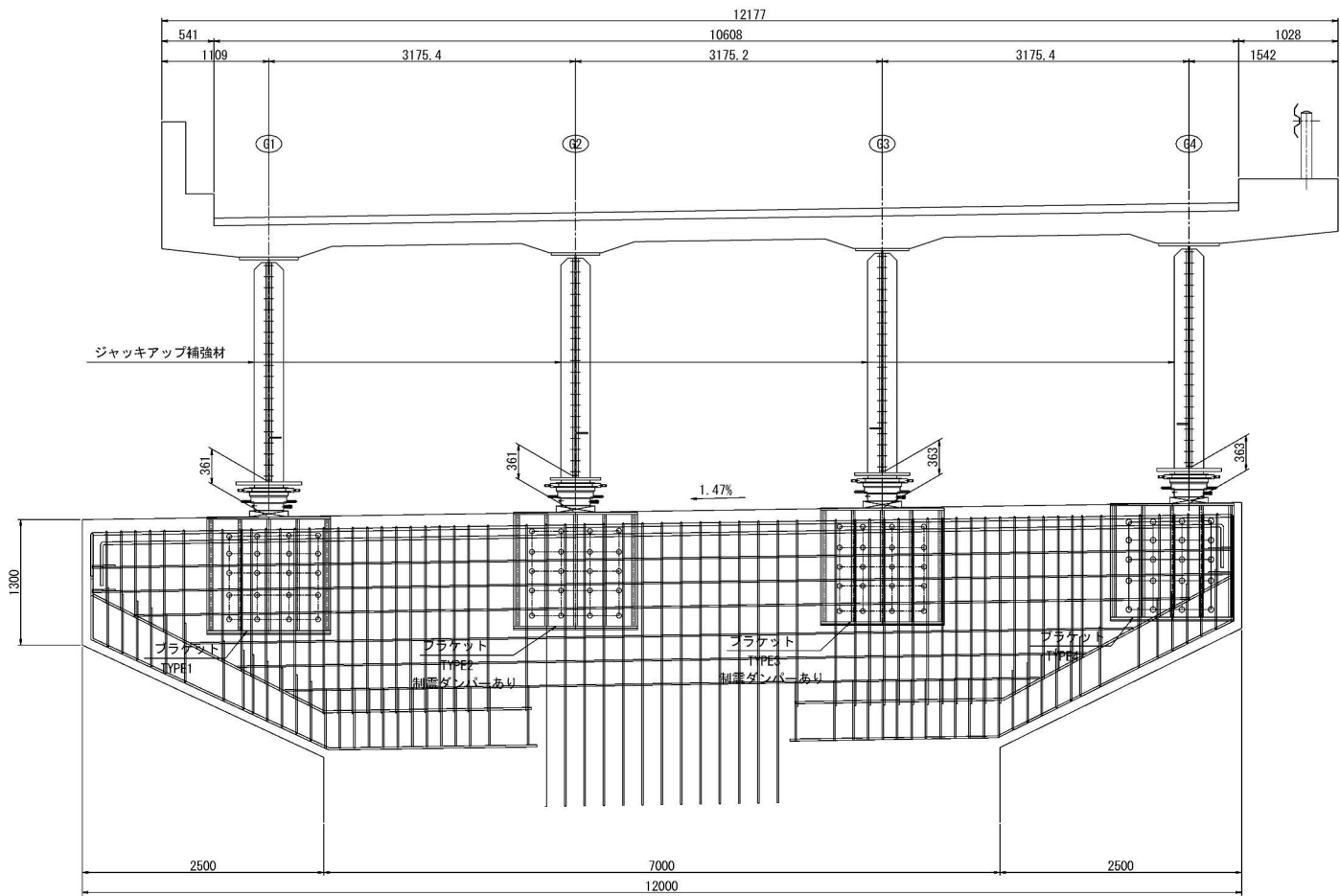
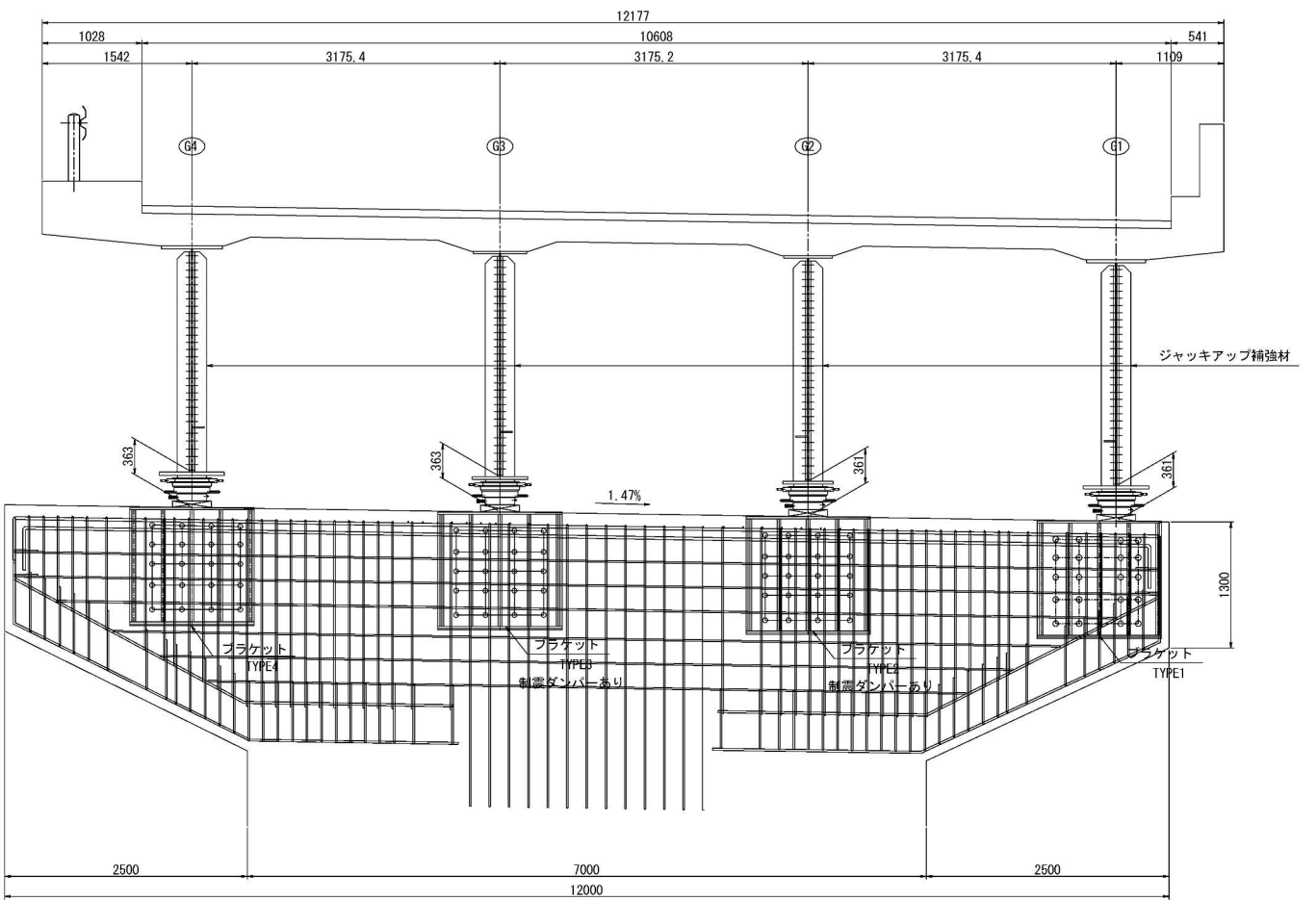


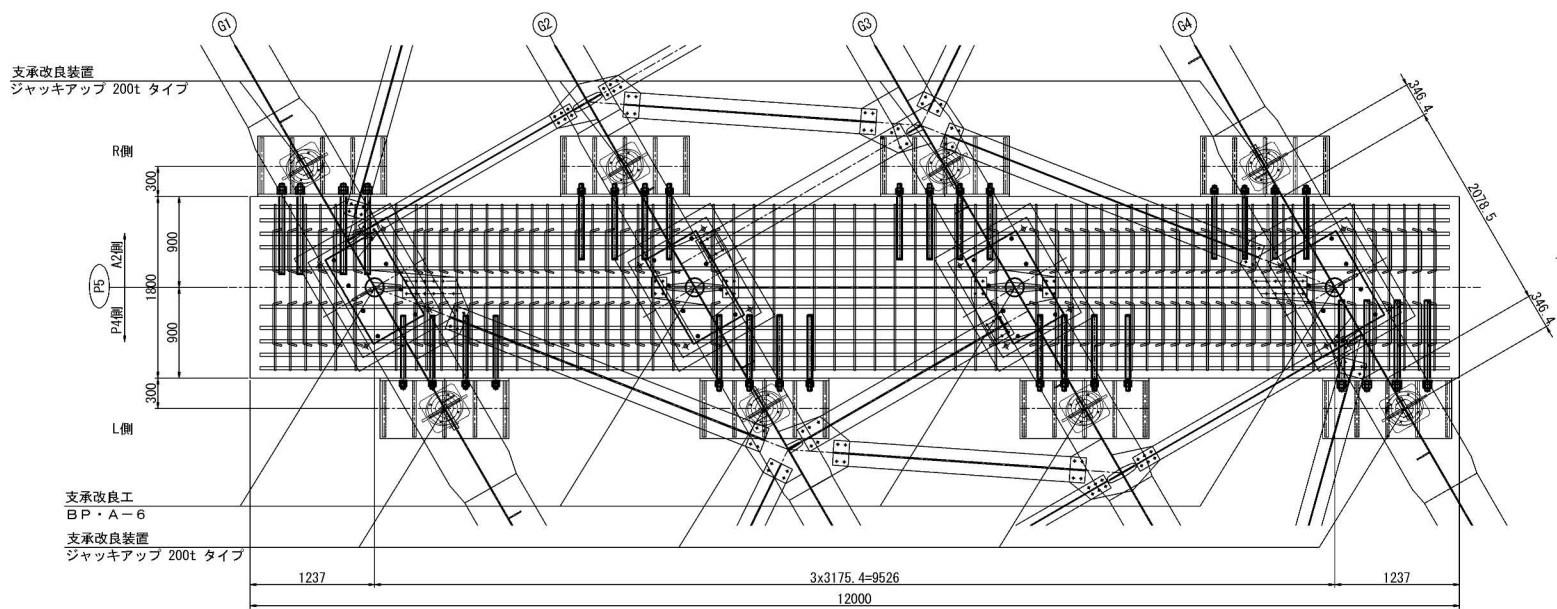
正面図
P4側



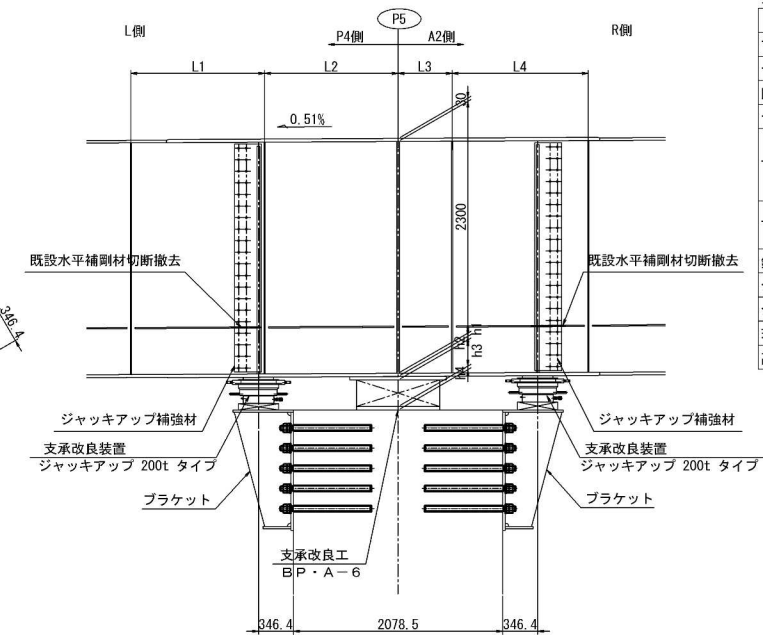
正面図
A2側



平面図



側面図



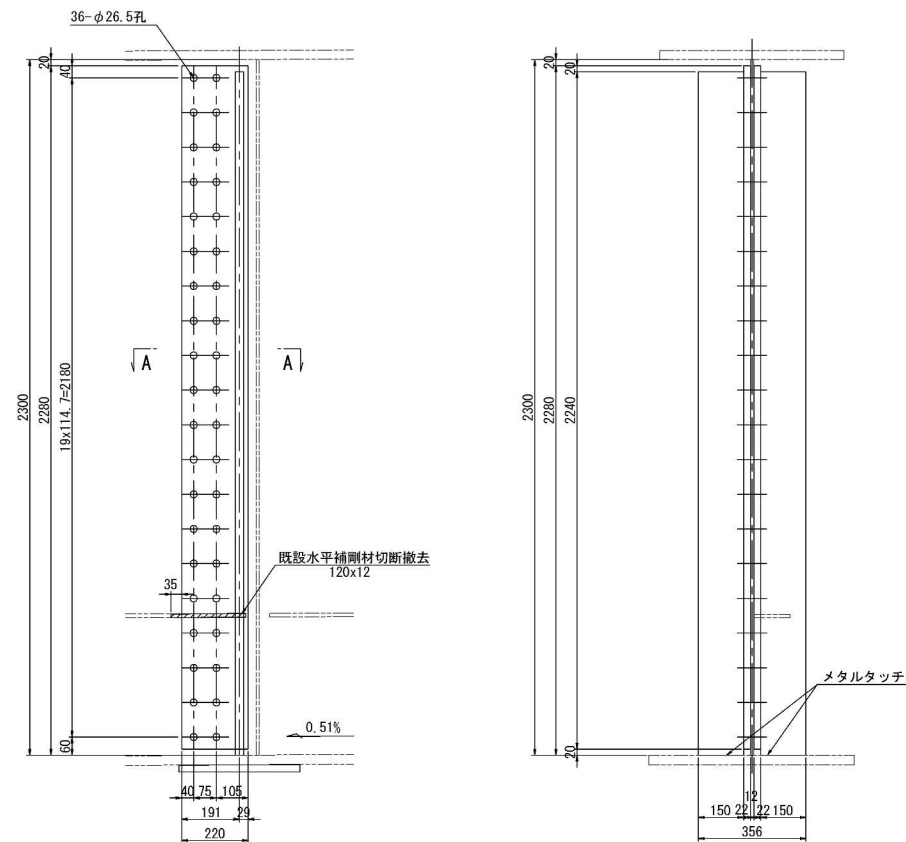
単価表の項目	単位	数量	摘要
支承改良工	BP・A-6	箇所	4.0

種別	規格・寸法	単位	数量	摘要
下宥撤去	SC46	箇所	4.0	
サイドブロック撤去	SC46またはSS41	箇所	4.0	
既設水平補剛材撤去	SM400A	m	3.2	撤去重量24kg
サイドブロック復旧	SC46またはSS41	箇所	4.0	
アンカーボルト	SD345 D41 L=720mm	本	40.0	M39用1種N.W付
	SD345 D41 L=740mm	本	80.0	M39用1種N.W付
	SD345 D51 L=890mm	本	40.0	M48用1種N.W付
アンカー工	φ51 L=625mm	本	120.0	水平方向
	φ61 L=775mm	本	40.0	水平方向
鋼製ブラケット	図示	t	9.024	
ジャッキアップ補強材	SM400A	t	2.568	
ジャッキベースプレート	SS400	t	0.272	
現場孔明工	φ26.5	箇所	320.0	
高力ボルト本締工	TCB M22x95(S10T)	本	320.0	

注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。

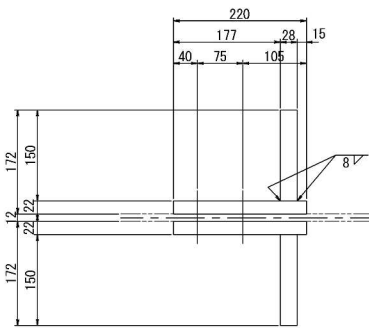
八戸自動車道 楡引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P5橋脚支承改良工図(その13)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

P4側-G1

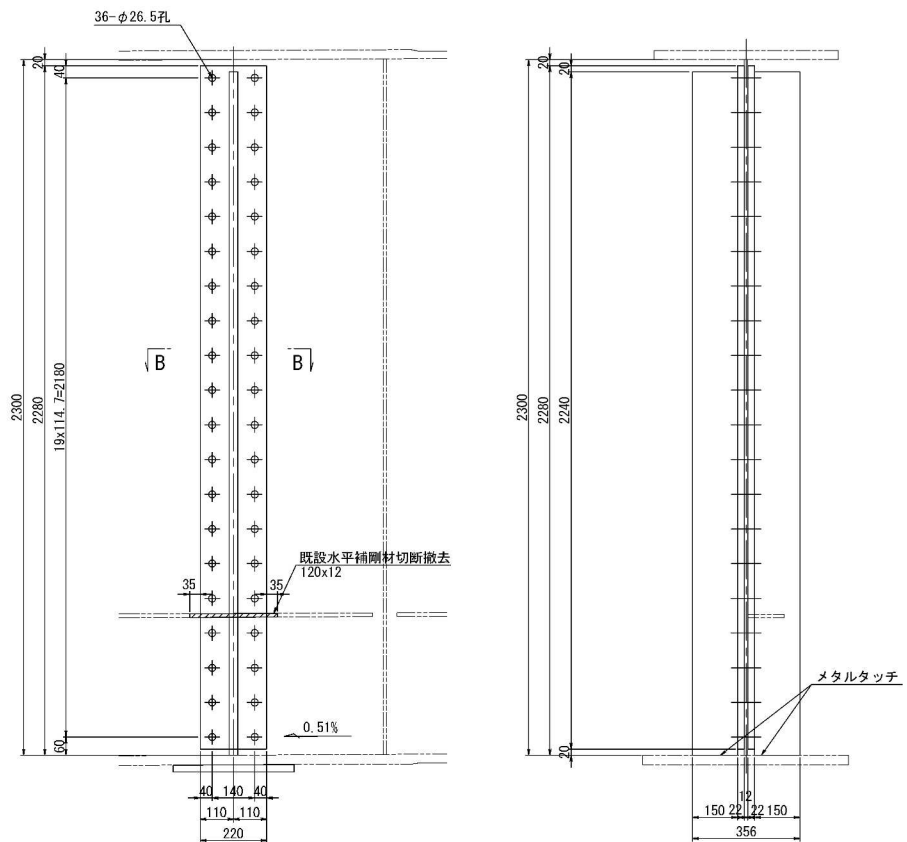


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x247 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x28x2260
40-TCB M22x95 (S10T)

A - A S=1:12.5

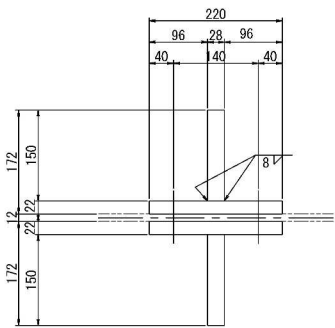


A2側-G1

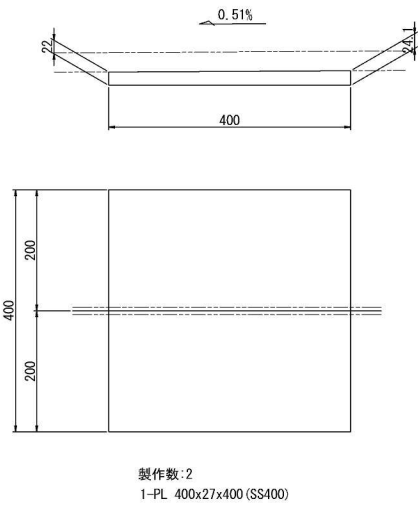


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x290 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x28x2260
40-TCB M22x95 (S10T)

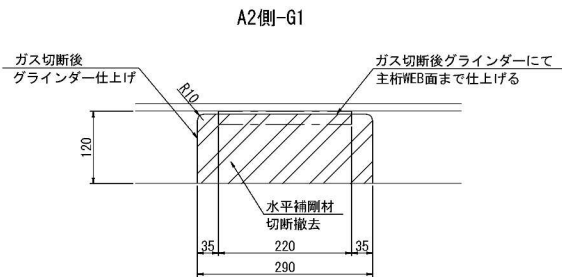
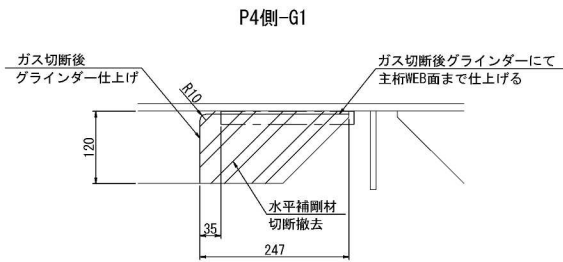
B - B S=1:12.5



ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5



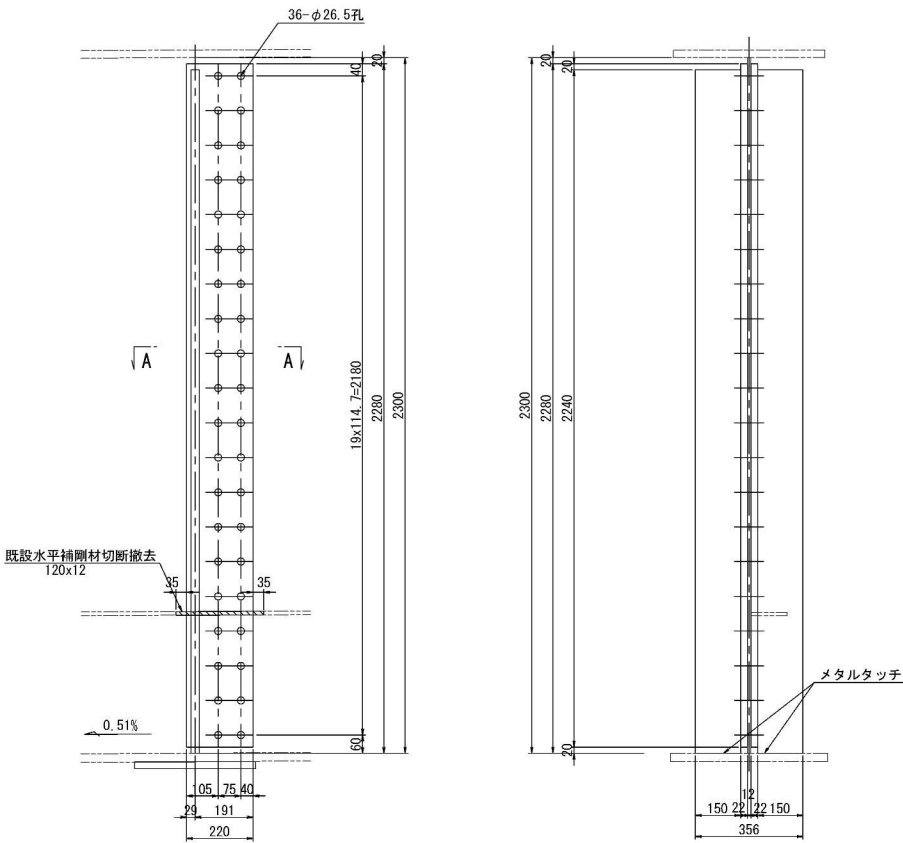
水平補剛材切断詳細 S=1:12.5



注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し 結果を反映の上決定のこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 特記なきスカーラップはR35とする。
4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

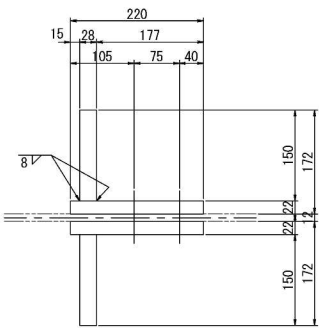
八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P5橋脚支承改良工図(その14)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

P4側-G2

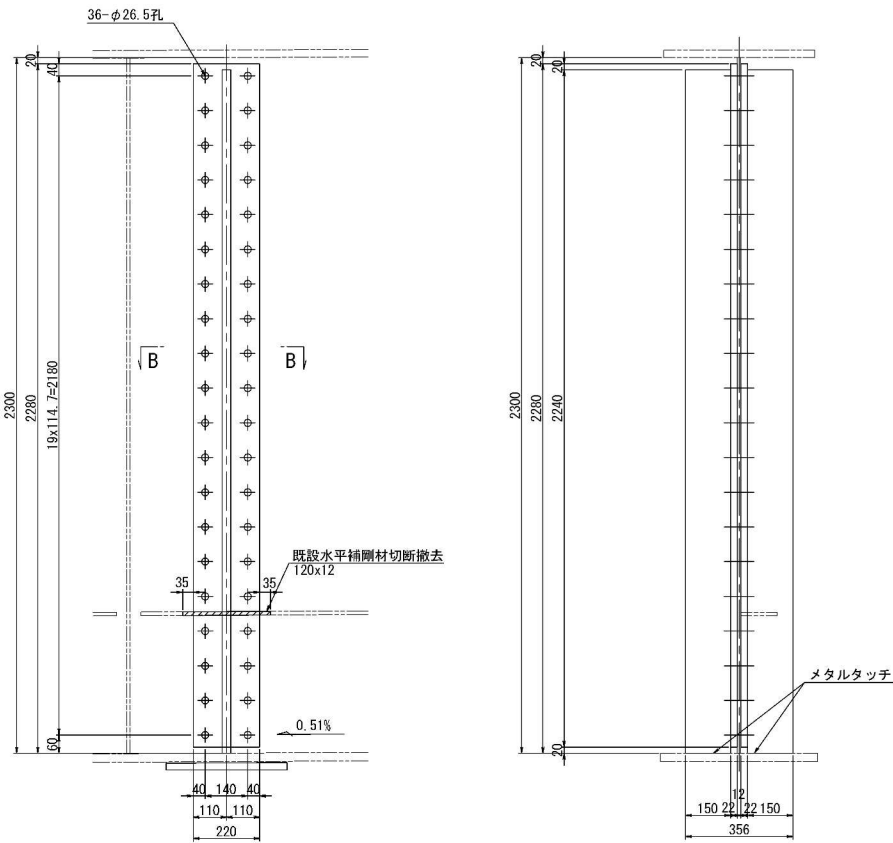


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x290 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x28x2260
40-TCB M22x95 (S10T)

A - A S=1:12.5

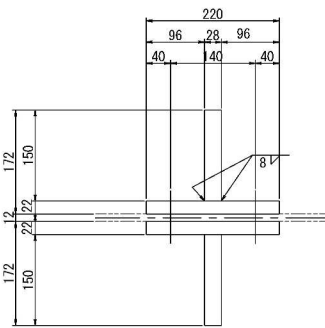


A2側-G2

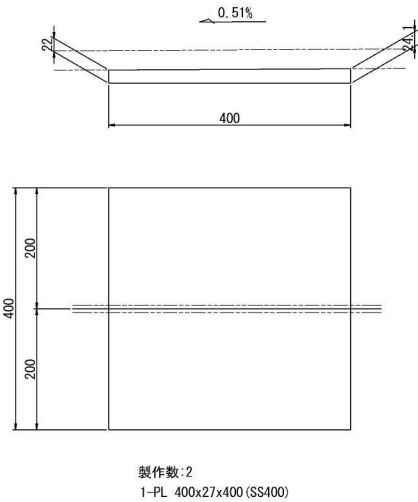


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x290 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x28x2260
40-TCB M22x95 (S10T)

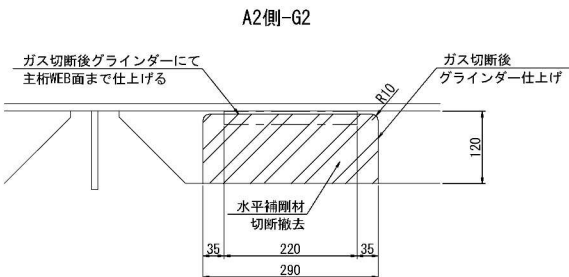
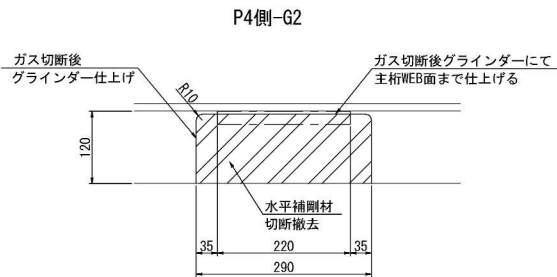
B - B S=1:12.5



ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5



水平補剛材切断詳細 S=1:12.5

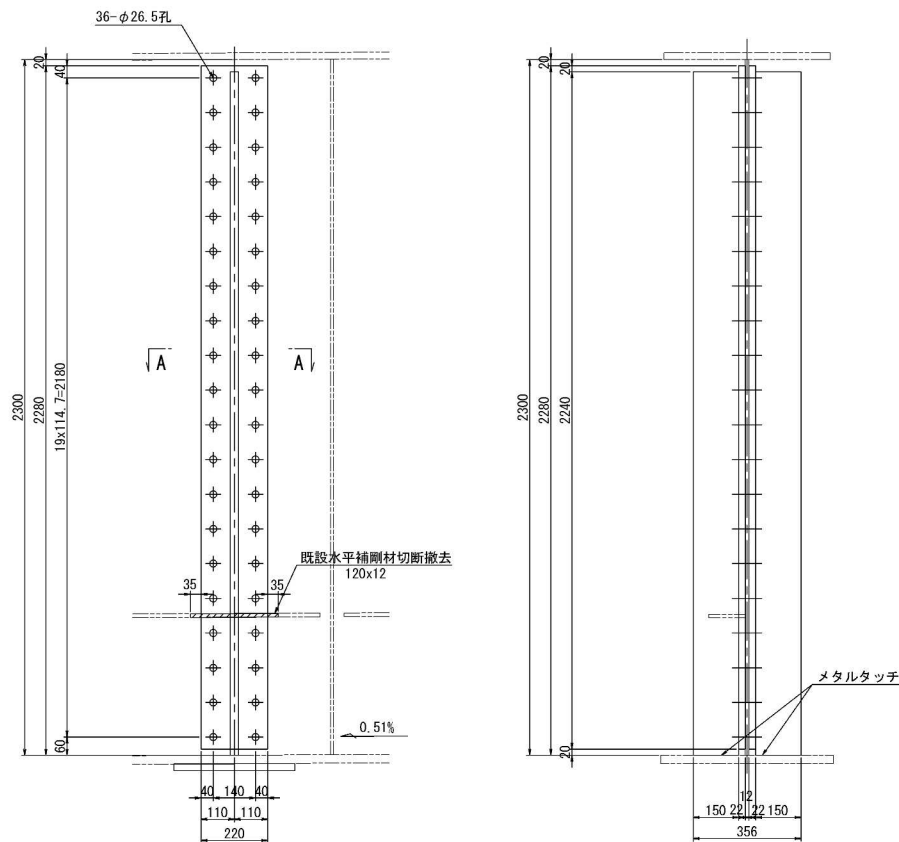


- 注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し 結果を反映の上決定のこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 特記なきスカーラップはR35とする。
 4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P5橋脚支承改良工図(その15)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

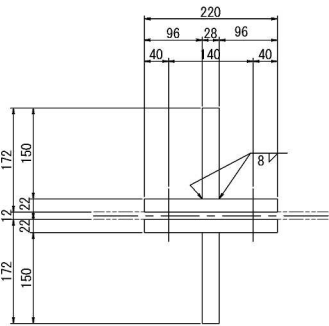
BP・A-6
ジャッキアップ補強材

P4側-G3

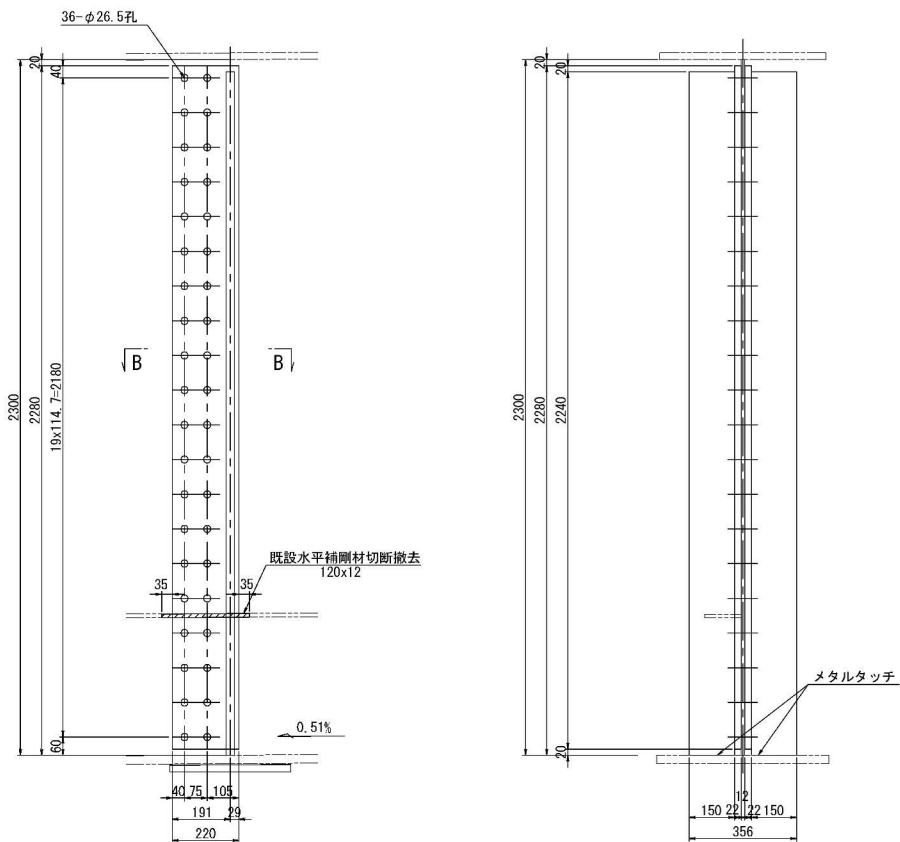


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x290 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x28x2260
40-TCB M22x95 (S10T)

A - A S=1:12.5

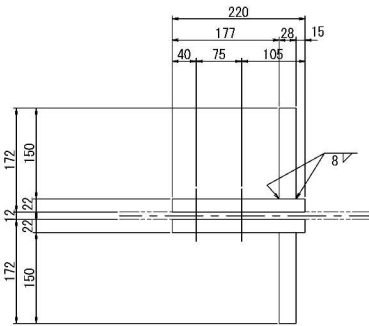


A2側-G3

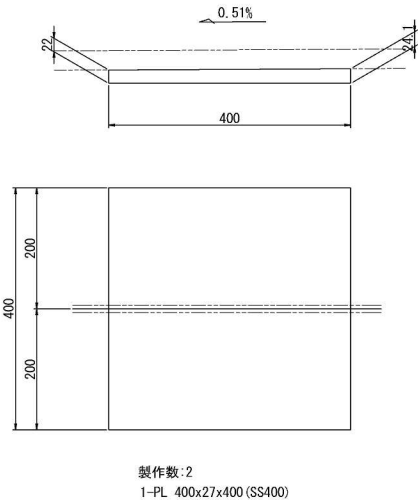


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x290 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x28x2260
40-TCB M22x95 (S10T)

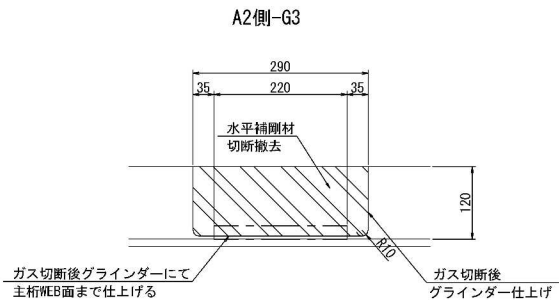
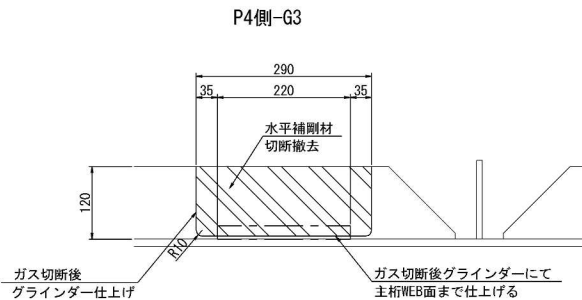
B - B S=1:12.5



ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5



水平補剛材切断詳細 S=1:12.5

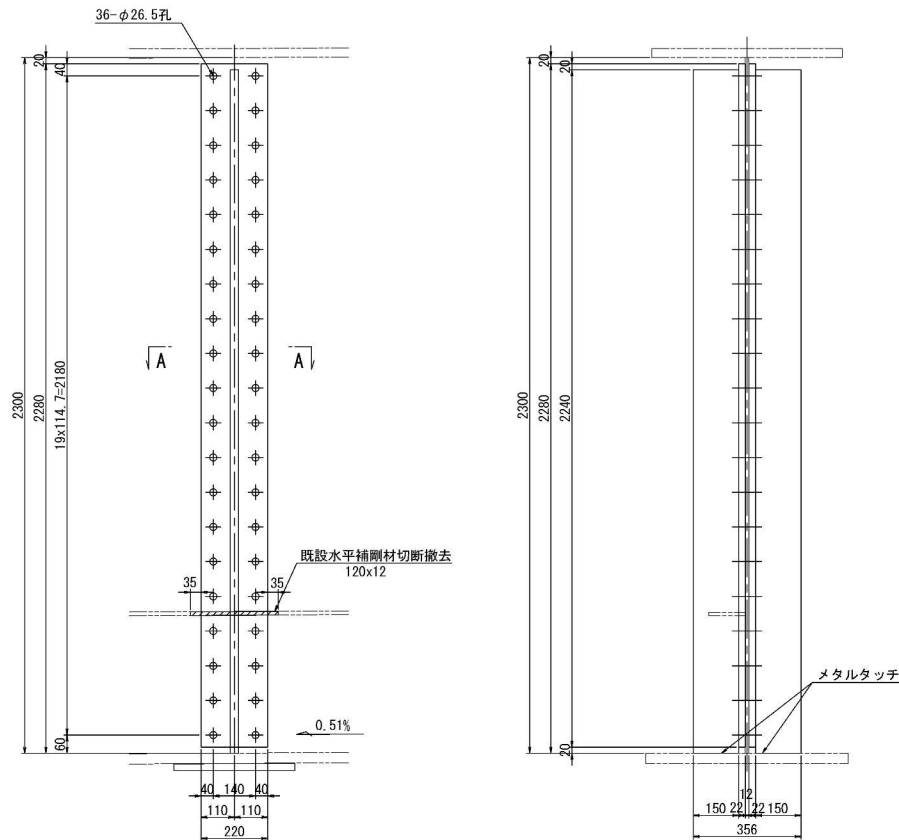


- 注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し、結果を反映の上決定のこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 特記なきスカーラップはR35とする。
 4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P5橋脚支承改良工図(その16)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

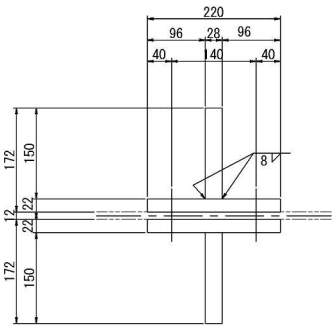
下り線 B P・A-6
ジャッキアップ補強材

P4側-G4

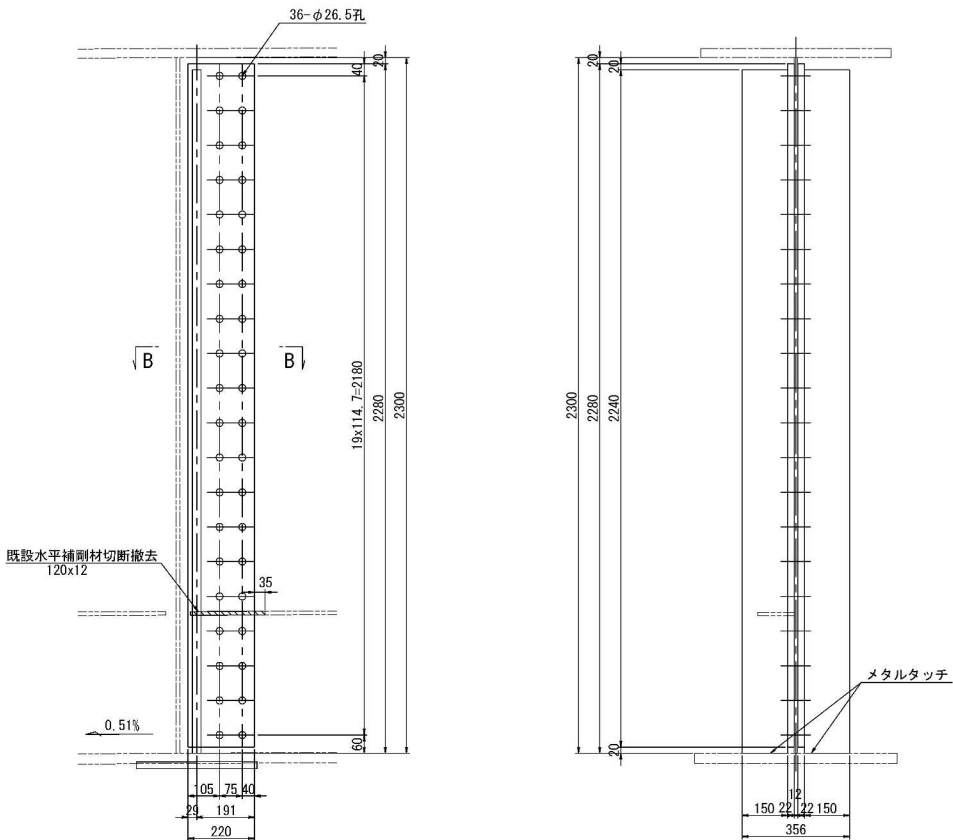


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x290 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x28x2260
40-TCB M22x95 (S10T)

A - A S=1:12.5

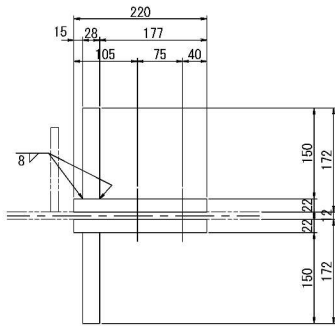


A2側-G4

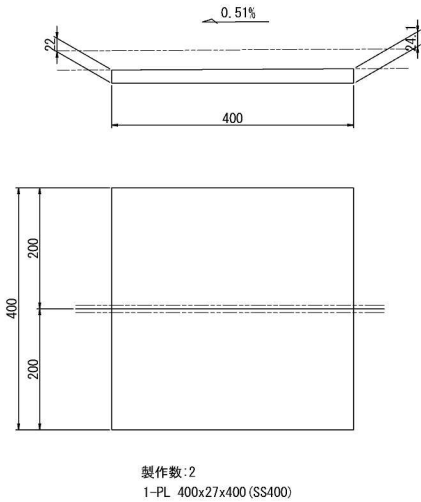


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x247 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x28x2260
40-TCB M22x95 (S10T)

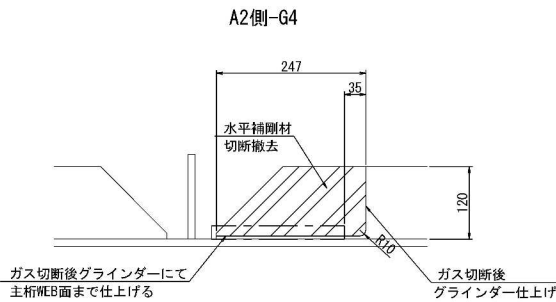
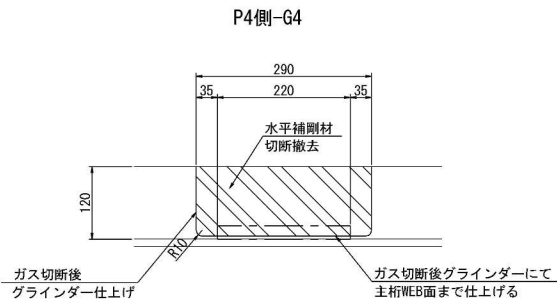
B - B S=1:12.5



ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5



水平補剛材切断詳細 S=1:12.5

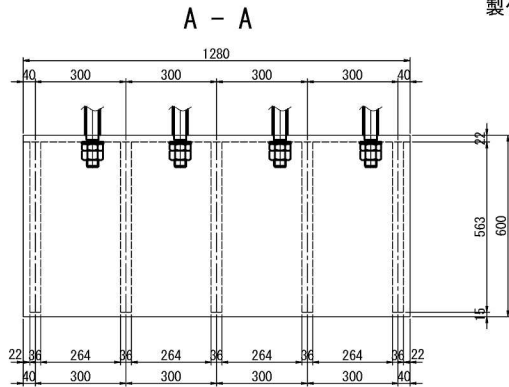


八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P5橋脚支承改良工図(その17)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し
結果を反映の上決定のこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 特記なきスカーラップはR35とする。
4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

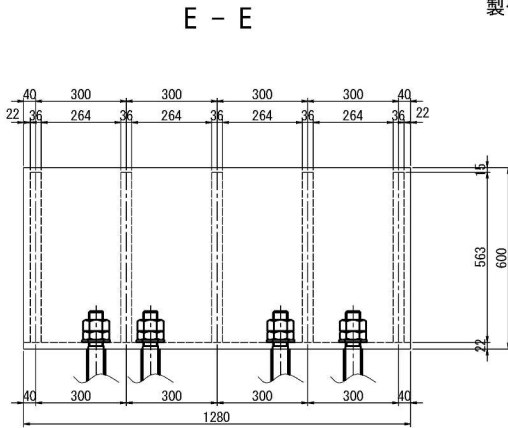
奥入瀬川橋 P5橋脚支承改良工図(その18) S=1:25
下り線 BP・A-6
脚付ブラケット

TYPE1-P4側-G1
製作数: 1箇所



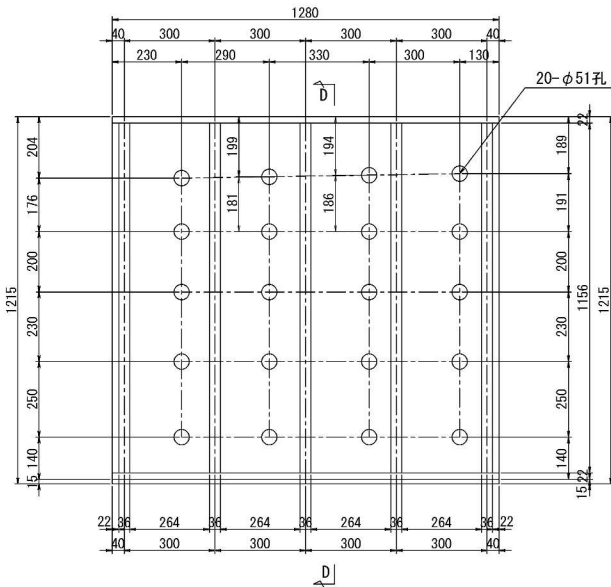
<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5- RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1193
20-アンカーボルト D41×720 (SD345)
20-ナット・ワッシャーM39用 (SS400) <1種, 3種>

TYPE1-A2側-G1
製作数: 1箇所

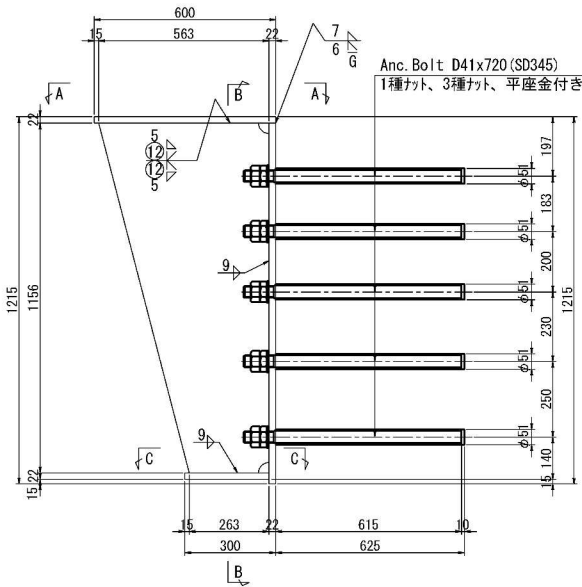


<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5- RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1193
20-アンカーボルト D51×890 (SD345)
20-ナット・ワッシャーM48用 (SS400) <1種, 3種>

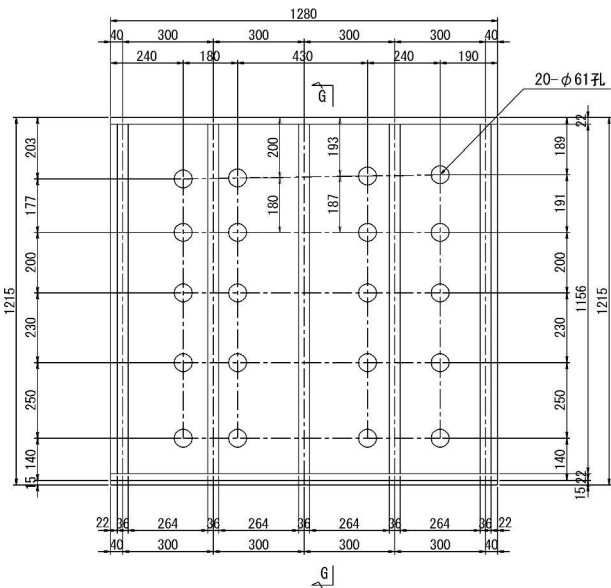
B - B



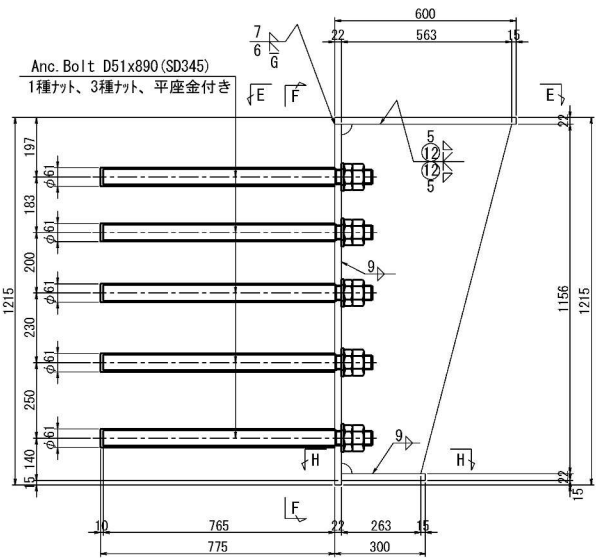
D - D



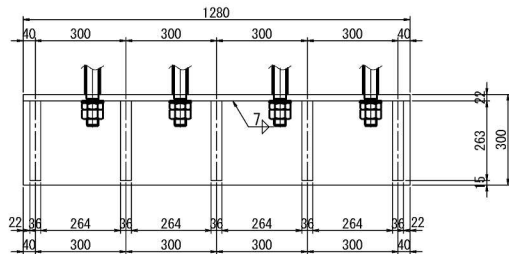
F - F



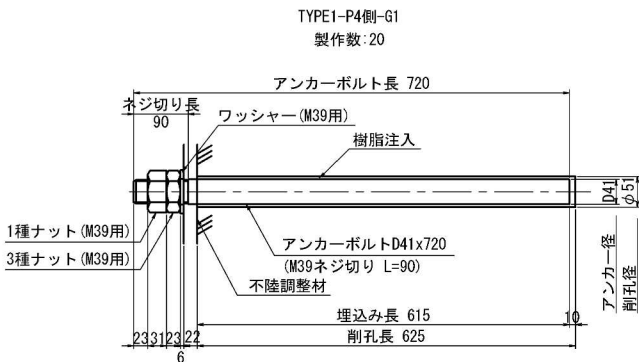
G - G



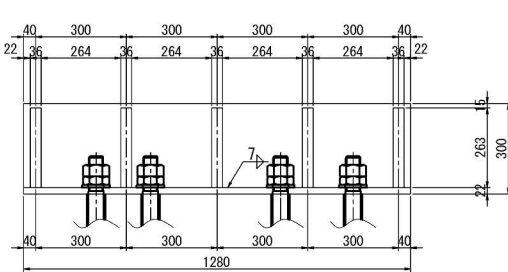
C - C



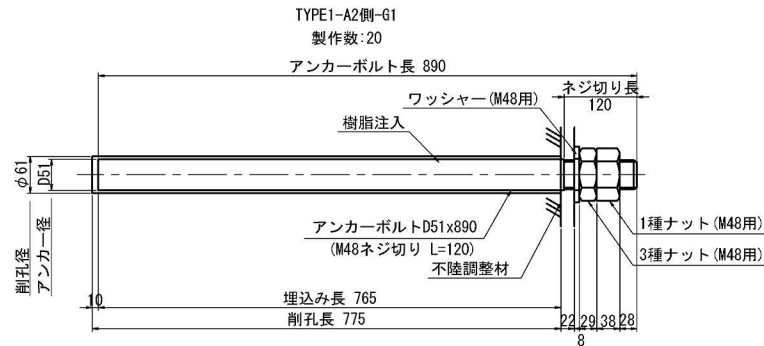
アンカーボルト詳細図 S=1:12.5



H - H



アンカーボルト詳細図 S=1:12.5

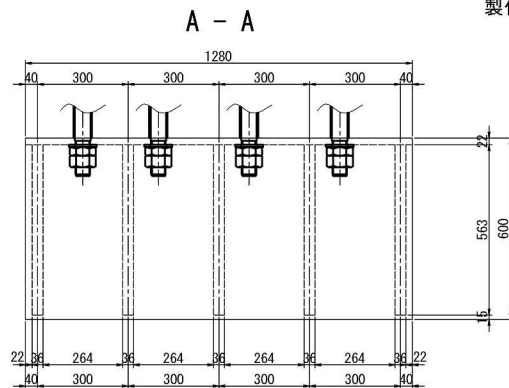


注記)
1. 鉄筋探査後にアンカー位置を最終決定すること。
2. 鋼材加工及び取付位置は、現場計測の上決定のこと。
3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P5橋脚支承改良工図(その18)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

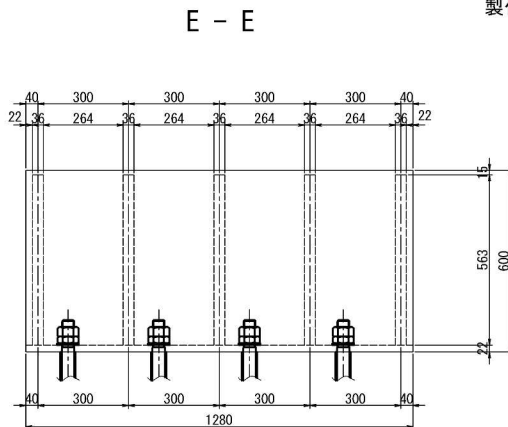
奥入瀬川橋 P5橋脚支承改良工図(その19) S=1:25
下り線 B P・A-6
脚付ブラケット

TYPE4-P4側-G4
製作数: 1箇所

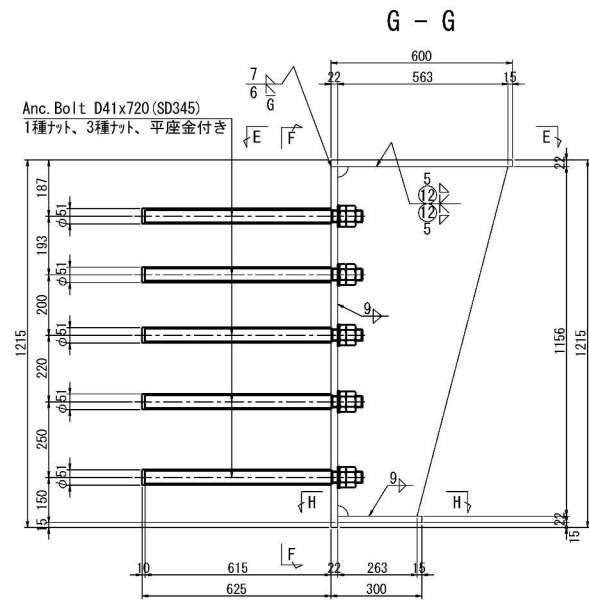
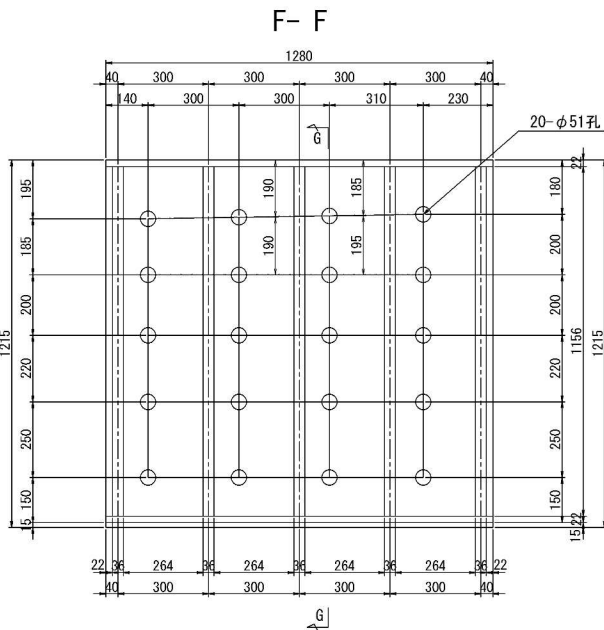
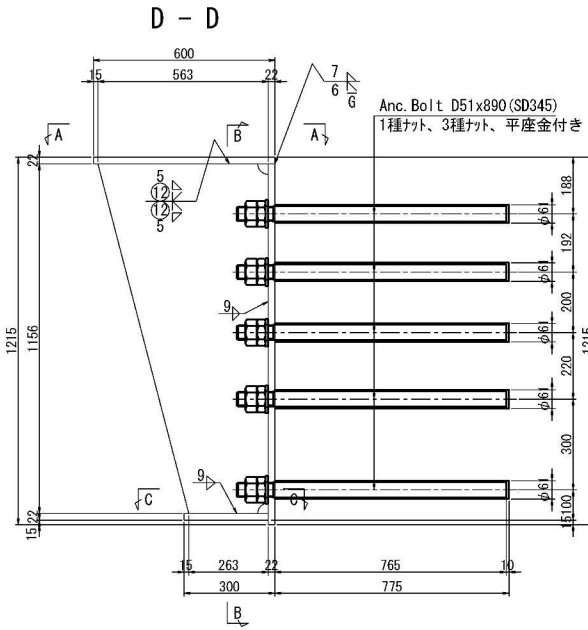
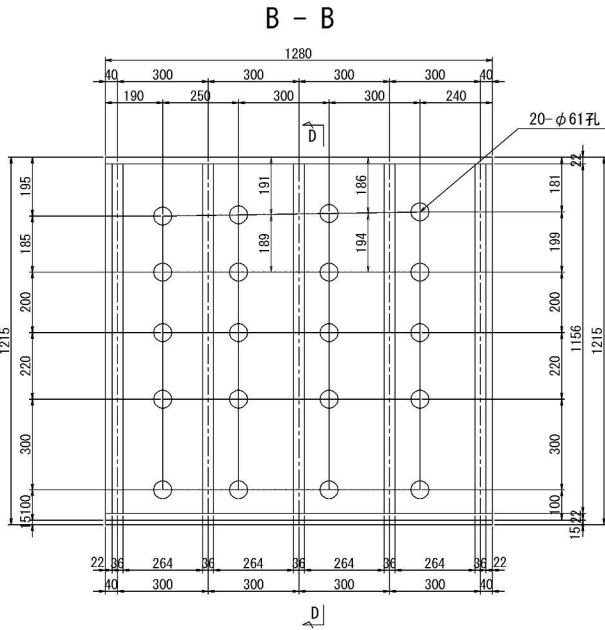


<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5-RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1193
20-アンカーボルト D51x890 (SD345)
20-ナット・ワッシャーM48用 (SS400) <1種, 3種>

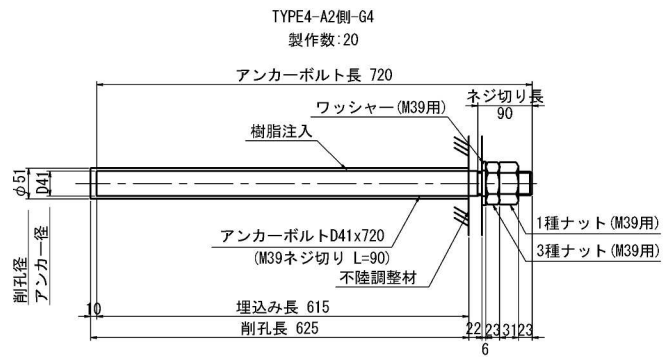
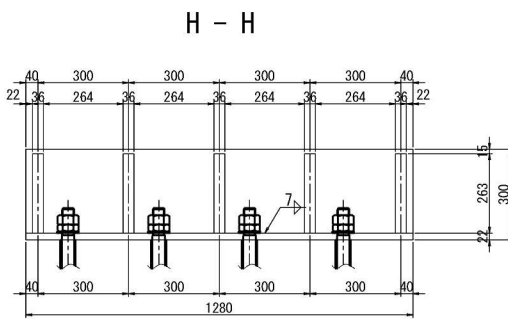
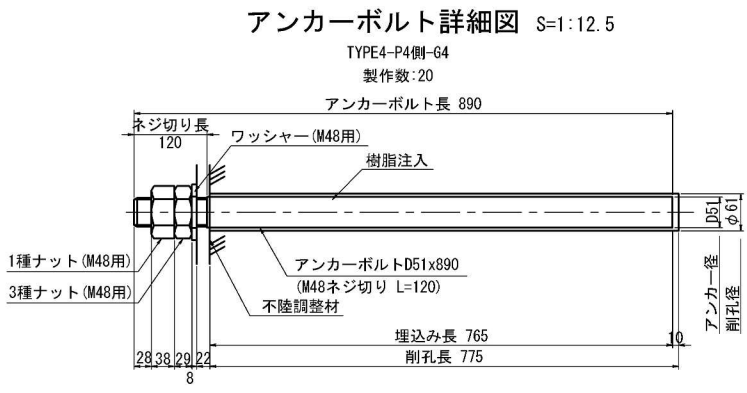
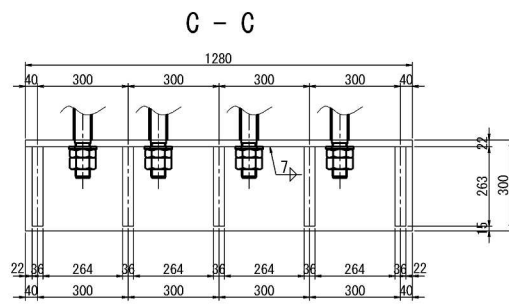
TYPE4-A2側-G4
製作数: 1箇所



<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5-RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1193
20-アンカーボルト D41x720 (SD345)
20-ナット・ワッシャーM39用 (SS400) <1種, 3種>



アンカーボルト詳細図 S=1:12.5



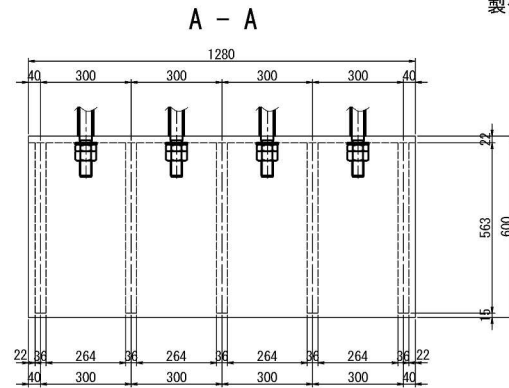
注記)
1. 鉄筋探索後にアンカー位置を最終決定すること。
2. 鋼材加工及び取付位置は、現場計測の上決定のこと。
3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

八戸自動車道 楡引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P5橋脚支承改良工図(その19)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

下り線 BP・A-6

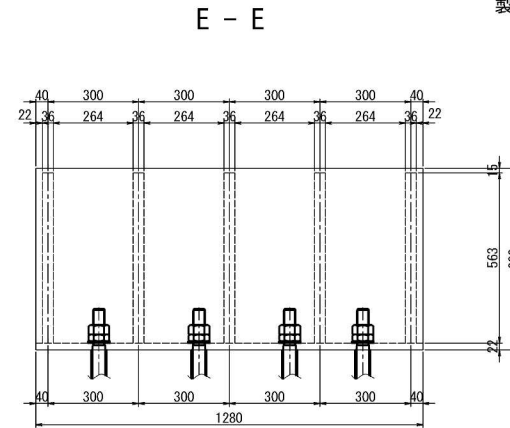
脚付ブラケット

製作数：1箇所



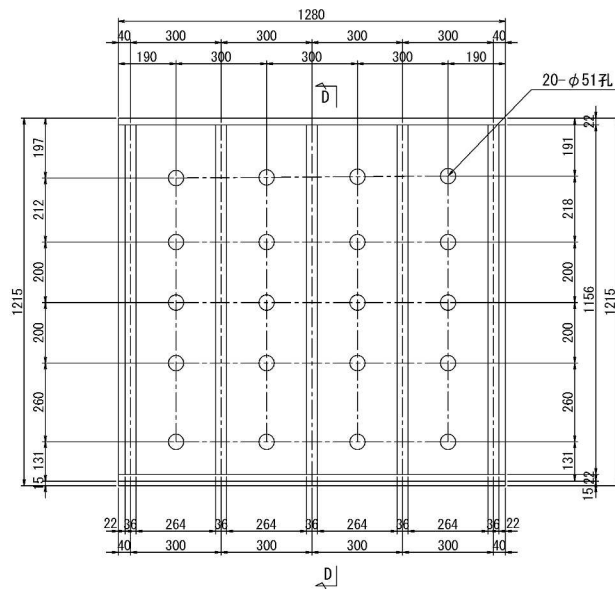
＜1箇所当たり＞
 1-UFLG PL 600x22x1280
 5-RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
 1-LFLG PL 278x22x1280
 1-BASE PL 1280x22x1193
 20-アンカーボルト D41×740 (SD345)
 20-ナット・ワッシャー-M39用 (SS400)＜1種、3種＞

製作数：1箇所

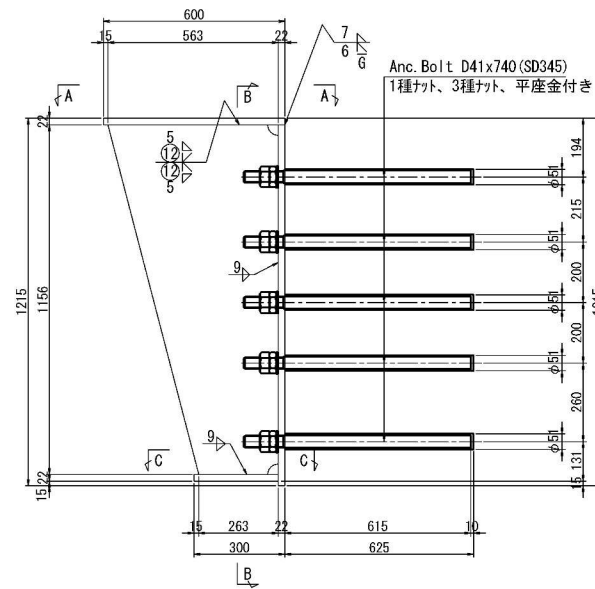


＜1箇所当たり＞
 1-UFLG PL 600x22x1280
 5- RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
 1-LFLG PL 278x22x1280
 1-BASE PL 1280x22x1193
 20-アンカーボルト D41×740 (SD345)
 20-ナット・ワッシャー-M39用 (SS400) 1種, 3種＞

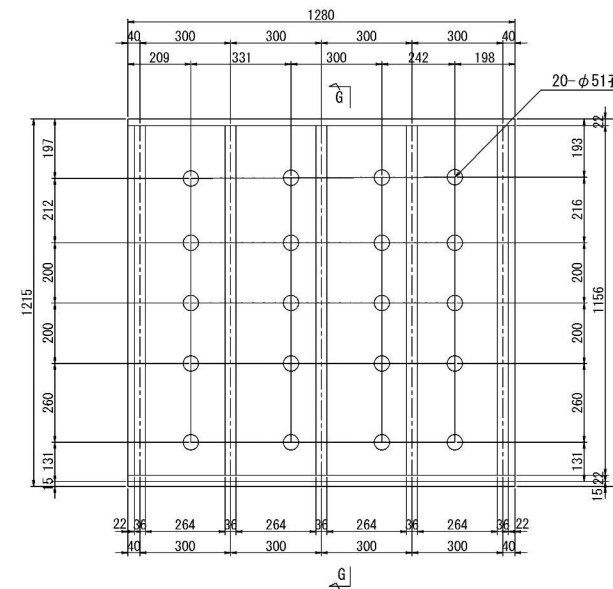
B - B



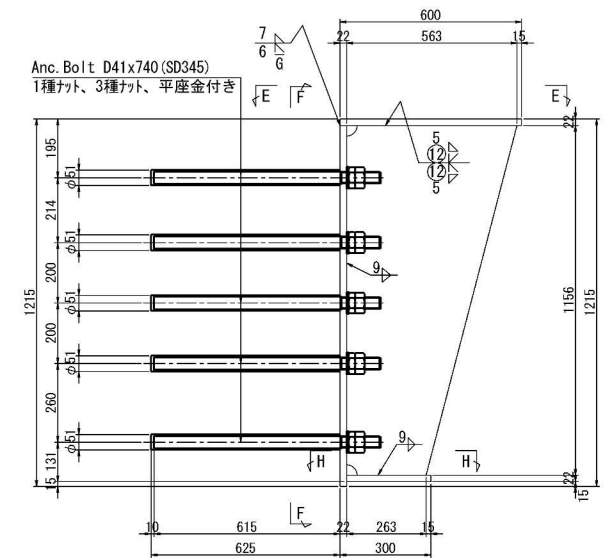
D - D



F- F



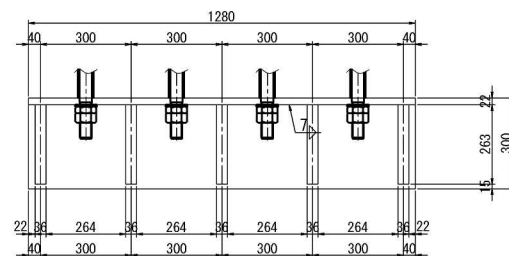
G - G



アンカーボルト詳細図 S=1:12.5

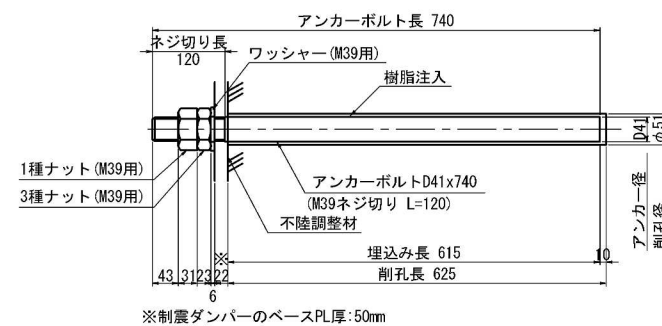
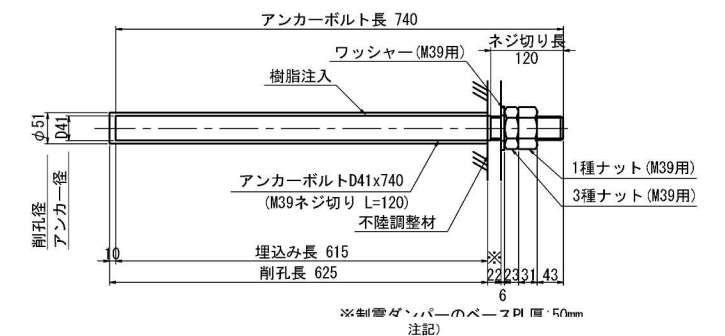
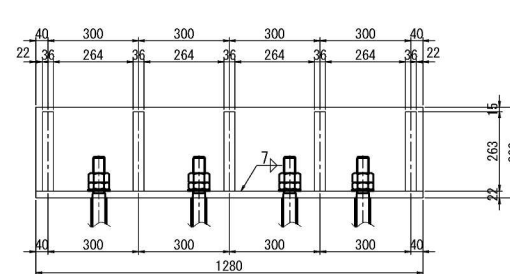
TYPE2-A2側-G2
製作数:20

C - C



アンカーボルト詳細図 S=1:12.5

TYPE2-P4側-G2
製作数:20

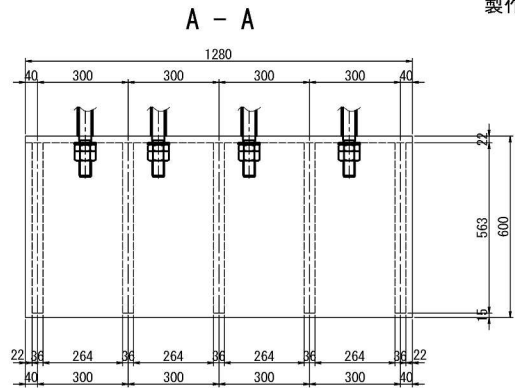

$$\text{H} - \text{H}$$


- 鉄筋探査後にアンカー位置を最終決定すること。
- 鋼材加工及び取付位置は、現場計測の上決定のこと。
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

八 戸 自 動 車 道 橋引馬淵川橋耐震補強工事			
奥入瀬川橋			
図面の種類	P5 橋脚支承改良工図(その20)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

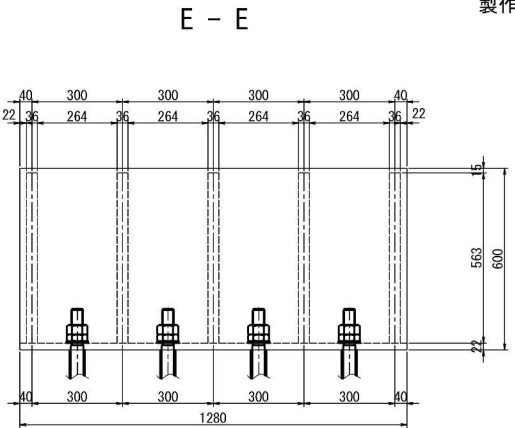
奥入瀬川橋 P5橋脚支承改良工図(その21) S=1:25
下り線 B P・A-6
脚付ブラケット

TYPE3-P4側-G3
製作数: 1箇所

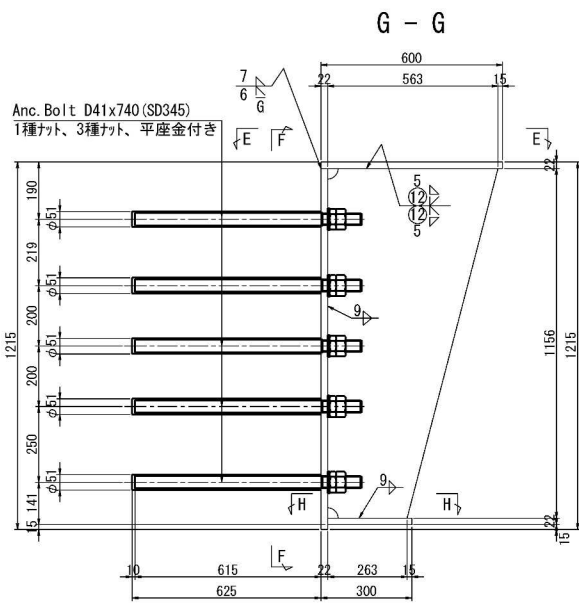
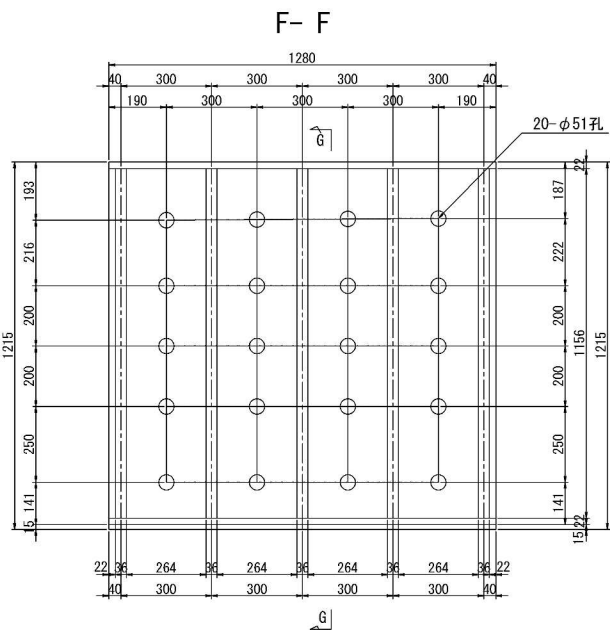
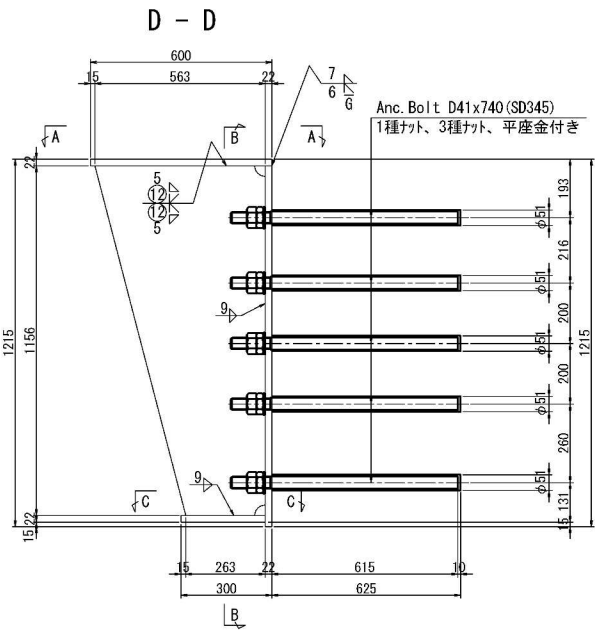
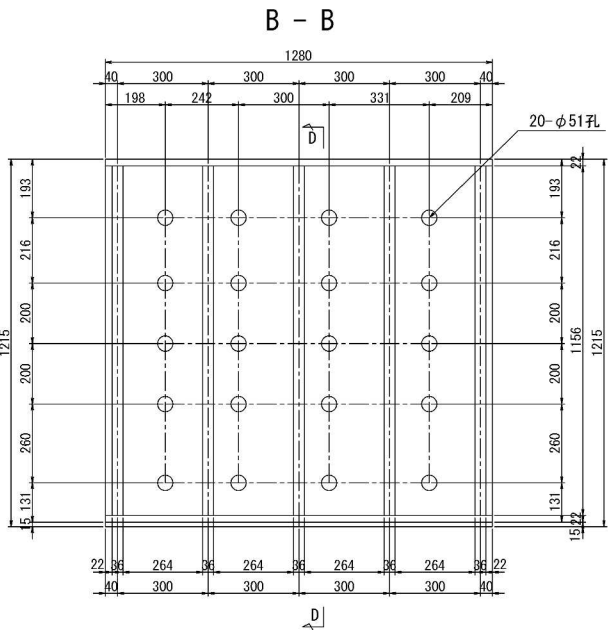


<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5-RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1193
20-アンカーボルト D41x740 (SD345)
20-ナット・ワッシャー-M39用 (SS400) <1種, 3種>

TYPE3-A2側-G3
製作数: 1箇所

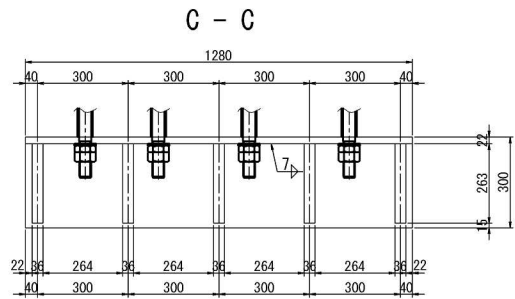


<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5-RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1193
20-アンカーボルト D41x740 (SD345)
20-ナット・ワッシャー-M39用 (SS400) <1種, 3種>



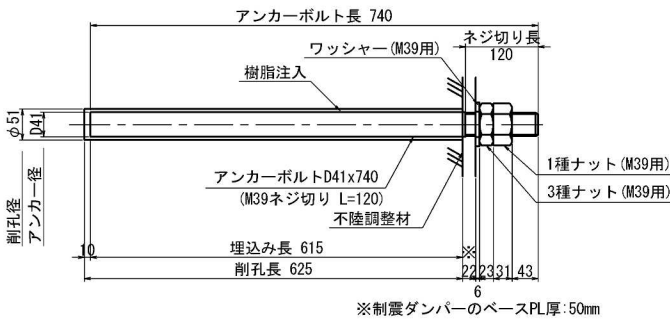
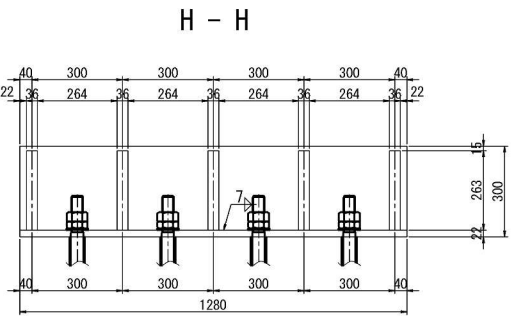
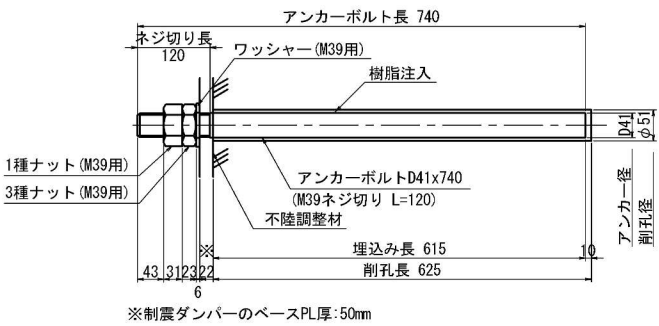
アンカーボルト詳細図 S=1:12.5

TYPE3-A2側-G3
製作数: 20



アンカーボルト詳細図 S=1:12.5

TYPE3-P4側-G3
製作数: 20

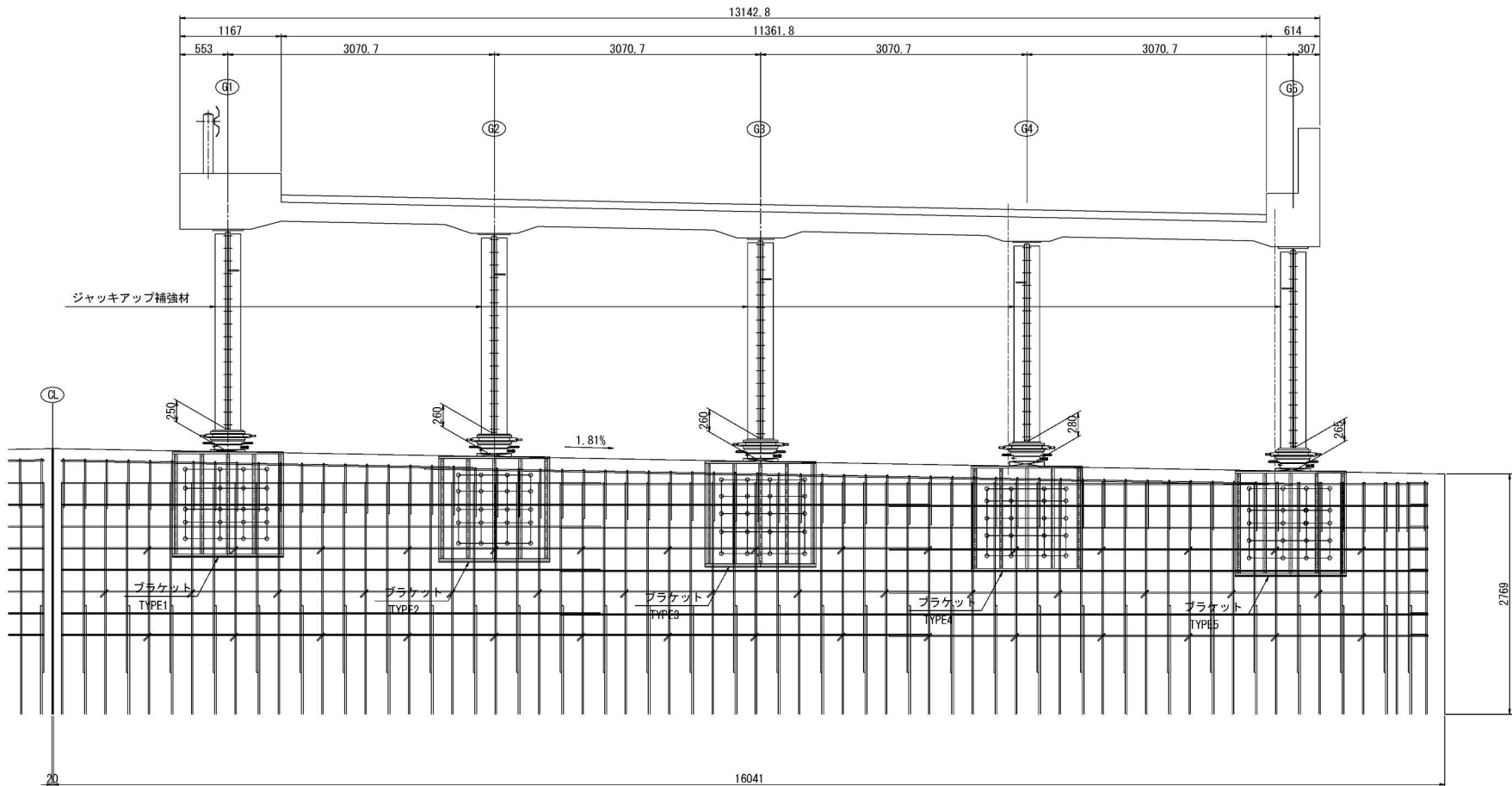


※制震ダンパーのベースPL厚: 50mm
注記)
1. 鉄筋探索後にアンカー位置を最終決定すること。
2. 鋼材加工及び取付位置は、現場計測の上決定のこと。
3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

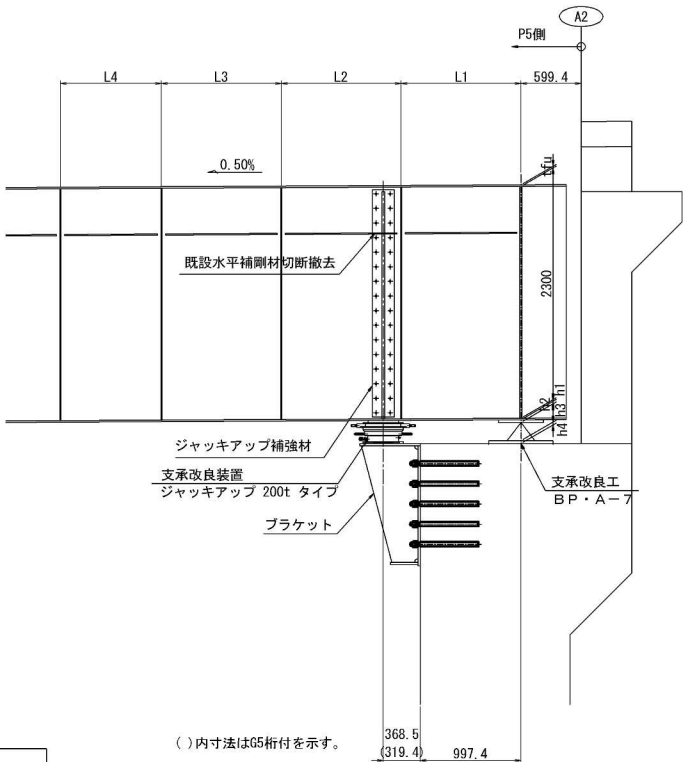
八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P5橋脚支承改良工図(その21)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

上り線 B P・A-7
支承改良工配置図

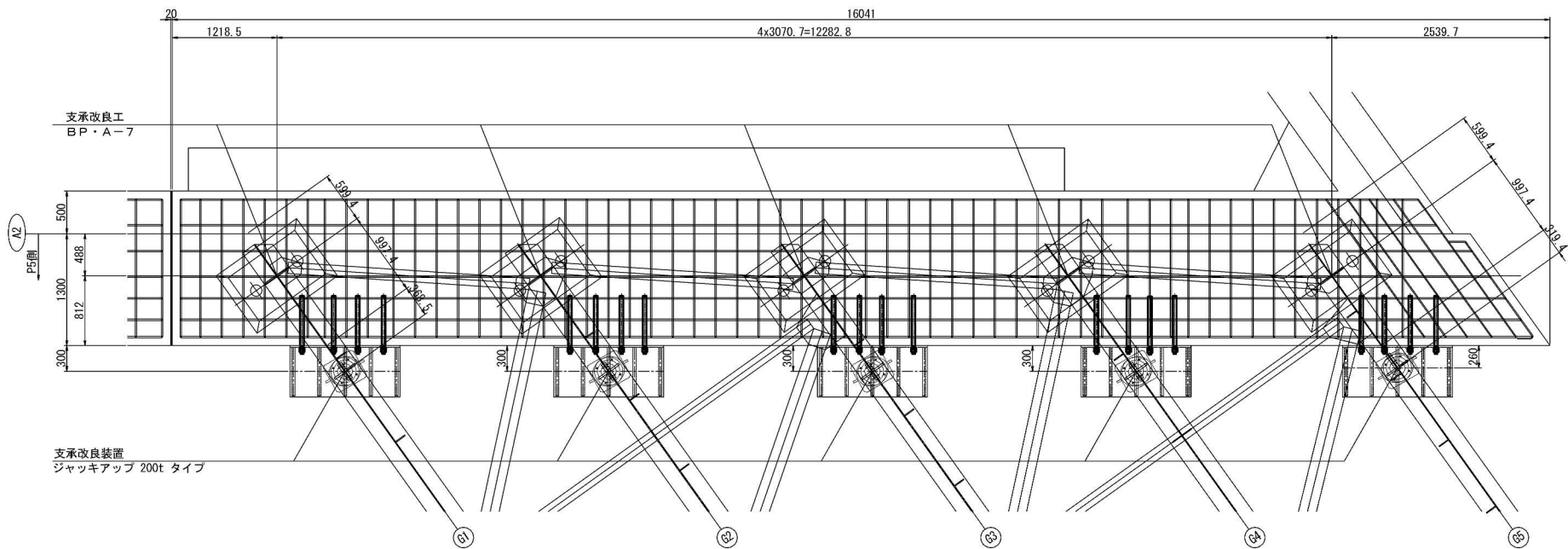
正面図



側面図



平面図



	L1	L2	L3	L4	t _{fu}	h1	h2	h3	h4
G1	1188.9	1188.9	1188.9	1002.15	16	16	20	170	44
G2	891.7	891.7	1002.15	1002.15	14	14	20	170	56
G3	1062	1062	1062	1062	14	14	20	170	56
G4	1112.5	1112.5	950	950	14	14	20	170	76
G5	441.4	950	950	950	22	22	20	170	53

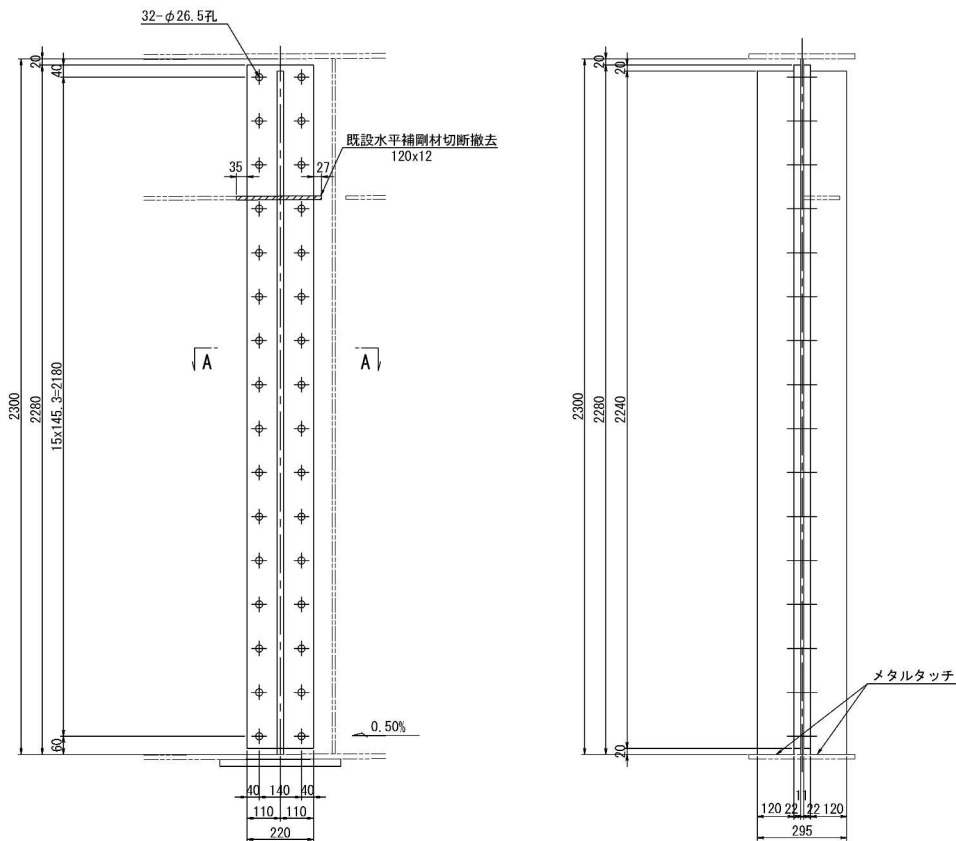
単価表の項目		単位	数量	摘要
支承改良工	BP・A-7	箇所	5.0	
数量内訳表				
種別	規格・寸法	単位	数量	摘要
下管撤去	SC46	箇所	5.0	
サイドブロック撤去	SC46またはSS41	箇所	5.0	
既設水平補剛材撤去	SM400A	m	2.3	撤去重量16kg
サイドブロック復旧	SC46またはSS41	箇所	5.0	
アンカーボルト	SD345 D38 L=670mm	本	40.0	M36用1種N,W付
	SD345 D38 L=710mm	本	60.0	M36用1種N,W付
アンカー工	φ48 L=580mm	本	100.0	水平方向
鋼製ブラケット	図示	t	5.640	
ジャッキアップ補強材	SM400A	t	1.330	
ジャッキベースプレート	SS400	t	0.170	
現場孔明工	φ26.5	箇所	160.0	
高力ボルト本締工	TCB M22x90(S10T)	本	160.0	

注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 A2橋台支承改良工図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

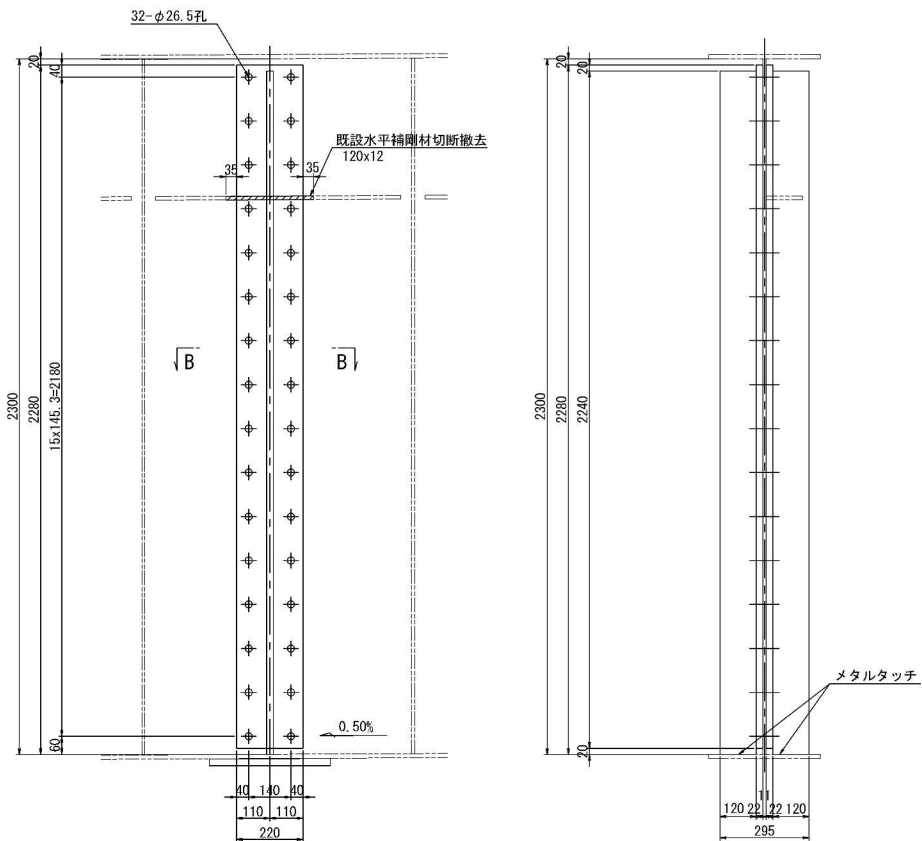
上り線 B P・A-7
ジャッキアップ補強材

P5側-G1



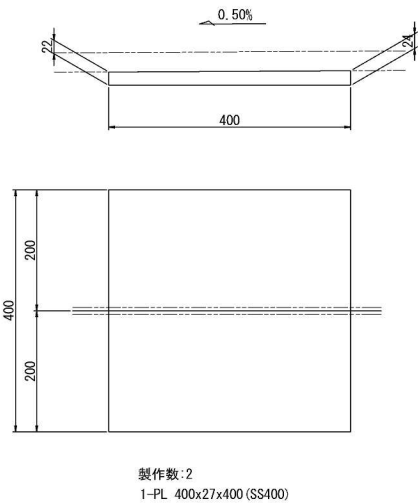
水平補剛材撤去材料： 材料：（製作数：1箇所）
1-PL 120x12x282 2-PL 220x22x2260
2-PL 120x22x2260 32-TCB M22x90 (S10T)

P5側-G2

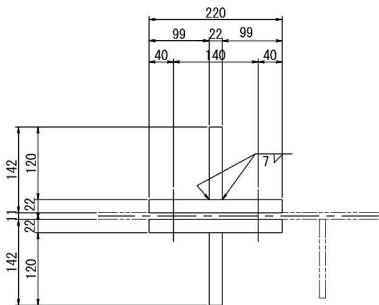


水平補剛材撤去材料： 材料：（製作数：1箇所）
1-PL 120x12x290 2-PL 220x22x2260
2-PL 120x22x2260 32-TCB M22x90 (S10T)

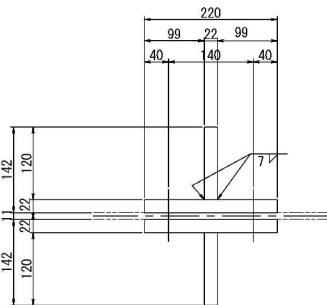
ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5



A - A S=1:12.5

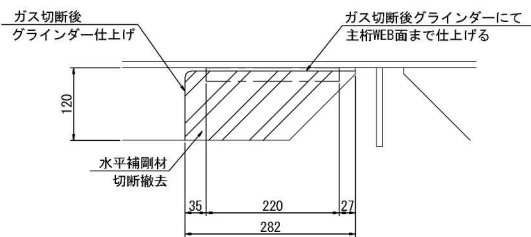


B- B S=1:12.5

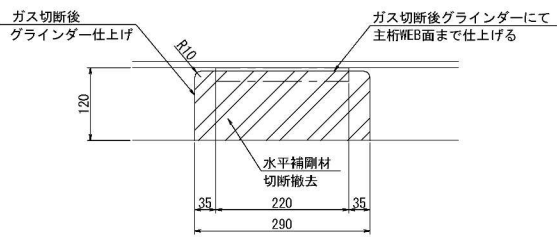


水平補剛材切断詳細 S=1:12.5

P5側-G1



P5側-G2

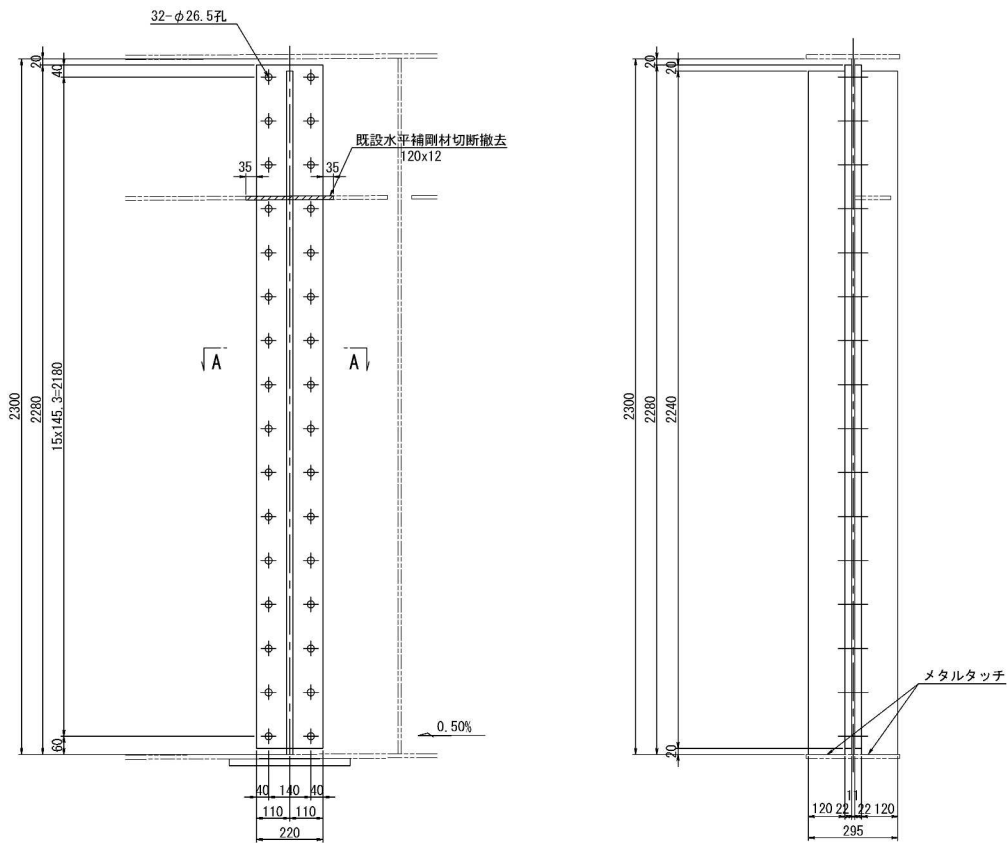


注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し
結果を反映の上決定のこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 特記なきスカーラップはR35とする。
4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 A2橋台支承改良工図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

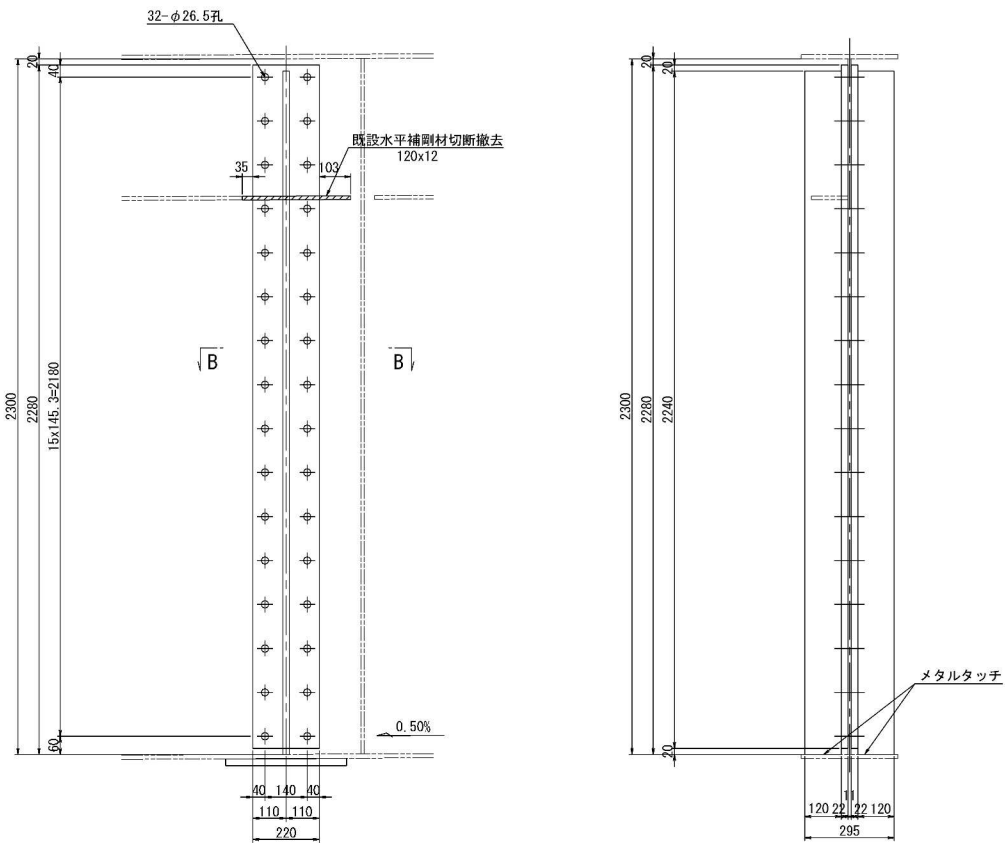
上り線 BP・A-7
ジャッキアップ補強材

P5側-G3



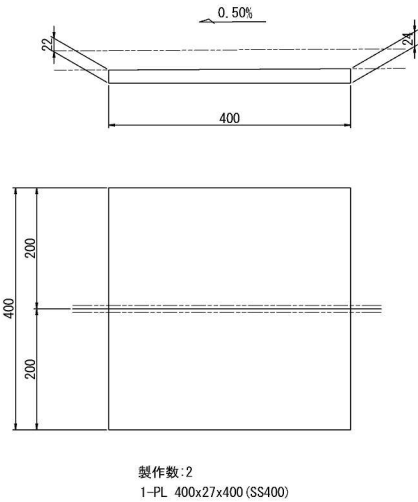
水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x290 2-PL 220x22x2260
2-PL 120x22x2260 32-TCB M22x90 (S10T)

P5側-G4

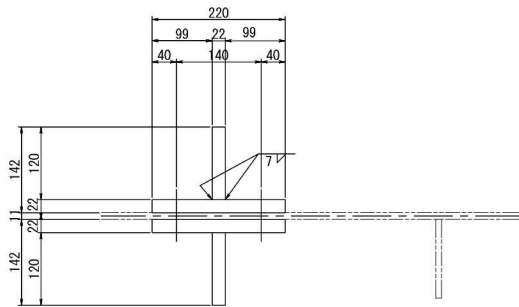


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x358 2-PL 220x22x2260
2-PL 120x22x2260 32-TCB M22x90 (S10T)

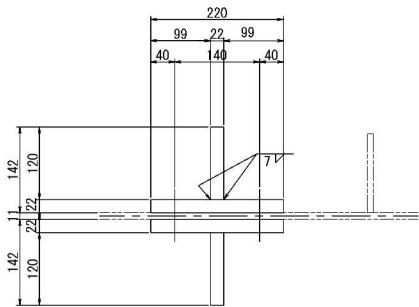
ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5



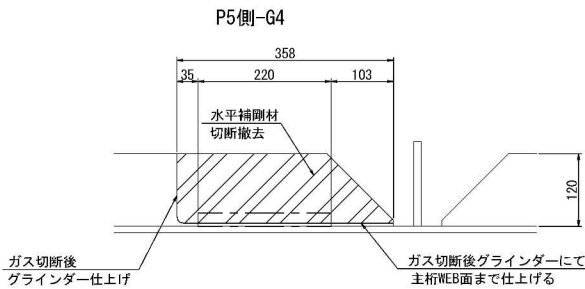
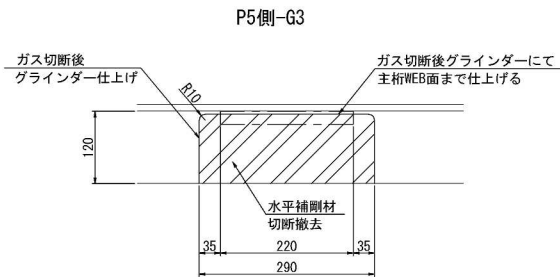
A - A S=1:12.5



B - B S=1:12.5



水平補剛材切断詳細 S=1:12.5

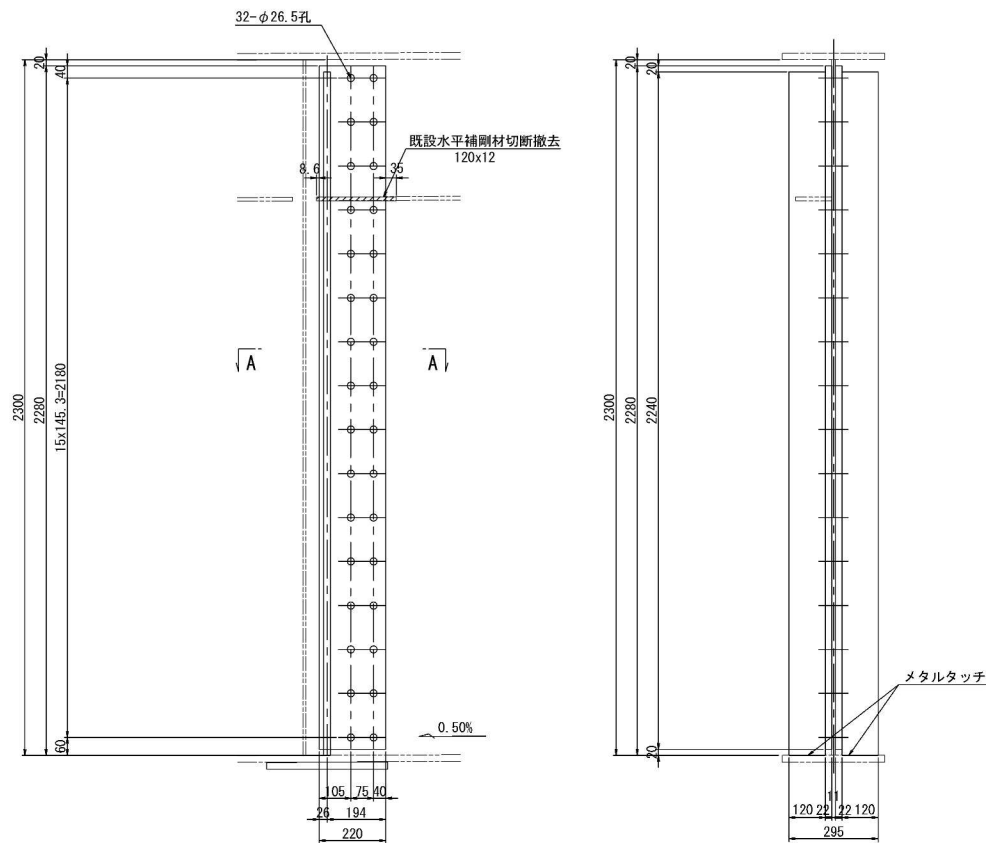


注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し結果を反映の上決定のこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 特記なきスカーラップはR35とする。
4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 A2橋台支承改良工図(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

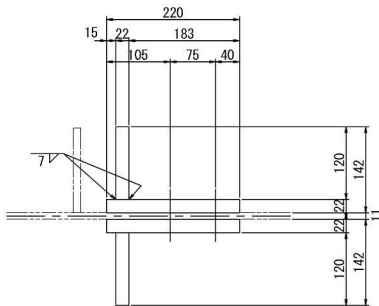
上り線 B P・A-7
ジャッキアップ補強材

P5側-G5

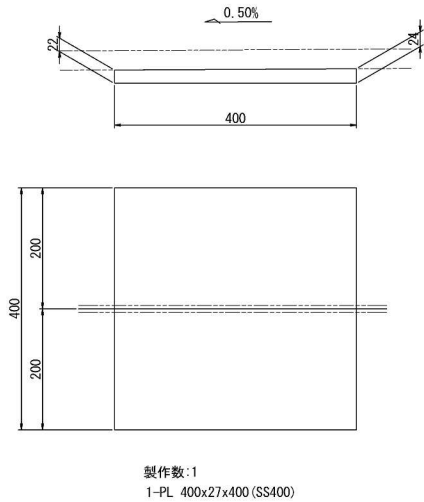


水平補剛材撤去材料： 材料：（製作数：1箇所）
1-PL 120x12x264 2-PL 220x22x2260
2-PL 120x22x2260
32-TCB M22x90 (S10T)

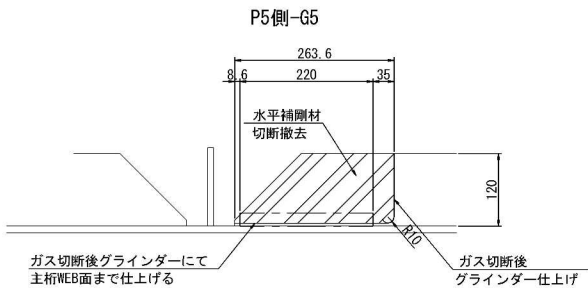
A - A S=1:12.5



ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5



水平補剛材切断詳細 S=1:12.5



注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し 結果を反映の上決定のこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 特記なきスカーラップはR35とする。
4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

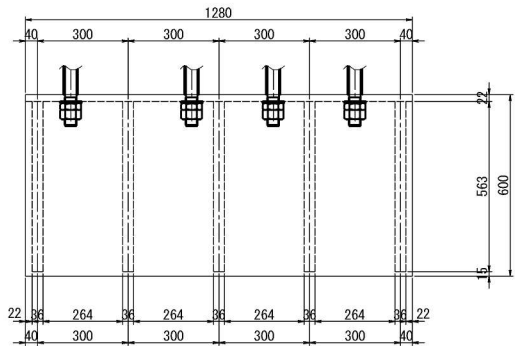
八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 A2橋台支承改良工図(その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

TYPE1-P5側-G1
製作数: 1箇所

上り線 B P・A-7
脚付ブラケット

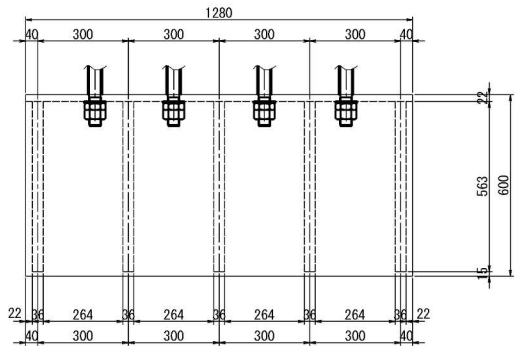
TYPE2-P5側-G2
製作数: 1箇所

A - A



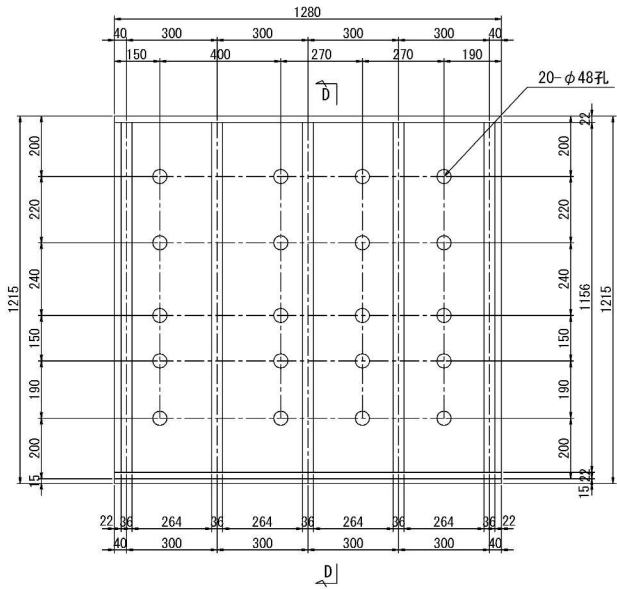
<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5-RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1193
20-アンカーボルト D38×710 (SD345)
20-ナット・ワッシャーM36用 (SS400) <1種, 3種>

E - E

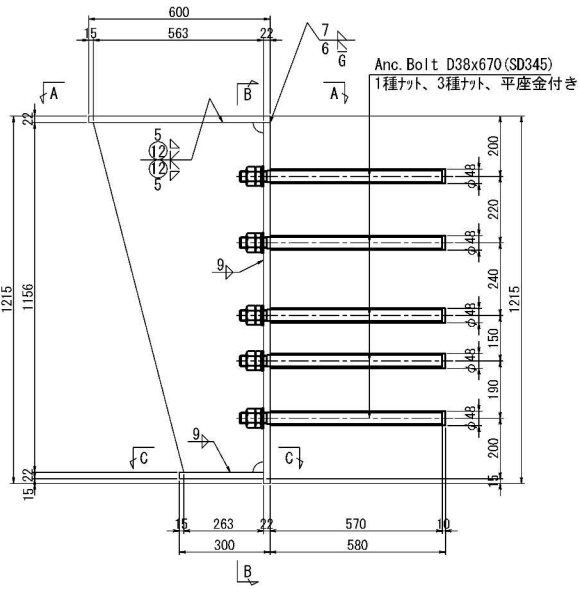


<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5-RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1193
20-アンカーボルト D38×670 (SD345)
20-ナット・ワッシャーM36用 (SS400) <1種, 3種>

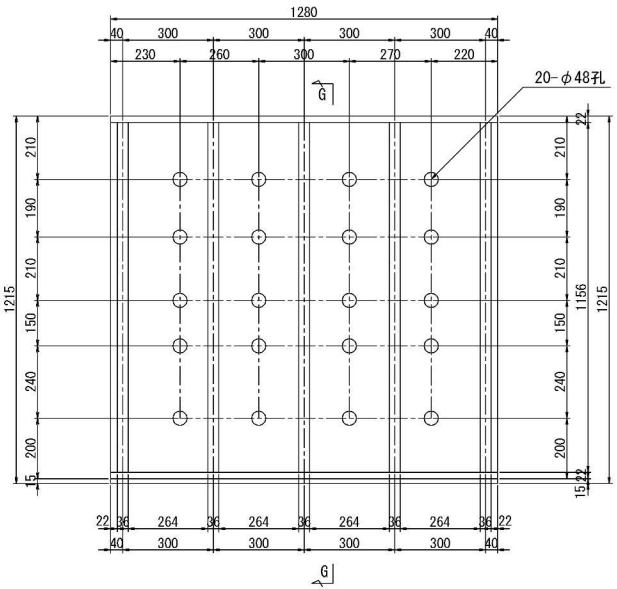
B - B



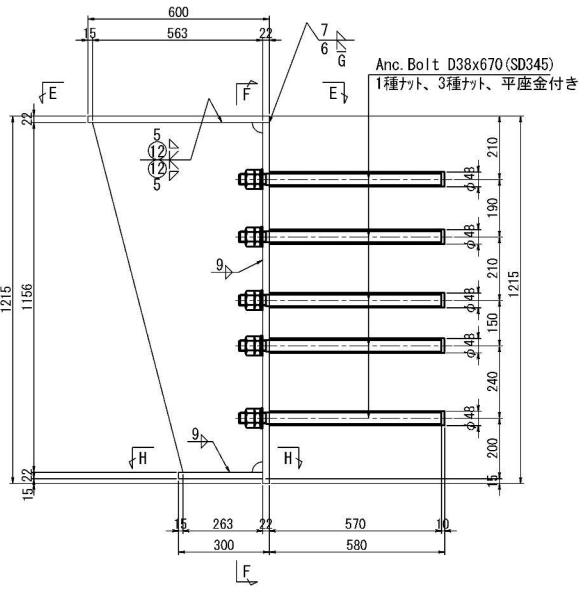
D - D



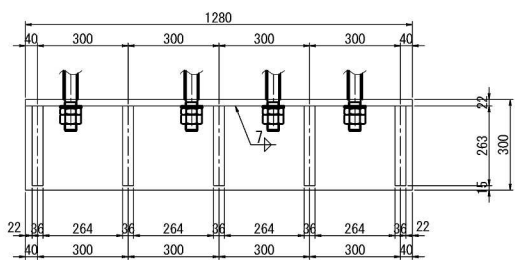
F - F



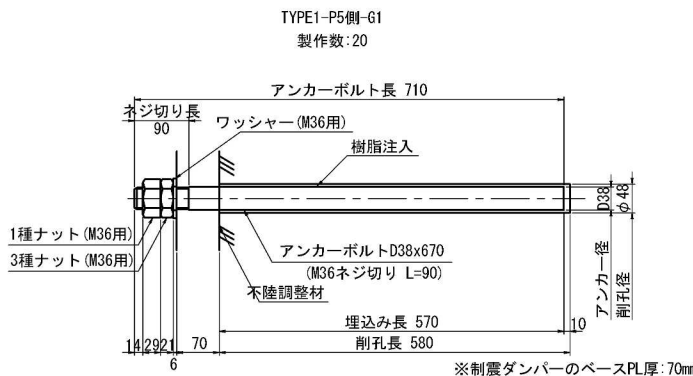
G - G



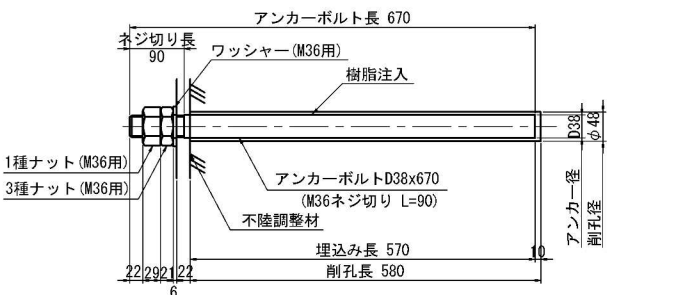
C - C



アンカーボルト詳細図 S=1:12.5



TYPE2-P5側-G2
製作数: 20



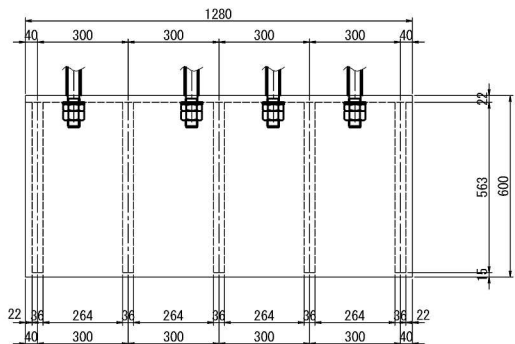
注記)
1. 鉄筋探索後にアンカー位置を最終決定すること。
2. 鋼材加工及び取付位置は、現場計測の上決定のこと。
3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 A2橋台支承改良工図(その5)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

上り線 B P・A-7
脚付ブラケット

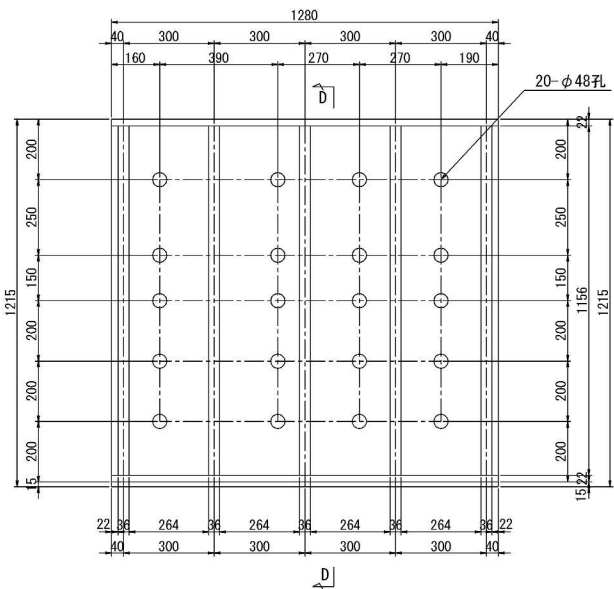
TYPE5-P5側-G5
製作数: 1箇所

A - A

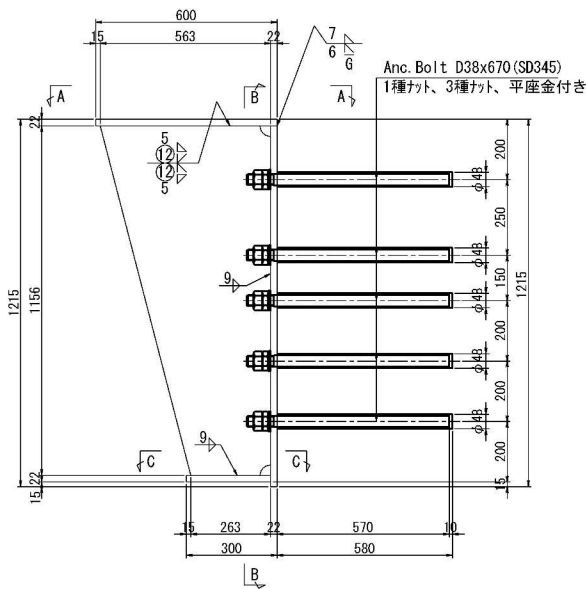


<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5-RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1193
20-アンカーボルト D38×710 (SD345)
20-ナット・ワッシャーM36用 (SS400) <1種, 3種>

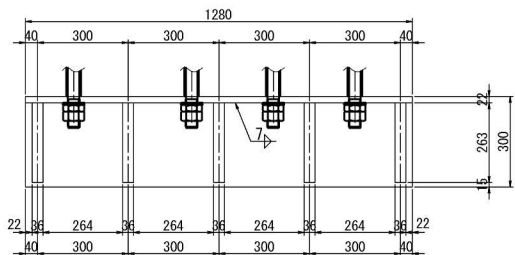
B - B



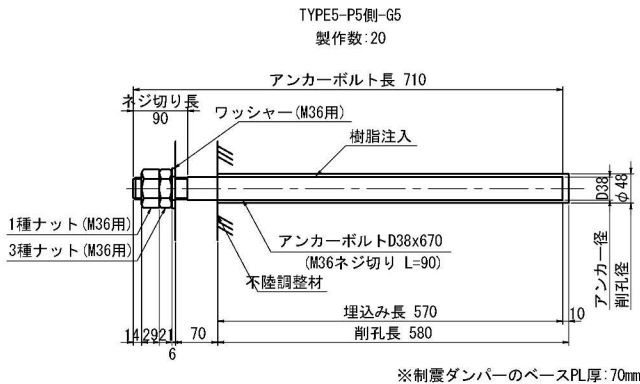
D - D



C - C



アンカーボルト詳細図 S=1:12.5

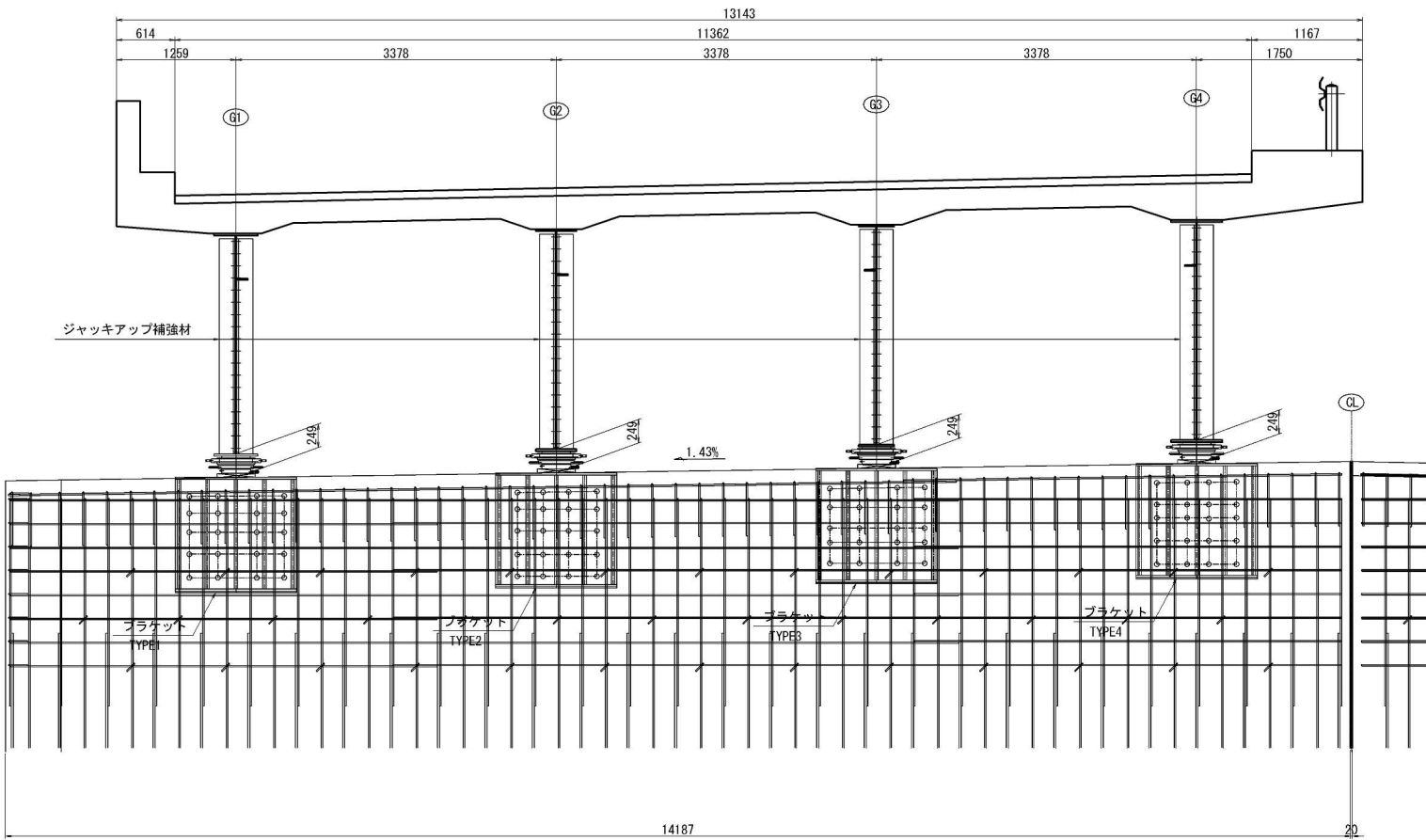


注記)
1. 鉄筋探査後にアンカー位置を最終決定すること。
2. 鋼材加工及び取付位置は、現場計測の上決定のこと。
3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

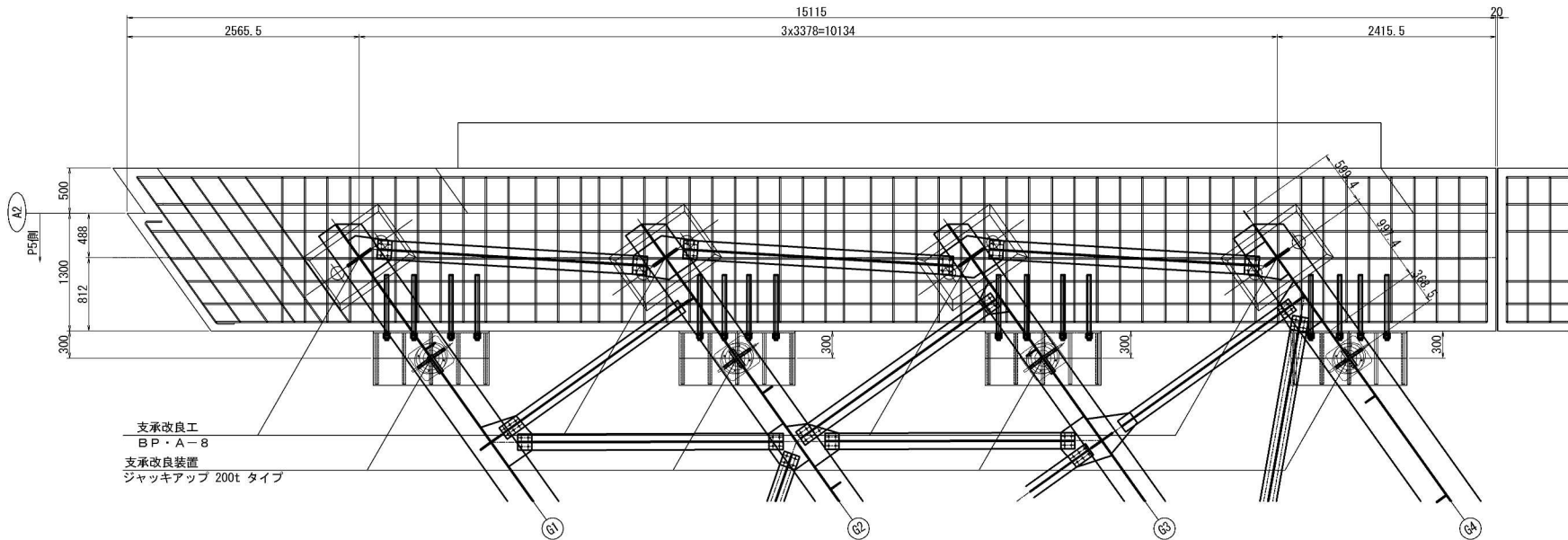
八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 A2橋台支承改良工図(その7)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

下り線 B P・A-8
支承改良工配置図

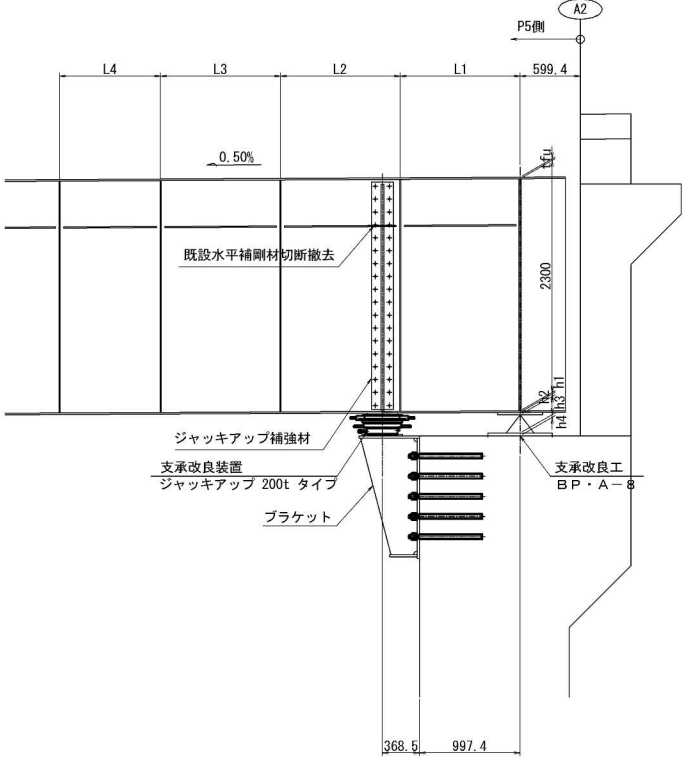
正面図



平面図



側面図



	L1	L2	L3	L4	tfu	h1	h2	h3	h4
G1	1252.5	1252.5	1300	1300	22	22	28	185	14
G2	544	1300	1300	1300	20	20	28	185	16
G3	1241.5	1241.5	1350	1350	20	20	28	175	26
G4	521	1350	1350	1350	22	22	28	185	14

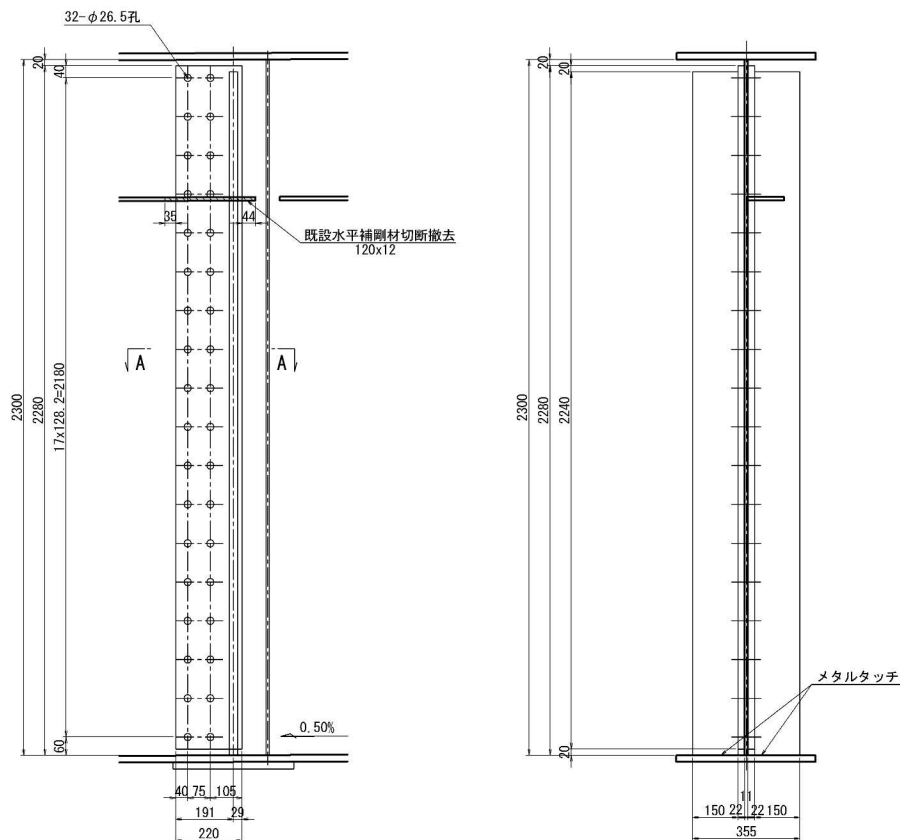
単備表の項目		単位	数量	摘要
支承改良工	BP・A-8	箇所	4.0	
数量内訳表				
種別	規格・寸法	単位	数量	摘要
下窓撤去	SC46	箇所	4.0	
サイドブロック撤去	SC46またはSS41	箇所	4.0	
既設水平補剛材撤去	SM400A	m	1.9	撤去重量13kg
サイドブロック復旧	SC46またはSS41	箇所	4.0	
アンカーボルト	SD345 D41 L=720mm	本	20.0	M39用1種N.W付
	SD345 D41 L=760mm	本	60.0	M39用1種N.W付
アンカー工	φ51 L=625mm	本	80.0	水平方向
鋼製ブラケット	図示	t	4.512	
ジャッキアップ補強材	SM400A	t	1.284	
ジャッキベースプレート	SS400	t	0.136	
現場孔明工	φ26.5	箇所	144.0	
高力ボルト本締め	TCB M22×90(S10T)	本	144.0	

注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 A2橋台支承改良工図(その8)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

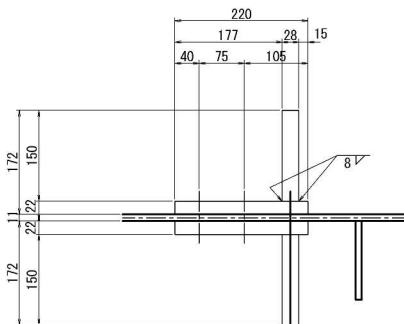
下り線 B P・A-8
ジャッキアップ補強材

P5側-G1

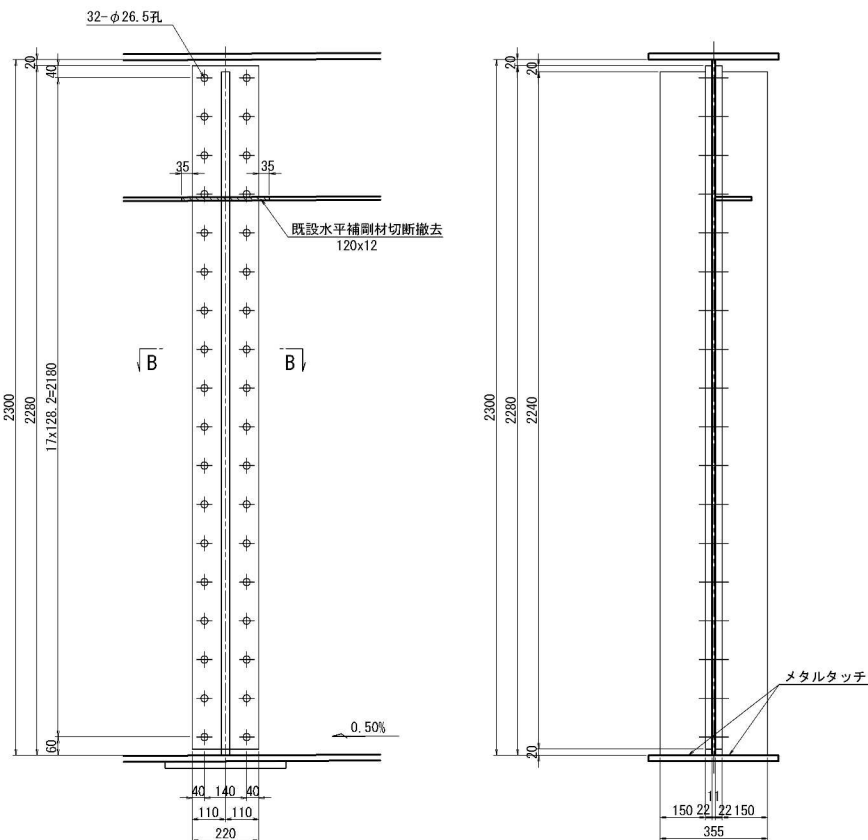


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x299 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x28x2260
36-TCB M22x90 (S10T)

A - A S=1:12.5

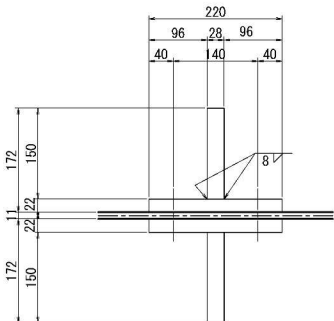


P5側-G2

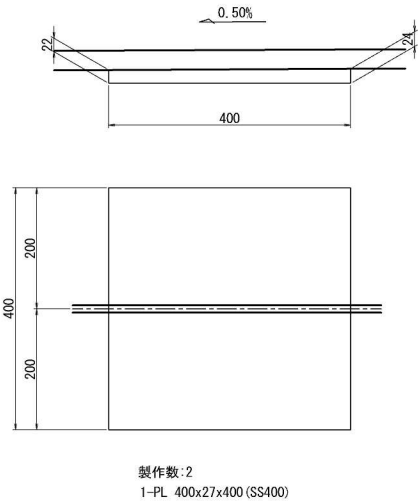


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x299 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x28x2260
36-TCB M22x90 (S10T)

B - B S=1:12.5

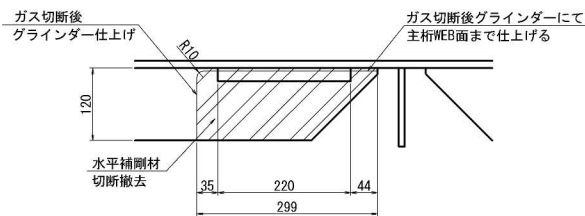


ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5

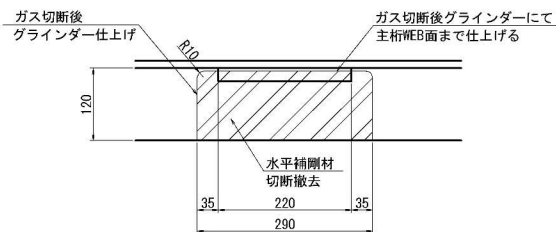


水平補剛材切断詳細 S=1:12.5

P5側-G1



P5側-G2

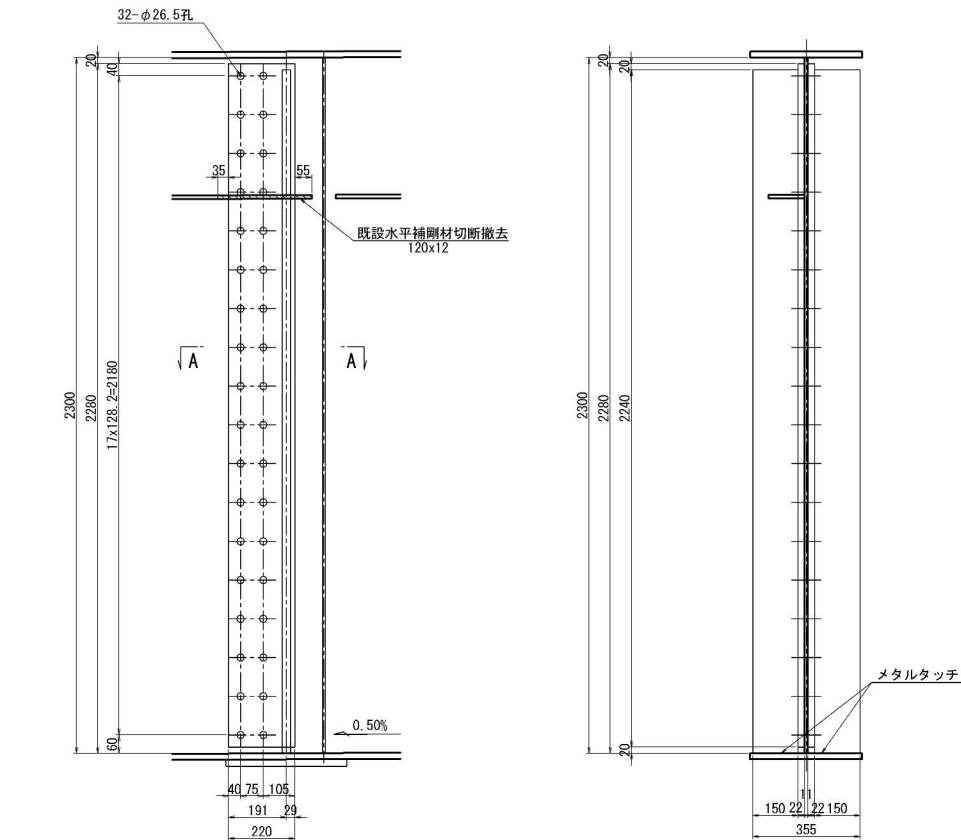


注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し
結果を反映の上決定のこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 特記なきスカーラップはR35とする。
4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 A2橋台支承改良工図(その9)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

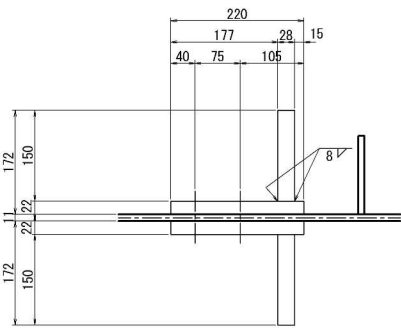
下り線 B P・A-8
ジャッキアップ補強材

P5側-G3

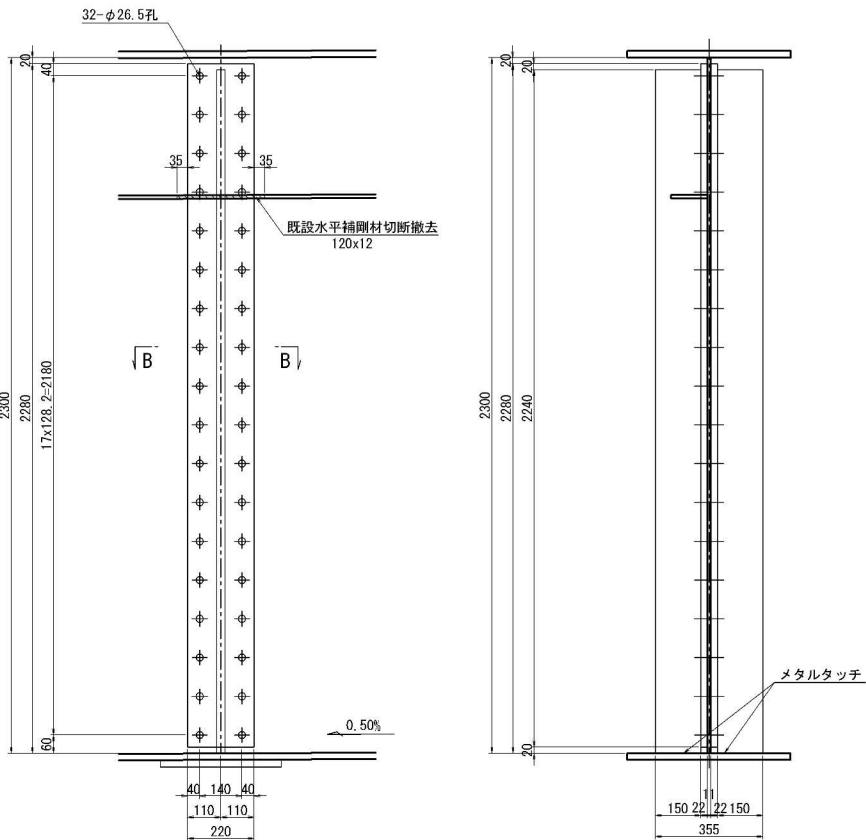


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x310 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x28x2260
3G-TCB M22x90 (S10T)

A - A S=1:12.5

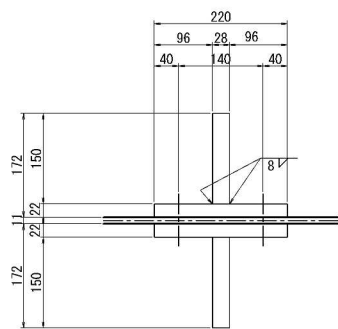


P5側-G4

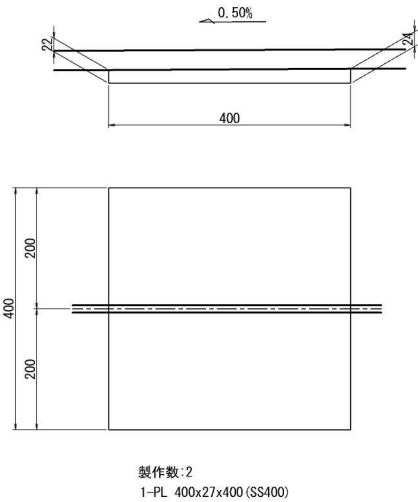


水平補剛材撤去材料： 材料：(製作数：1箇所)
1-PL 120x12x290 2-PL 220x22x2260
2-PL 150x28x2260
3G-TCB M22x90 (S10T)

B - B S=1:12.5

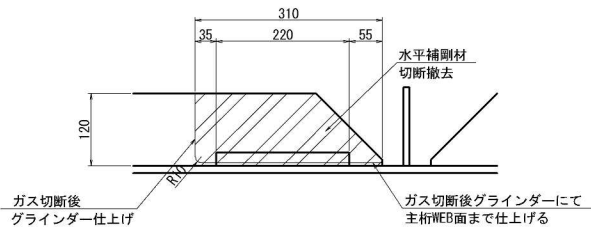


ジャッキベースプレート詳細図 S=1:12.5

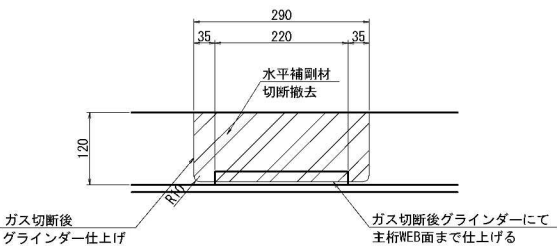


水平補剛材切断詳細 S=1:12.5

P5側-G3



P5側-G4

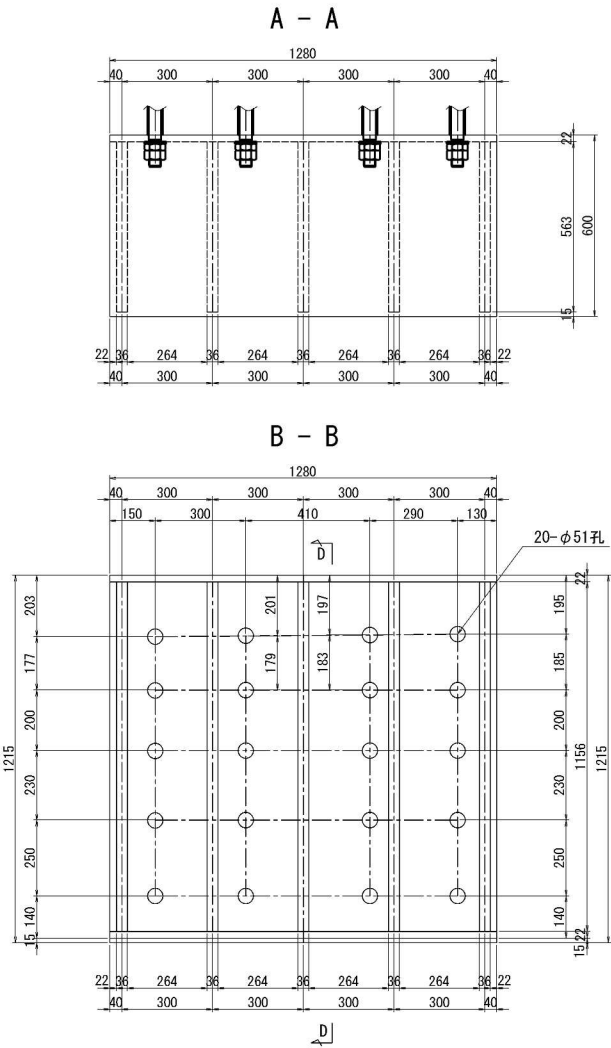


注記)
1. 各寸法は施工時に現場実測を実施し結果を反映の上決定のこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 特記なきスカーラップはR35とする。
4. 既設部材への孔明け径はφ24.5とする。

八戸自動車道 柵引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 A2橋台支承改良工図(その10)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

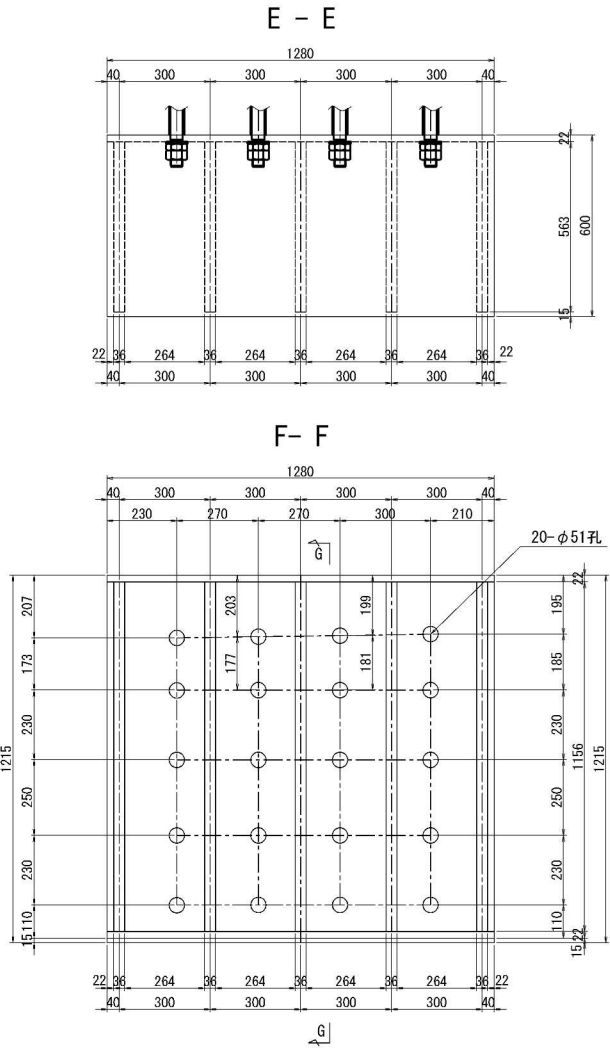
下り線 B P・A-8
脚付ブラケット

TYPE1-P5側-G1
製作数: 1箇所



<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5- RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1193
20-アンカーボルト D41×760 (SD345)
20-ナット・ワッシャーM39用 (SS400) <1種, 3種>

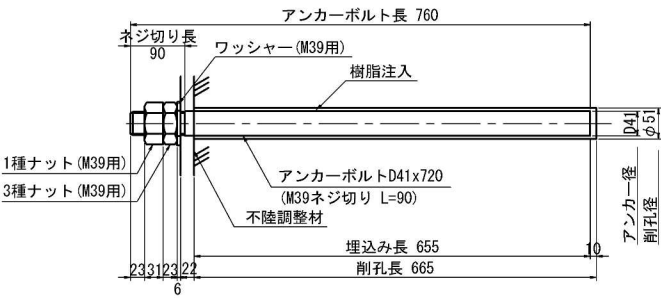
TYPE2-P5側-G2
製作数: 1箇所



<1箇所当たり>
1-UFLG PL 600x22x1280
5- RIB PL 563x36x1156 (SM400B)
1-LFLG PL 278x22x1280
1-BASE PL 1280x22x1193
20-アンカーボルト D41×720 (SD345)
20-ナット・ワッシャーM39用 (SS400) <1種, 3種>

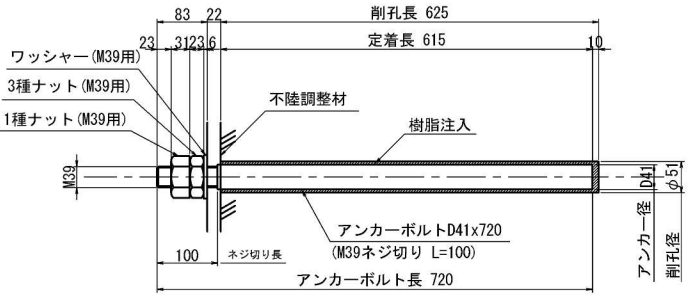
アンカーボルト詳細図 S=1:12.5

TYPE1-P5側-G1, TYPE2-P5側-G2
製作数: 各20



アンカーボルト詳細図 S=1:12.5

TYPE3-P5側-G3, TYPE4-P5側-G4
製作数: 各20



注記

- 鉄筋探査後にアンカー位置を最終決定すること。
- 鋼材加工及び取付位置は、現場計測の上決定のこと。
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

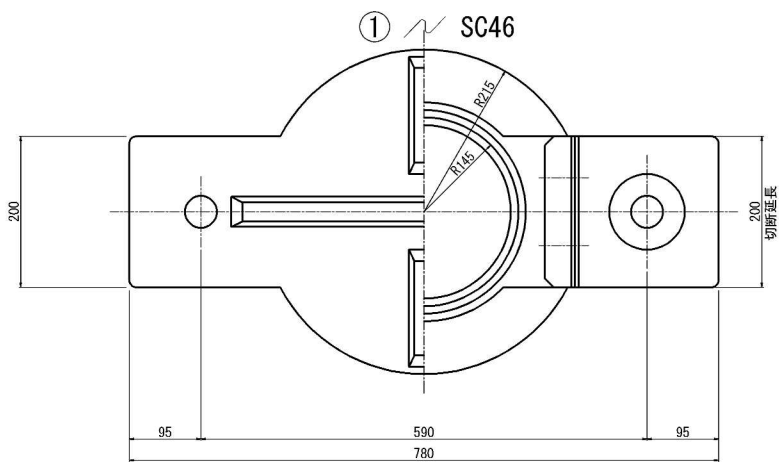
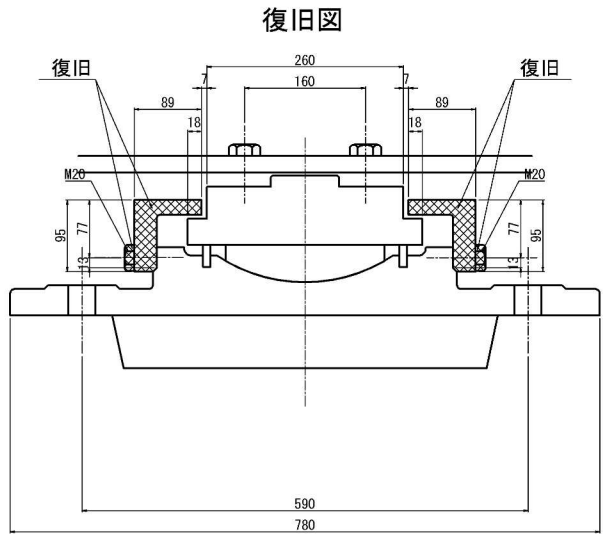
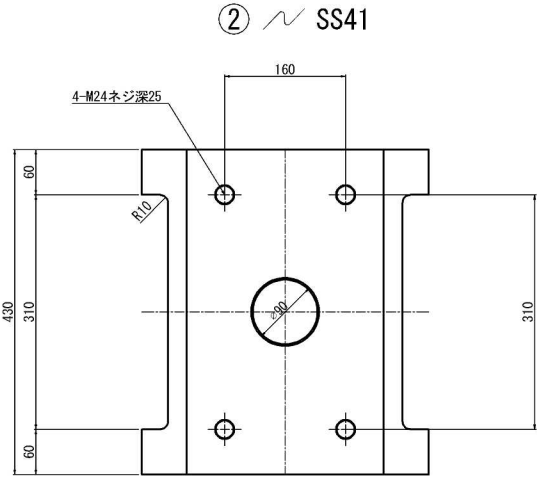
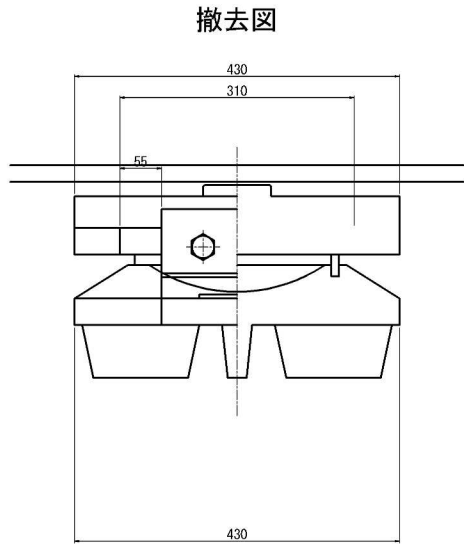
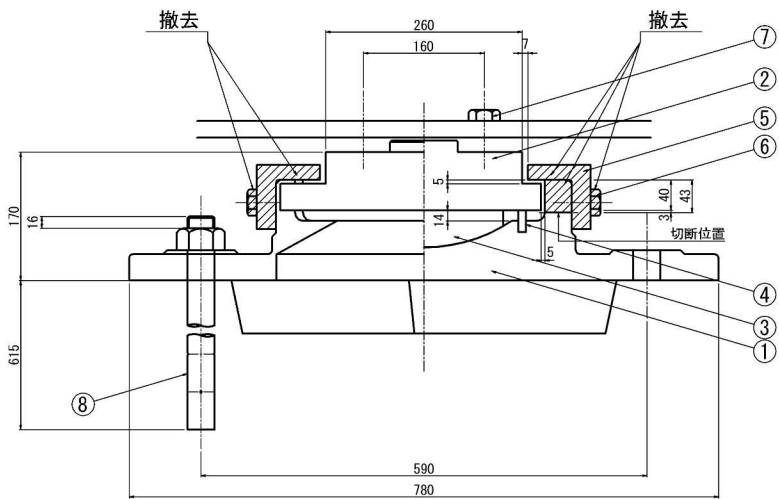
八戸自動車道 楡引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 A2橋台支承改良工図(その11)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

八戸自動車道 棚引馬淵川橋耐震補強工事			
奥入瀬川橋		A2橋台支承改良工図(その12)	
図面の種類			
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

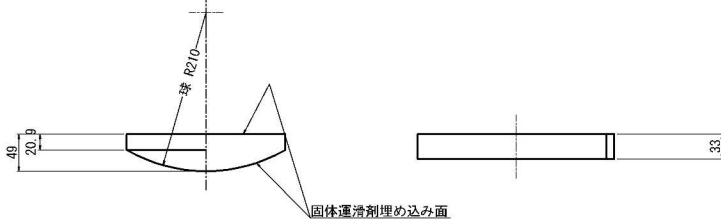
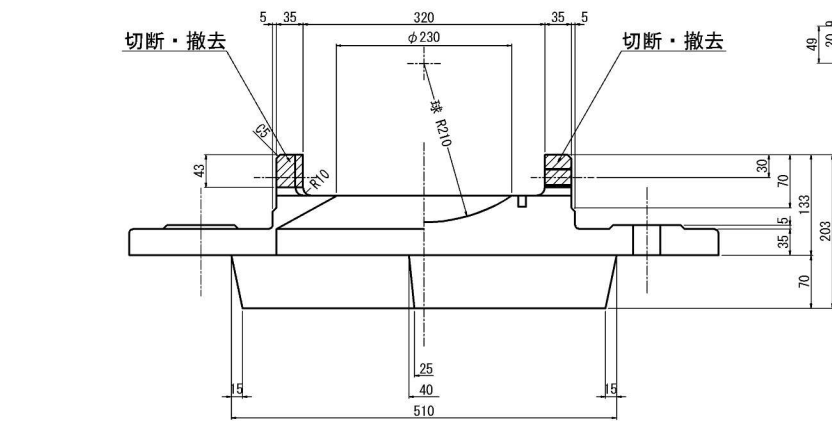
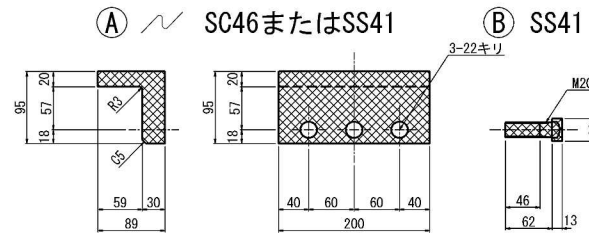
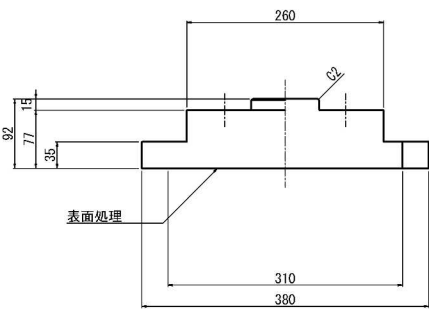
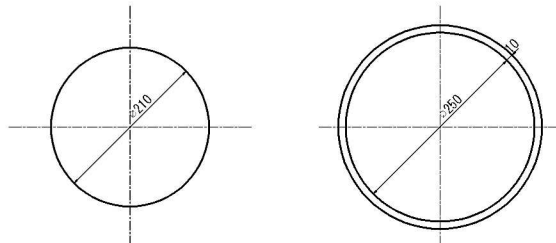
奥入瀬川橋 支承改良詳細図(その1)

S=1:10

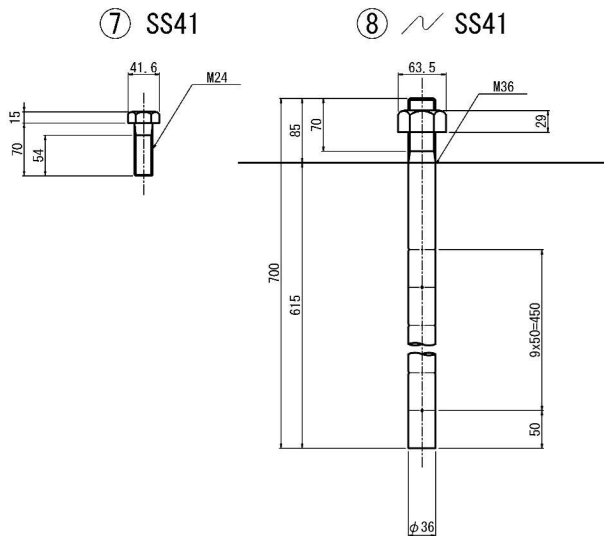
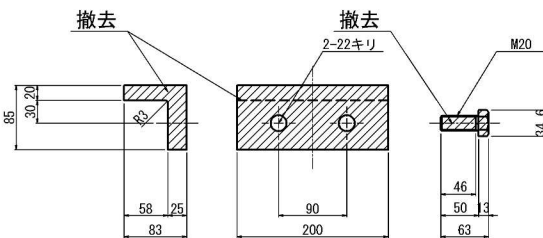
上り線 B P・A-1、下り線 B P・A-2



③ HBsC4+SL ④ クロロプレングム



⑤ SC46またはSS41 ⑥ SS41



撤去数量表

部番	部品名称	材質	個数	1箇所当り重量(kg)	箇所数	数量(kg)	備考
①	下 省	SC46	1	4.726	5	23.6	
⑤	サイドブロック	SC46またはSS41	2	10.000	5	50.0	
⑥	ボルト	SS41	4	0.700	5	3.5	M20
合計						77.1 kg	

切断延長数量表

部番	部品名称	材質	個数	1箇所当り延長(m)	箇所数	数量(m)	備考
⑤	サイドブロック	SC46またはSS41	2	0.400	5	2.0	

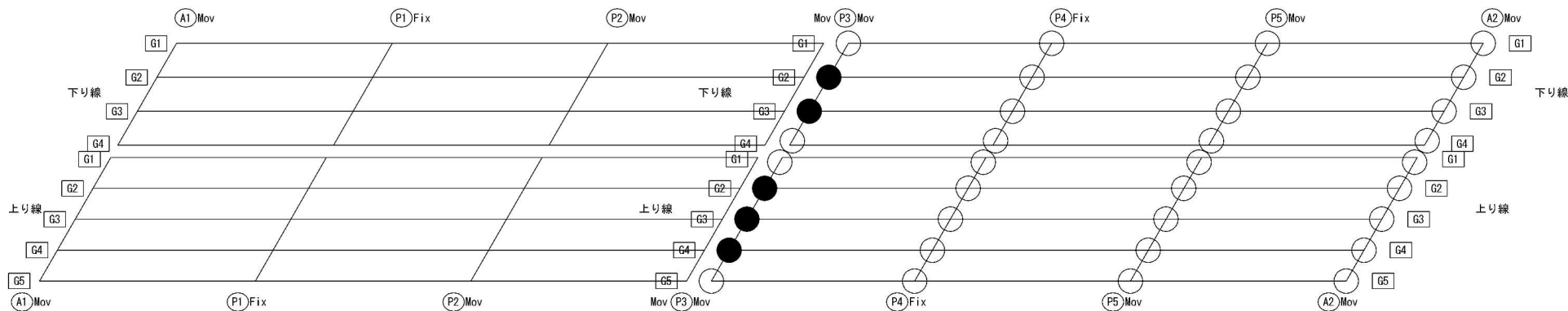
復旧重量数量表

部番	部品名称	材質	個数	1箇所当り重量(kg)	箇所数	数量(kg)	備考
①	サイドブロック	SC46またはSS41	2	12.654	5	63.3	
②	ボルト	SS41	6	1.050	5	5.3	M20
合計						68.6 kg	

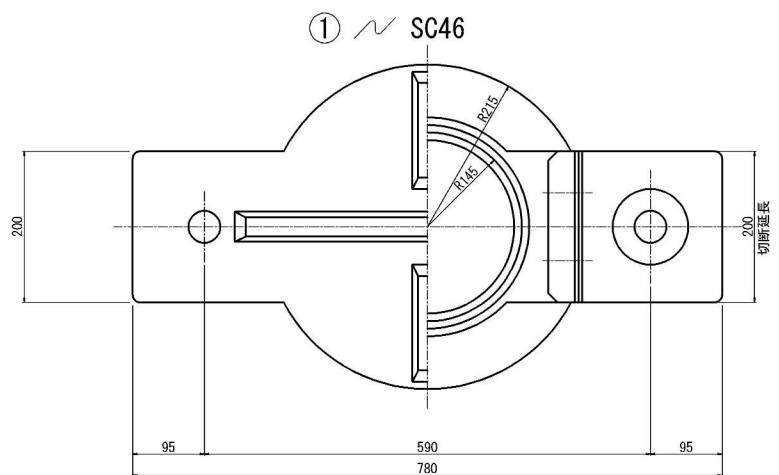
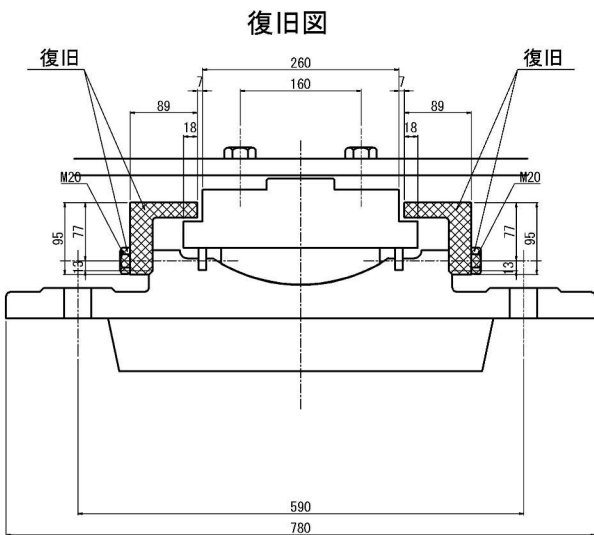
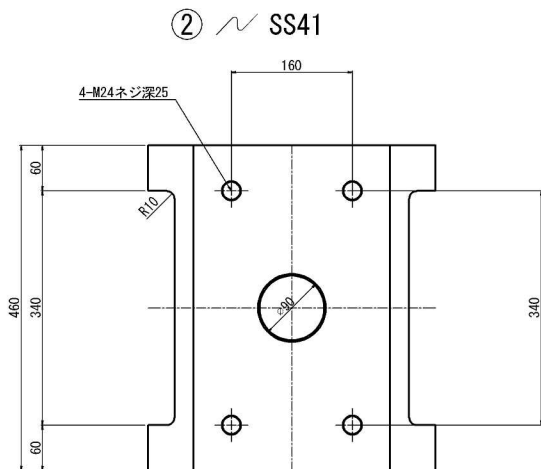
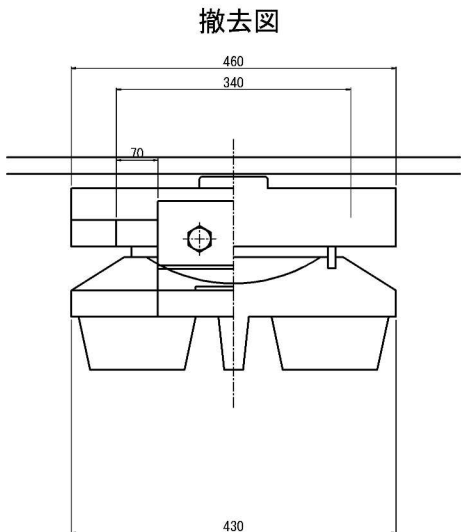
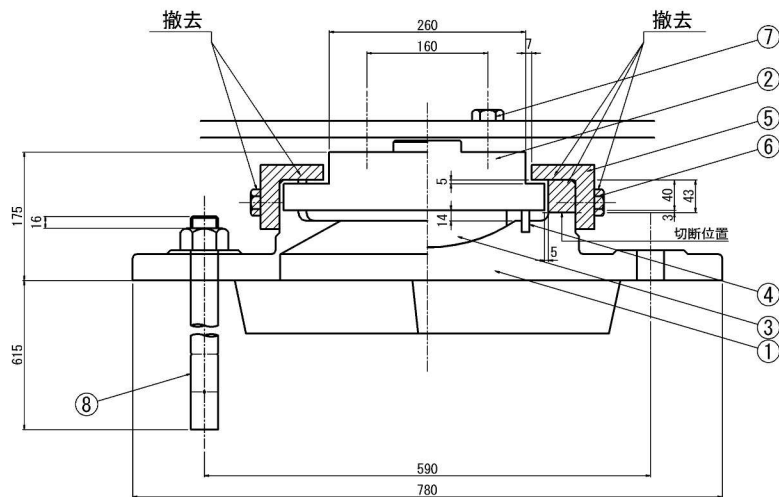
復旧数量表

部番	部品名称	工 種	単位	個数	1箇所当り数量	箇所数	数 量	備 考
②	ボルト		個	3	6	5	30	M20
①	サイドブロック	現場鋼板孔明	箇所	2	6	5	30	22φ
①	サイドブロック	塗装面積	m2	2	0.158	5	0.8	
②	ボルト		m2	6	0.039	5	0.2	

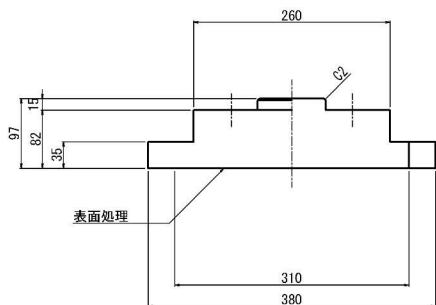
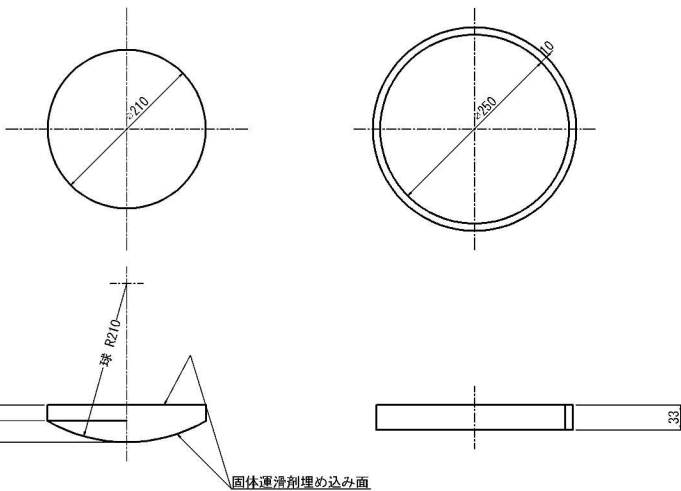
配置図



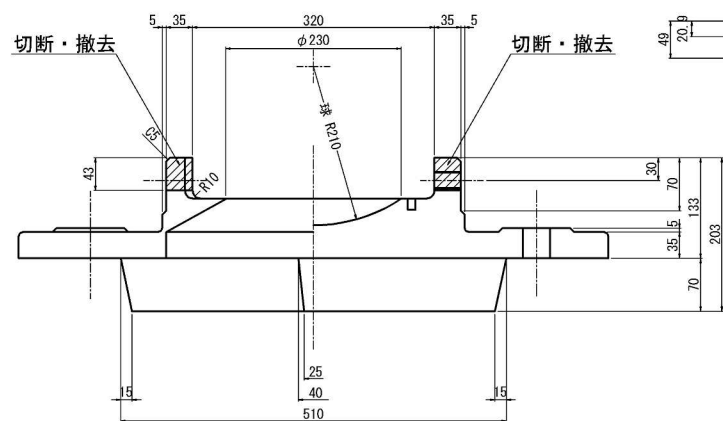
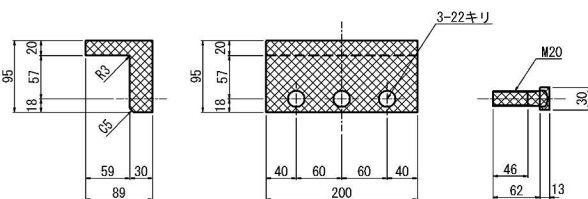
奥入瀬川橋 支承改良工詳細図(その2) S=1:10
上り線 BP・A-7、下り線 BP・A-8



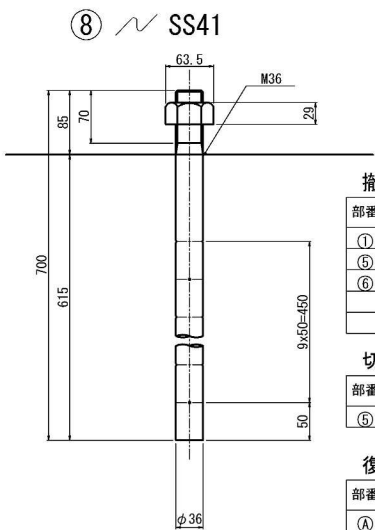
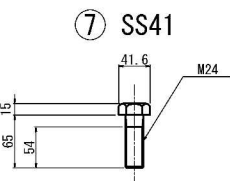
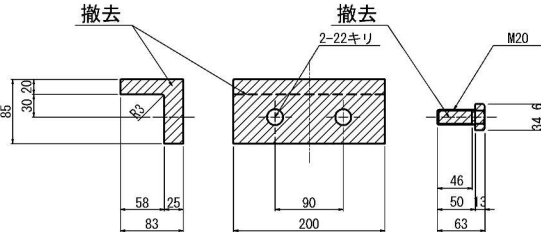
③ HBsC4+SL ④ クロロプレングム



① SC46またはSS41 ② SS41



⑤ SC46またはSS41 ⑥ SS41



撤去数量表

部番	部品名称	材質	個数	1箇所当り重量(kg)	箇所数	数量(kg)	備考
①	下 省	SC46	1	4.726	4	18.9	
⑤	サイドブロック	SC46#SS41	2	10.000	4	40.0	
⑥	ボルト	SS41	4	0.700	4	2.8	M20
合計						61.7 kg	

切断延長数量表

部番	部品名称	材質	個数	1箇所当り延長(m)	箇所数	数量(m)	備考
⑤	サイドブロック	SC46#SS41	2	0.400	4	1.6	

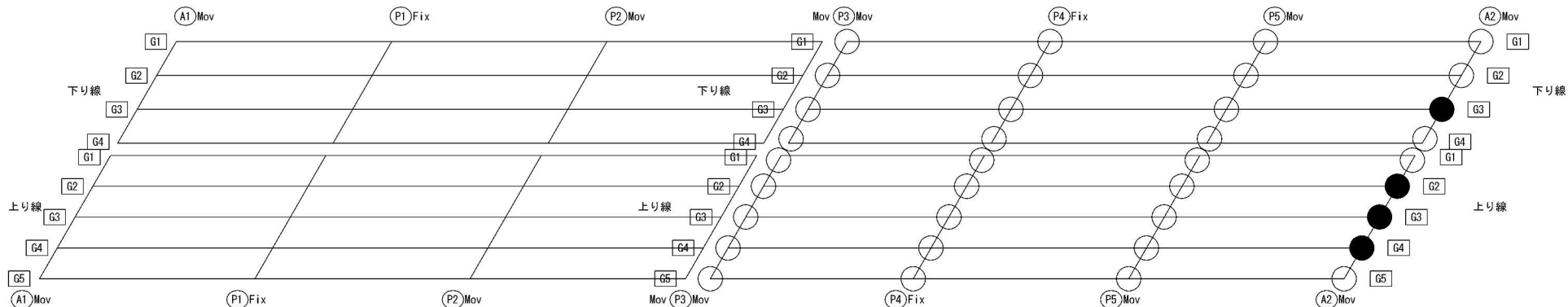
復旧重量数量表

部番	部品名称	材質	個数	1箇所当り重量(kg)	箇所数	数量(kg)	備考
①	サイドブロック	SC46#SS41	2	12.654	4	50.6	
②	ボルト	SS41	6	1.050	4	4.2	M20
合計						54.8 kg	

復旧数量表

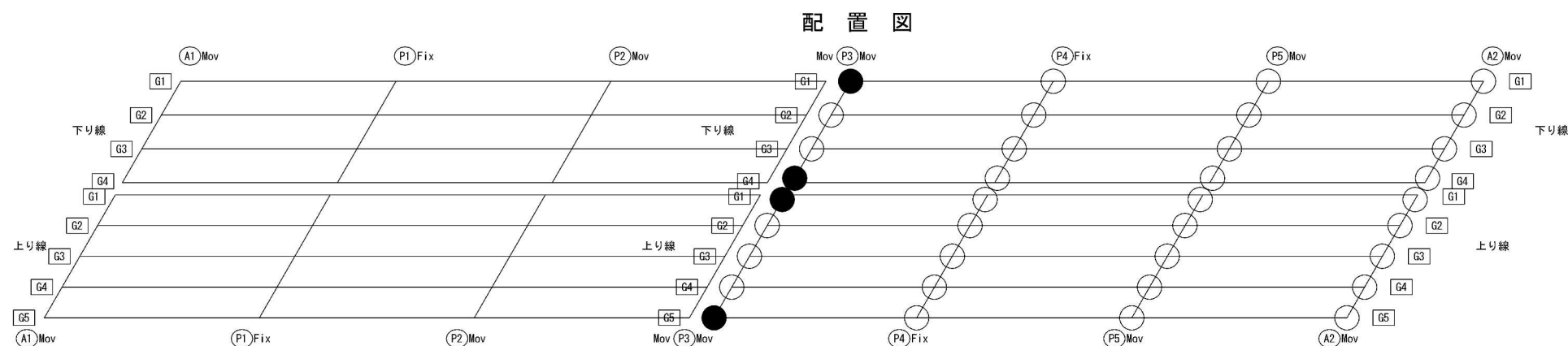
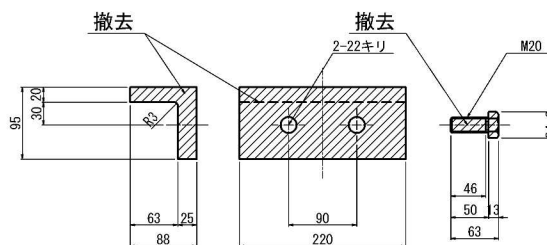
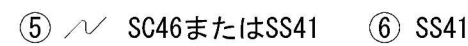
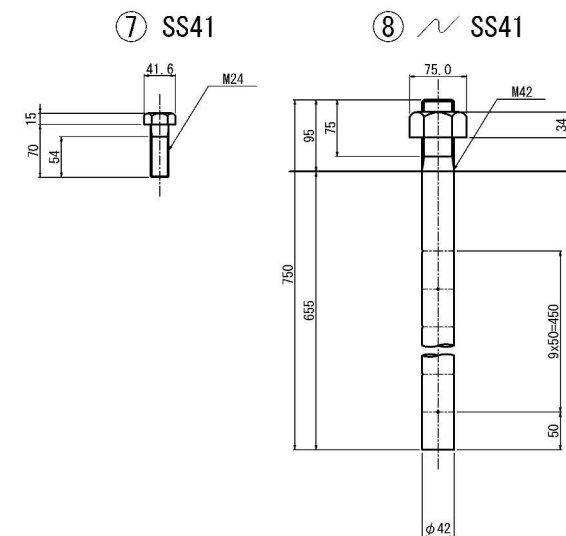
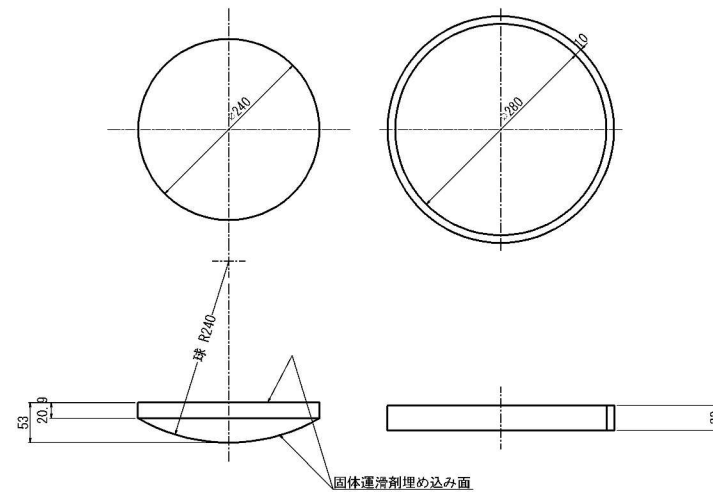
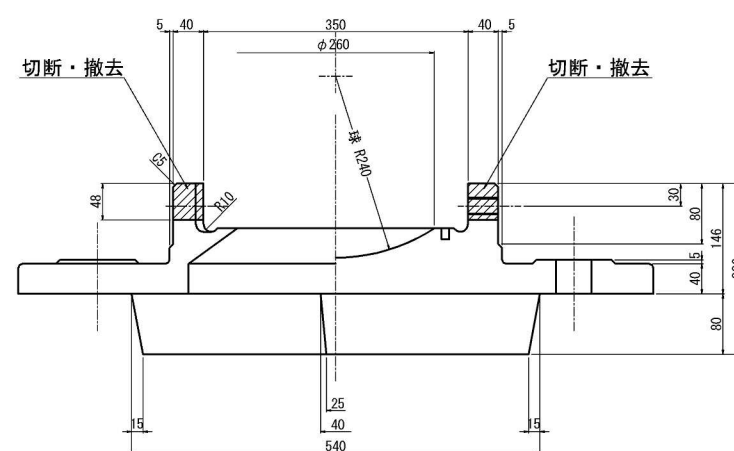
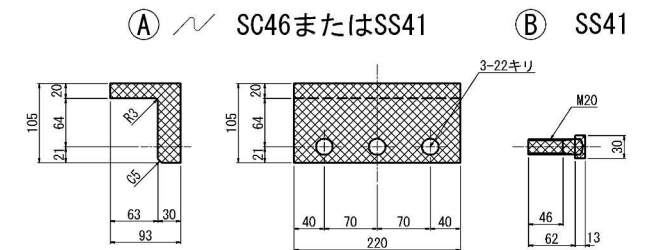
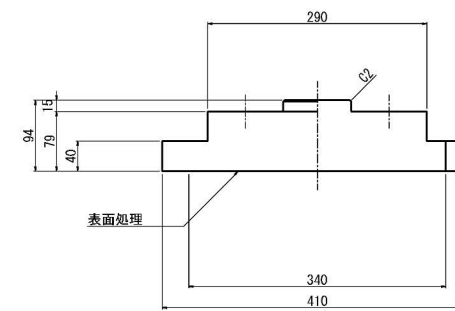
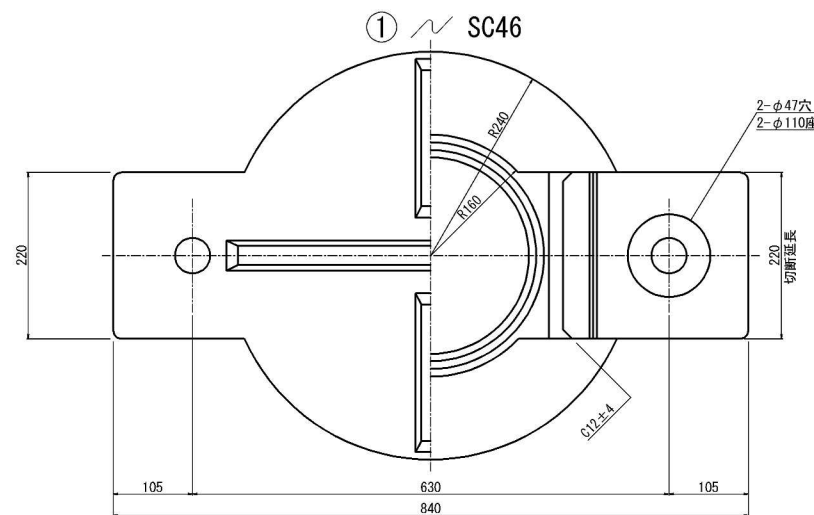
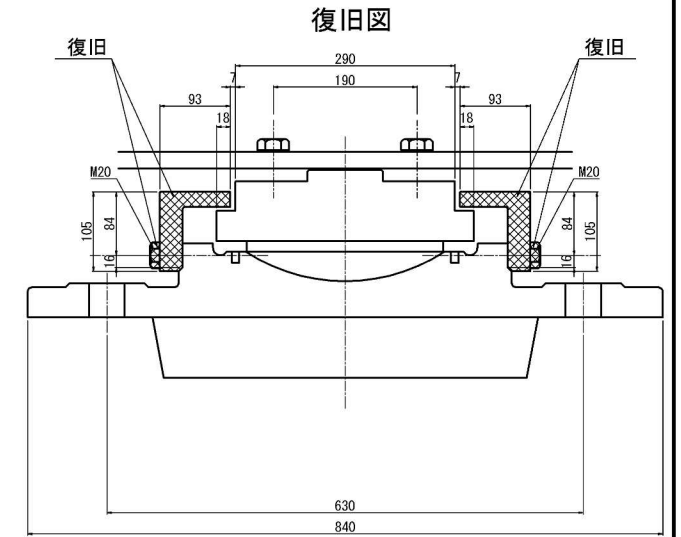
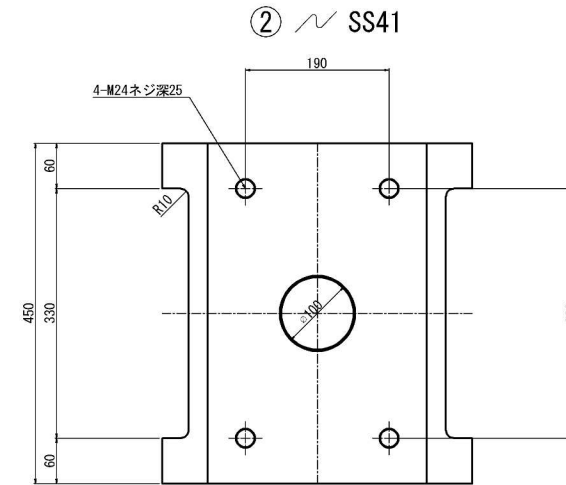
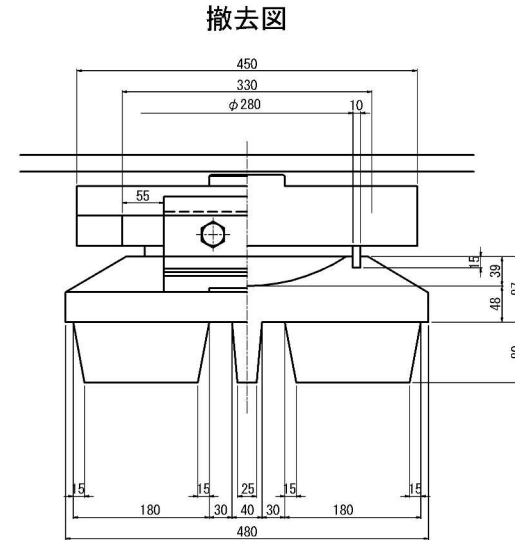
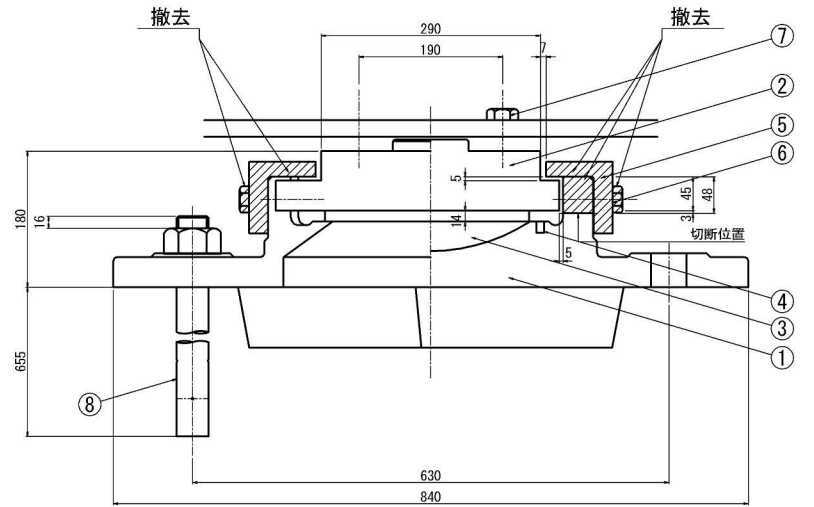
部番	部品名称	工 種	単位	個数	1箇所当り数量	箇所数	数 量	備 考
②	ボルト		個	3	6	4	24	M20
①	サイドブロック	現場鋼板孔明	箇所	2	6	4	24	22φ
①	サイドブロック	塗装面積	m2	2	0.158	4	0.6	
②	ボルト		m2	6	0.039	4	0.2	

配置図



八 戸 自 動 車 道 櫛引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 支承改良工詳細図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

上り線 BP・A-1、下り線 BP・A-2

[illegible]

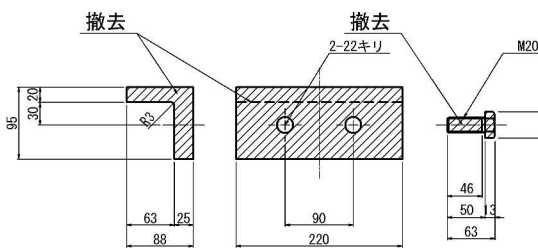
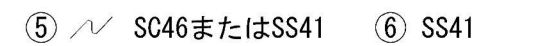
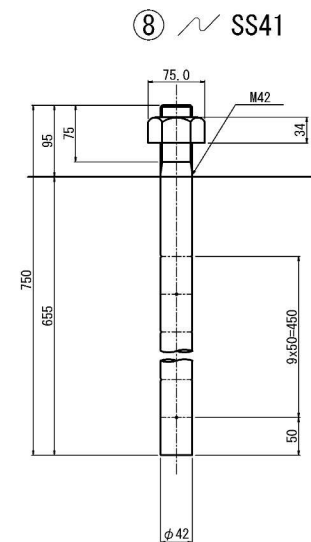
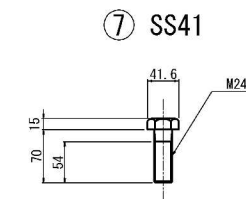
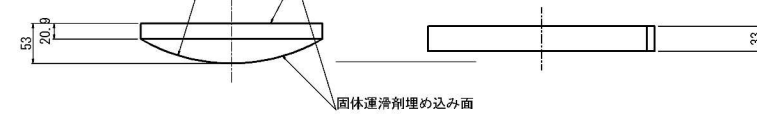
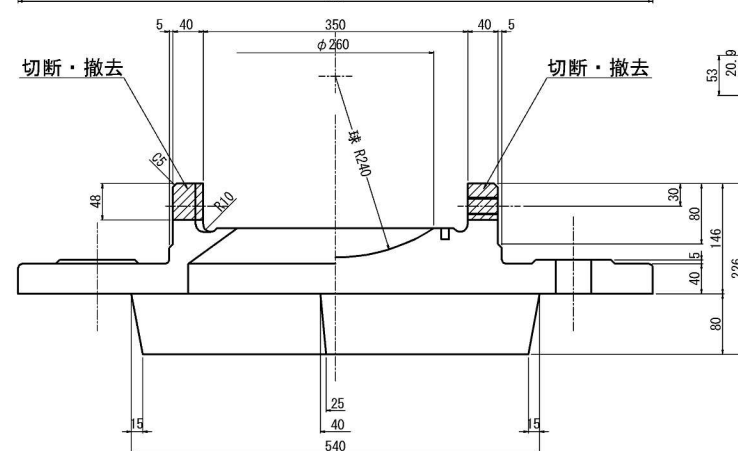
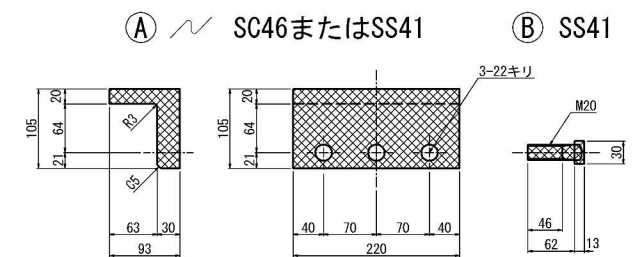
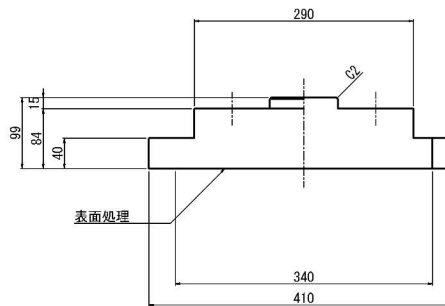
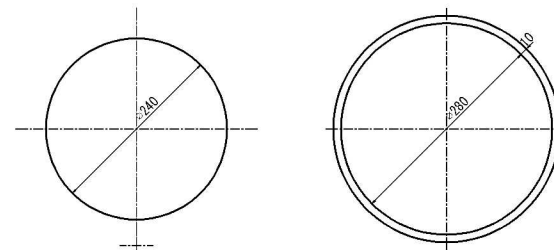
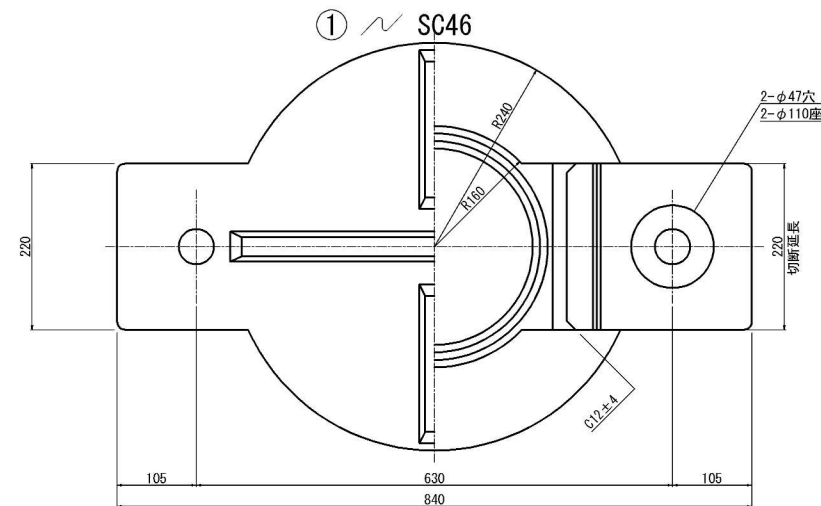
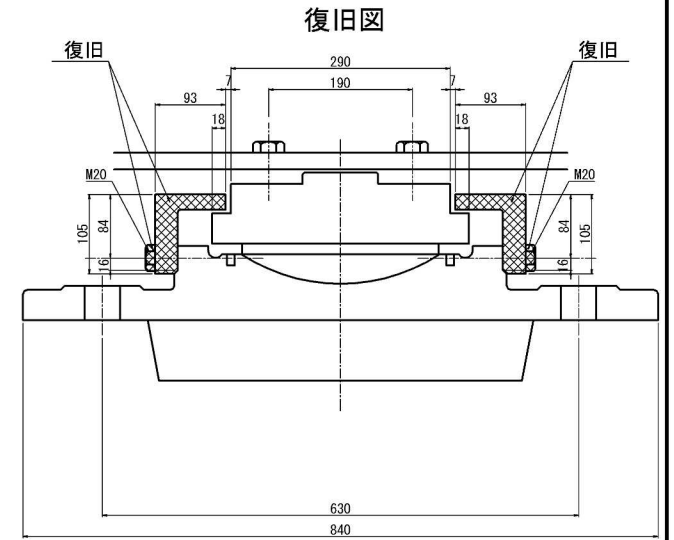
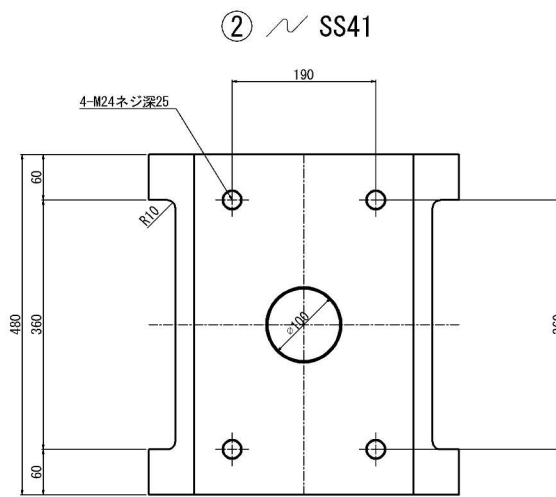
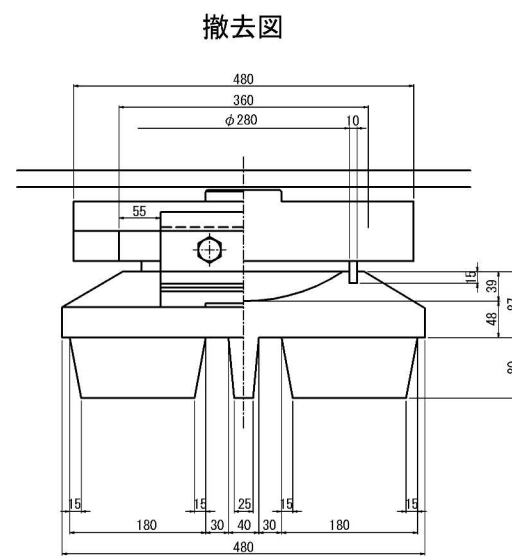
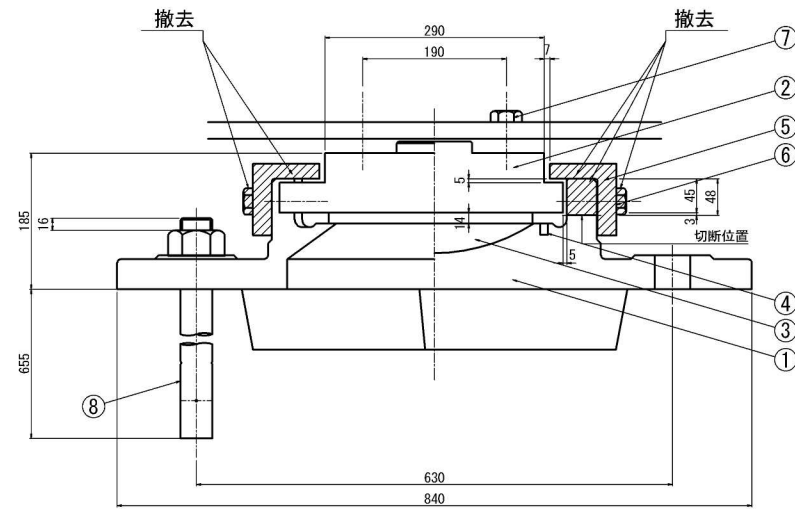
部番	部品名称	材 質	個数	1箇所当り延長 (m)	箇所数	数 量 (m)	備 考
(5)	サイドブロック	SC46鉄板SS41	2	0.440	4	1.8	

部番	部品名称	材 質	個数	1箇所当り重量 (kg)	箇所数	数 量 (kg)	備 考
(A)	サイドブロック	SS400#SS41	2	15.232	4	60.9	
(B)	ボルト	SS41	6	1.050	4	4.2	M20
合 計						65.1 kg	

部番	部品名称	工 種	単位	個数	1箇所当り数量	箇所数	数 量	備 考
(B)	ボルト		個	3	6	4	24	M20
(A)	サイドブロック	現場鋼板孔明	箇所	2	6	4	24	22φ
(A)	サイドブロック	塗装面積	m ²	2	0.187	4	0.7	
(B)	ボルト		m ²	6	0.043	4	0.2	

八 戸 自 動 車 道 楢引馬瀬川橋脚震補強工事			
奥入瀬川橋		支 承 改 良 工 詳 細 図 (その3)	
図面の種類			
縮 尺	図 式	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高遠道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

上り線 BP・A-7、下り線 BP・A-8

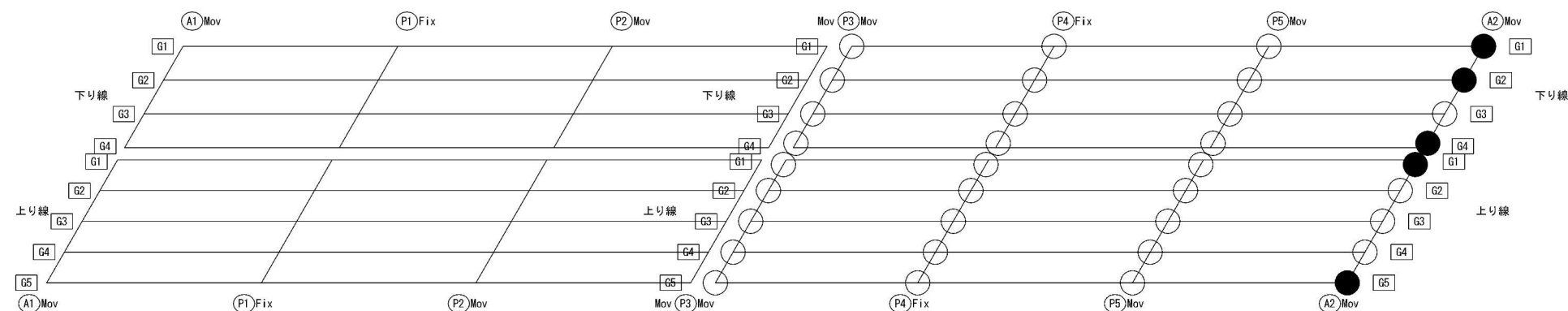


部番	部品名称	材 質	個数	1箇所当り重量 (kg)	箇所数	数 量 (kg)	備 考
①	下 査	SC46	1	6.632	5	33.2	
⑤	サイドブロック	SC46+SS41	2	12.300	5	61.5	
⑥	ボルト	SS41	4	0.700	5	3.5	M20
合 計						98.2 kg	

部番	部品名称	材 質	個数	1箇所当り延長 (m)	箇所数	数 量 (m)	備 考
⑤	サイドブロック	SC46材SS41	2	0.44	5	2.2	

部番	部品名称	材質	個数	1箇所当り重量 (kg)	箇所数	数 量 (kg)	備 考
(A)	サイドブロック	SC46HSS41	2	15.232	5	76.2	
(B)	ボルト	SS41	6	1.050	5	5.3	M20
合 計						81.5 kg	

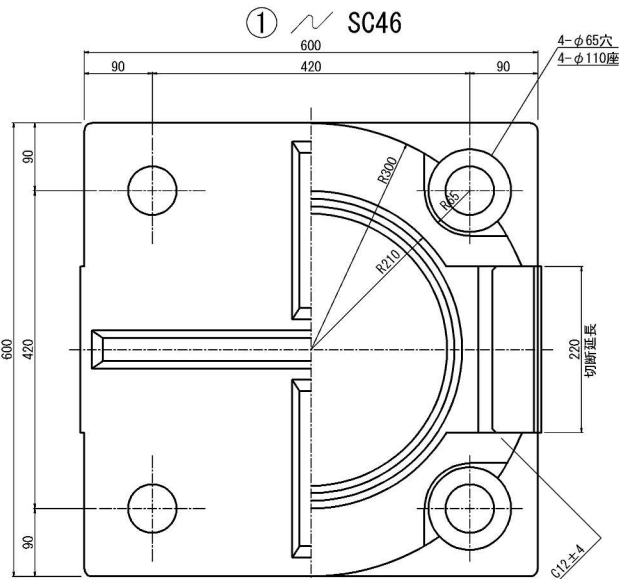
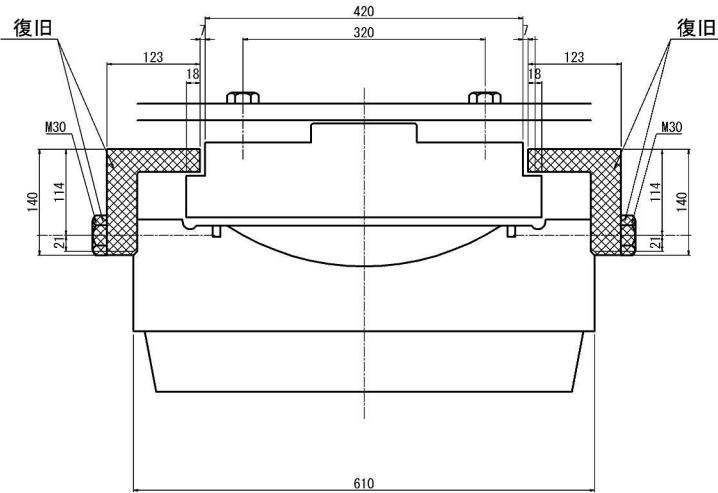
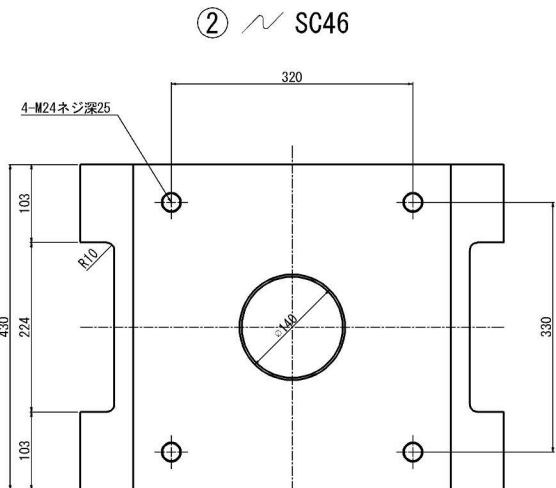
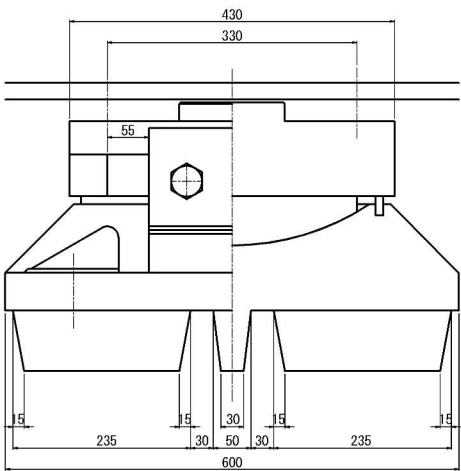
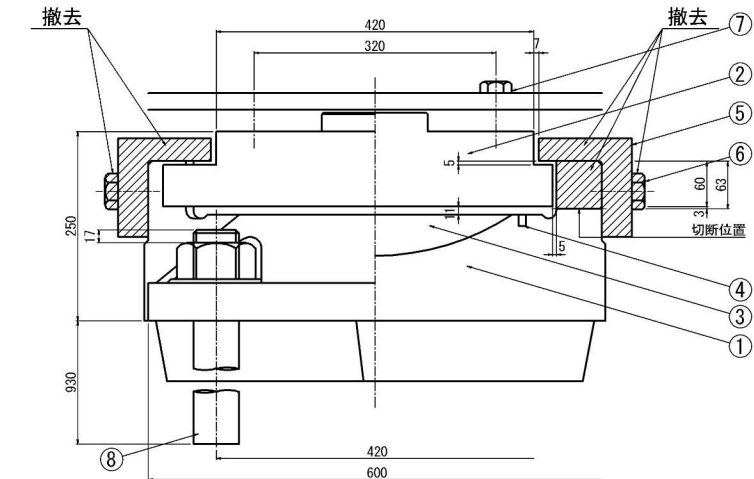
部番	部品名称	工 種	単位	個数	1箇所当り数量	箇所数	数 量	備 考
(B)	ポルト		個	3	6	5	30	M20
(A)	サイドブロック	現場鋼板孔打	箇所	2	6	5	30	M20 φ
(A)	サイドブロック	塗装面積	m ²	2	0.187	5	0.9	
(B)	ポルト		m ²	6	0.043	5	0.2	



八 戸 自 動 車 道 橋引馬淵川橋耐震補強工事			
奥入瀬川橋			
図面の種類	支系改良工詳細図(その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

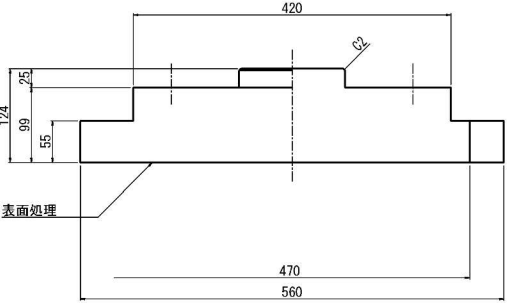
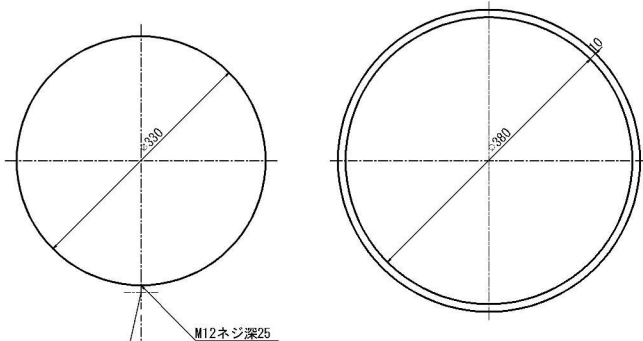
上り線 B P・A-3、下り線 B P・A-4

撤去図



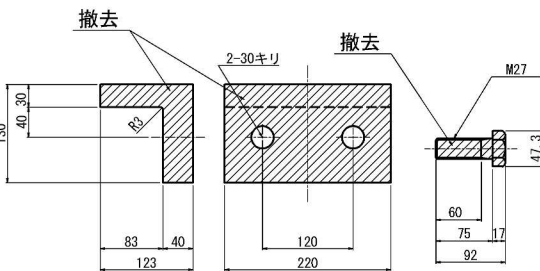
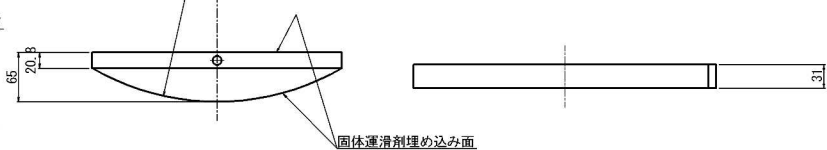
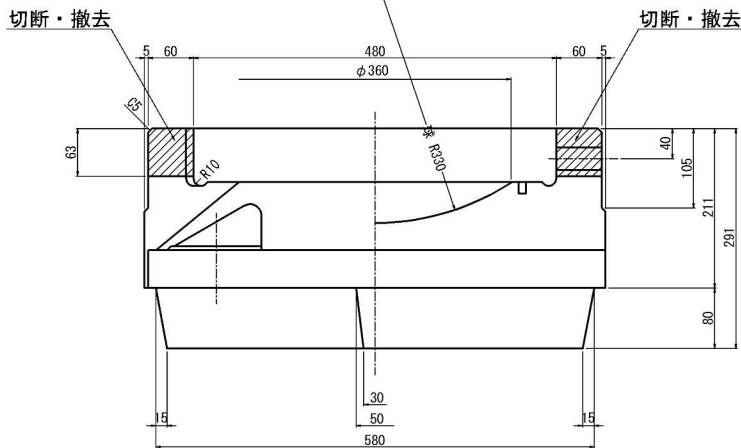
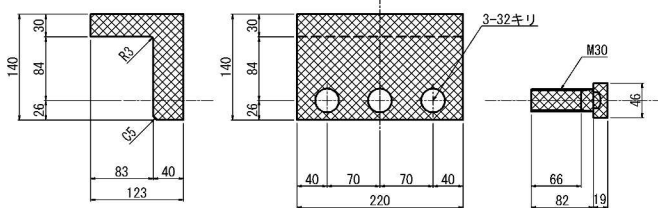
③ HBsC4+SL

④ クロロプレングム



⑦ SS41

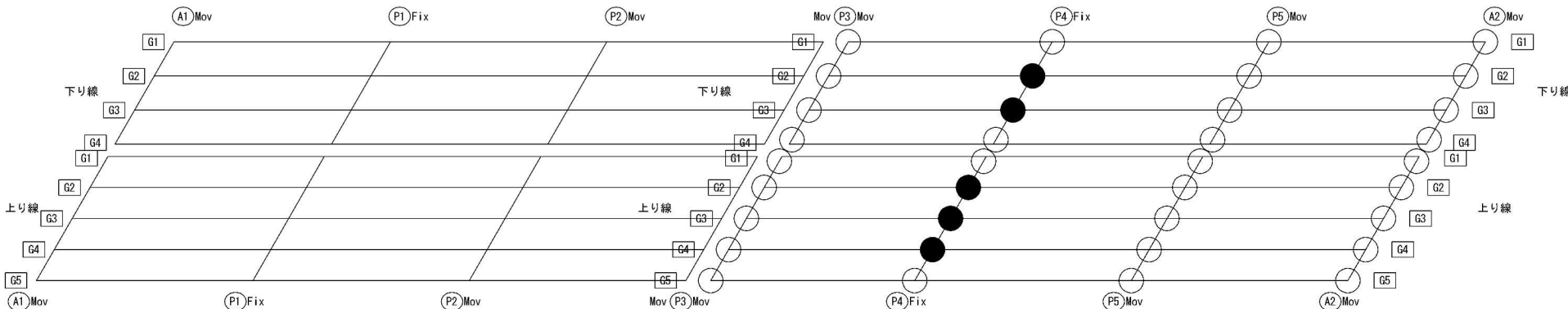
⑧ SS41



⑤ SC46またはSS41

⑥ SS41

配置図



撤去数量表

部番	部品名称	材質	個数	1箇所当り重量(kg)	箇所数	数量(kg)	備考
①	下 管	SC46	1	13.056	5	65.3	
⑤	サイドブロック	SC46#SS41	2	25.700	5	128.5	
⑥	ボルト	SS41	4	2.000	5	10.0	M27
合計						203.8 kg	

切断延長数量表

部番	部品名称	材質	個数	1箇所当り延長(m)	箇所数	数量(m)	備考
⑤	サイドブロック	SC46#SS41	2	0.440	5	2.2	

復旧重量数量表

部番	部品名称	材質	個数	1箇所当り重量(kg)	箇所数	数量(kg)	備考
A	サイドブロック	SC46#SS41	2	27.943	5	139.7	
B	ボルト	SS41	6	3.528	5	17.6	M30
合計						157.3 kg	

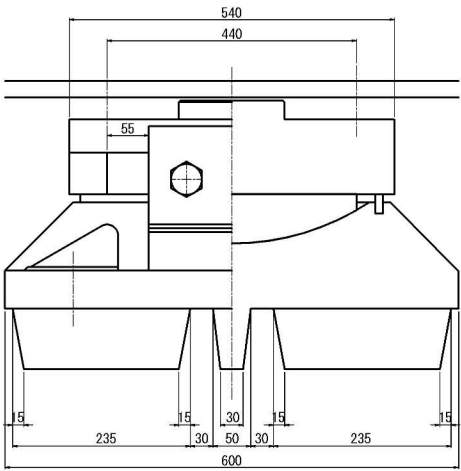
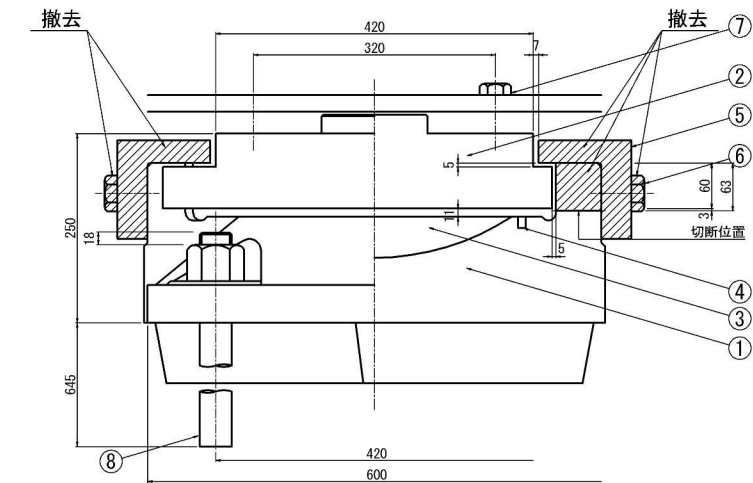
復旧数量表

部番	部品名称	工 種	単位	個数	1箇所当り数量	箇所数	数 量	備 考
B	ボルト		個	3	6	5	30	M30
A	サイドブロック	現場鋼板孔明	箇所	2	6	5	30	32φ
A	サイドブロック	塗装面積	m2	2	0.253	5	1.3	
B	ボルト		m2	6	0.083	5	0.4	

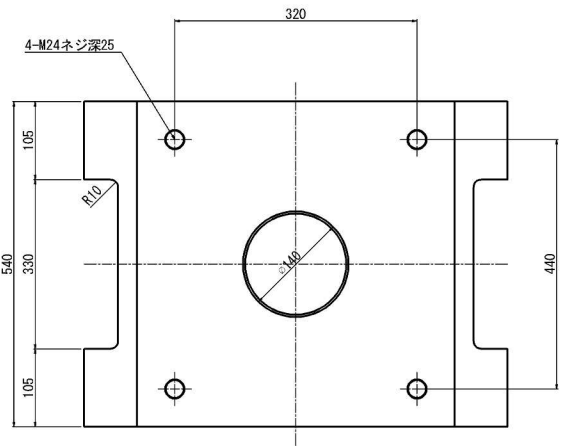
八 戸 自 動 車 道 櫛引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 支承改良工詳細図(その5)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

奥入瀬川橋 支承改良工詳細図(その6) S=1:10
上り線 BP・A-5、下り線 BP・A-6

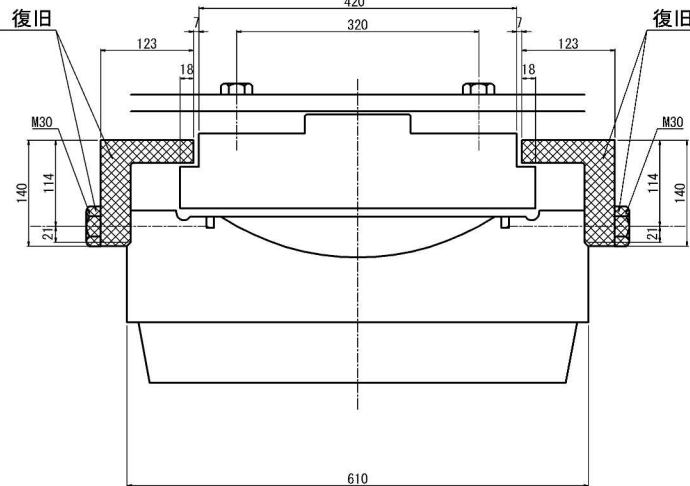
撤去図



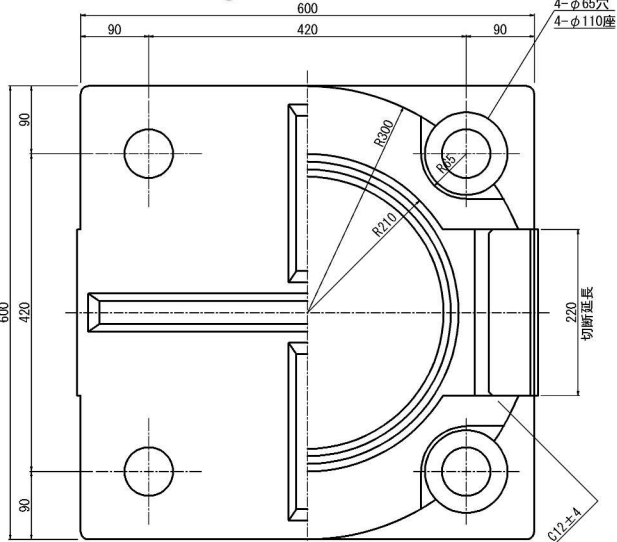
② SC46



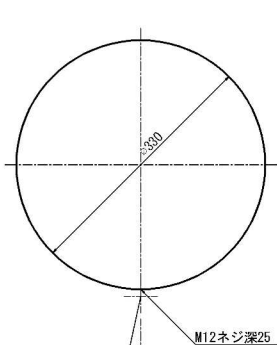
復旧図



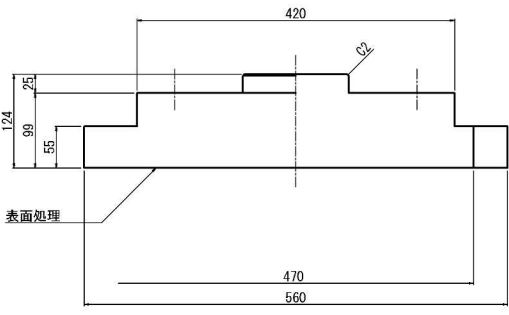
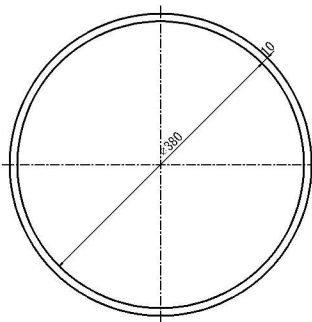
① SC46



③ HBsC4+SL

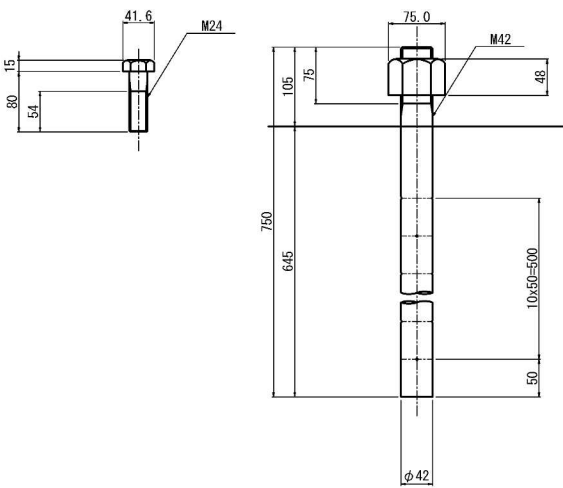


④ クロロプレングム

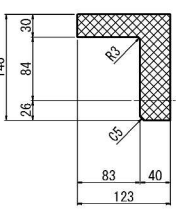


⑦ SS41

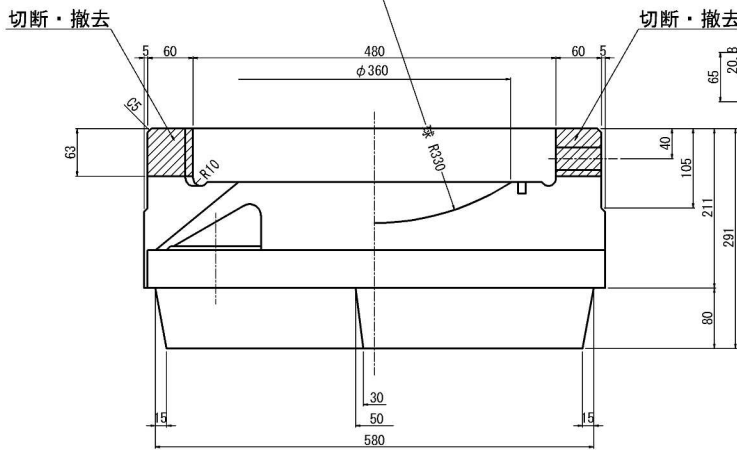
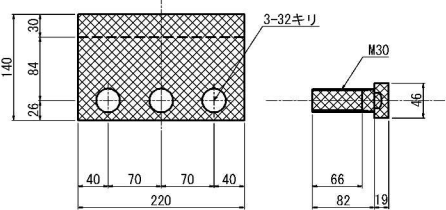
⑧ SS41



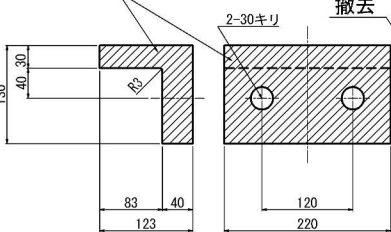
⑨ SC46またはSS41



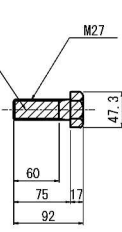
⑩ SS41



撤去



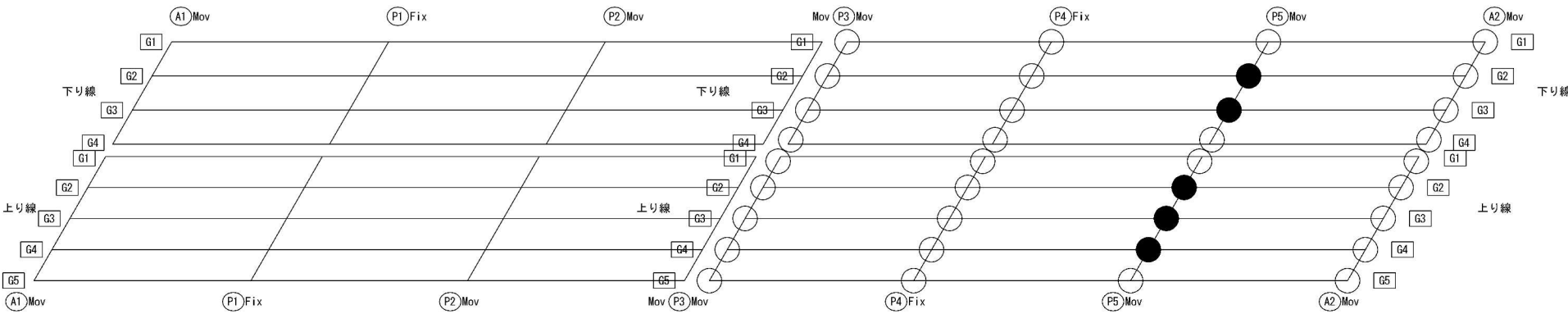
撤去



⑤ SC46またはSS41

⑥ SS41

配置図



撤去数量表

部番	部品名称	材質	個数	1箇所当り重量(kg)	箇所数	数量(kg)	備考
①	下 管	SC46	1	13.056	5	65.3	
⑤	サイドブロック	SC46またはSS41	2	25.700	5	128.5	
⑥	ボルト	SS41	4	2.000	5	10.0	M27
合計						203.8 kg	

切断延長数量表

部番	部品名称	材質	個数	1箇所当り延長(m)	箇所数	数量(m)	備考
⑤	サイドブロック	SC46またはSS41	2	0.440	5	2.2	

復旧重量数量表

部番	部品名称	材質	個数	1箇所当り重量(kg)	箇所数	数量(kg)	備考
⑨	サイドブロック	SC46またはSS41	2	27.943	5	139.7	
⑩	ボルト	SS41	6	3.528	5	17.6	M30
合計						157.3 kg	

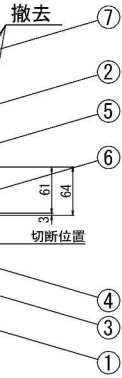
復旧数量表

部番	部品名称	工 種	単位	個数	1箇所当り数量	箇所数	数 量	備 考
⑩	ボルト		個	3	6	5	30	M30
⑨	サイドブロック	現場鋼板孔明	箇所	2	6	5	30	32φ
⑨	サイドブロック	塗装面積	m2	2	0.253	5	1.3	
⑩	ボルト		m2	6	0.083	5	0.4	

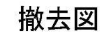
八 戸 自 動 車 道 櫛引馬瀬川橋耐震補強工事	
図面の種類	奥入瀬川橋 支承改良工詳細図(その6)
縮 尺	図 示 図面番号
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所

上り線 $BP \cdot A - 3$ 、下り線 $BP \cdot A - 4$

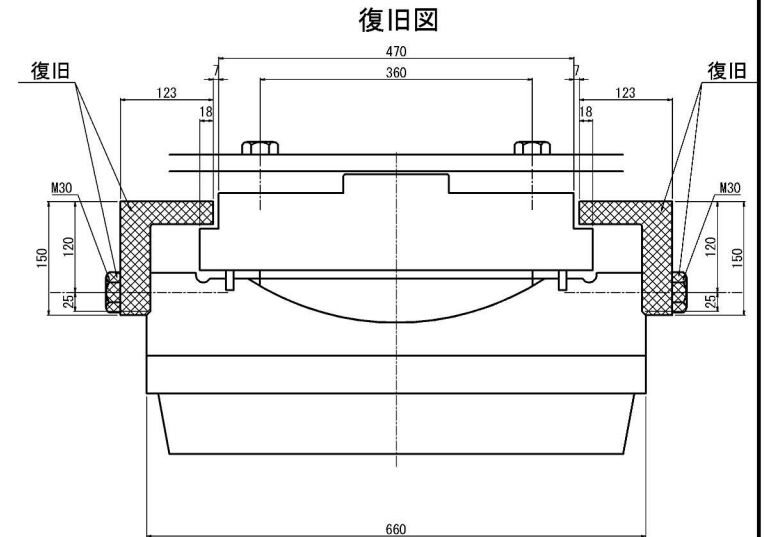
上り線 $BP \cdot A - 3$ 、下り線 $BP \cdot A - 4$



①  SC46

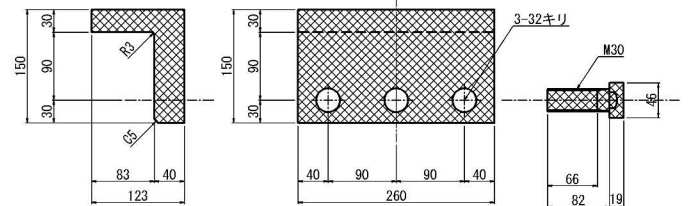


②  SC46



① A \sim SC46またはSS41

ⓑ SS41

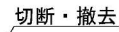
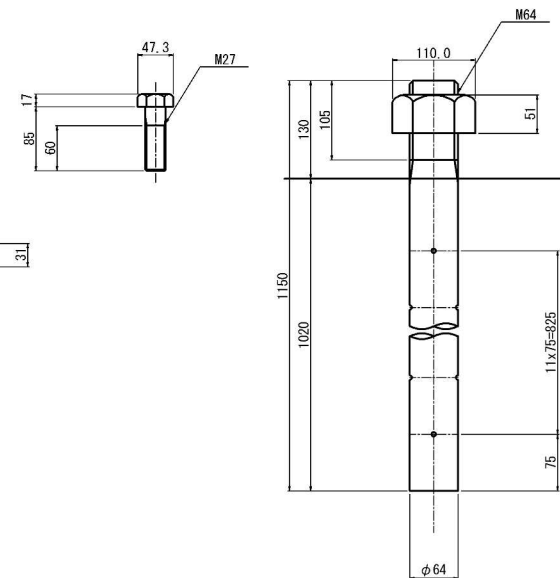


③ HBsC4+SL

④ クロロプレンゴム



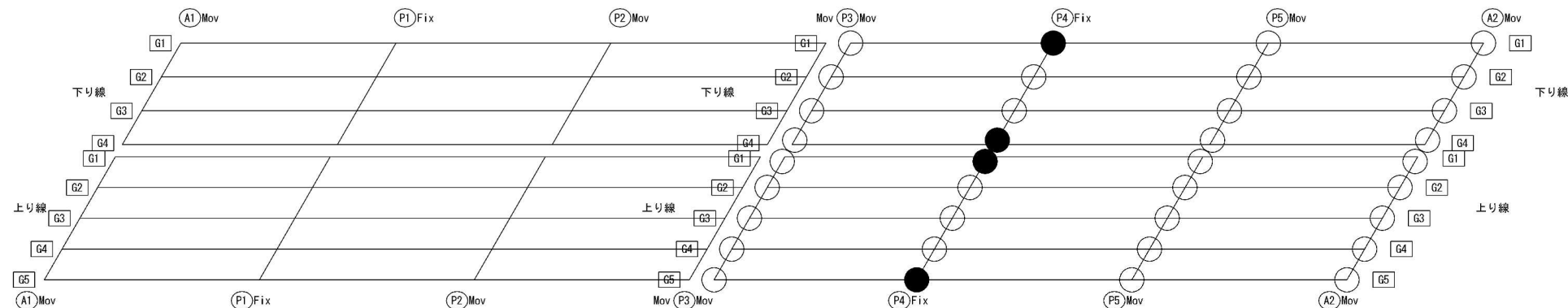
⑧  SS41



⑤ SC46またはSS41

⑥ SS41

配置図

[illegible]

部番	部品名称	材 質	個数	1箇所当り延長 (m)	箇所数	数 量 (m)	備 考
⑤	サイドブロック	SC46HSS41	2	0.520	4	2.08	

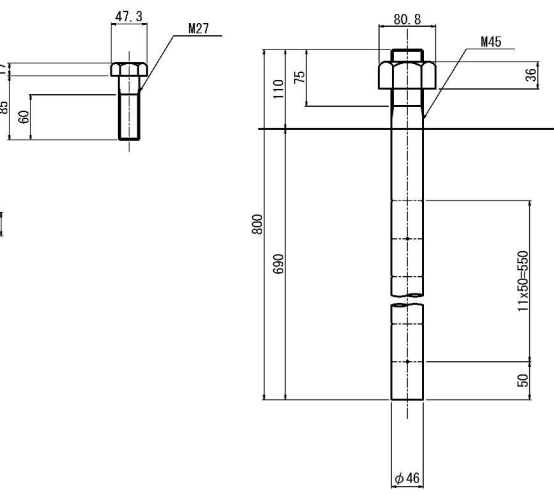
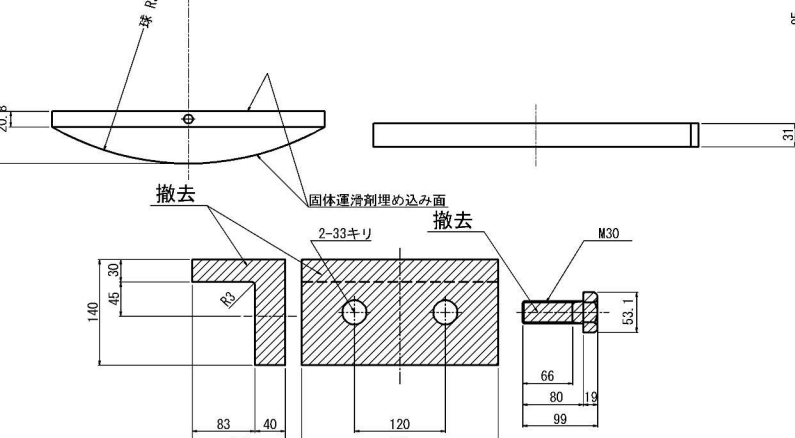
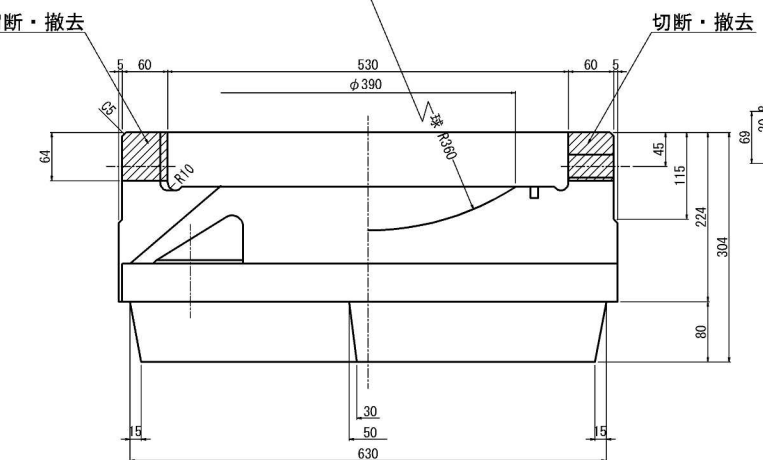
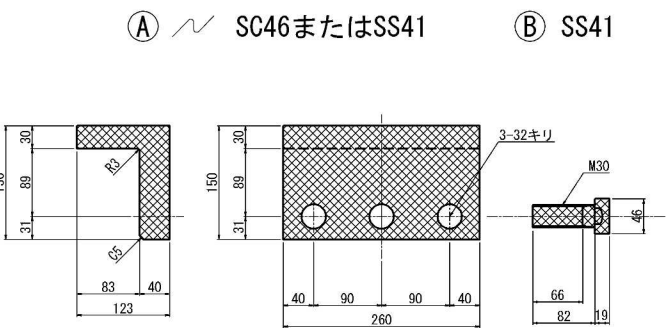
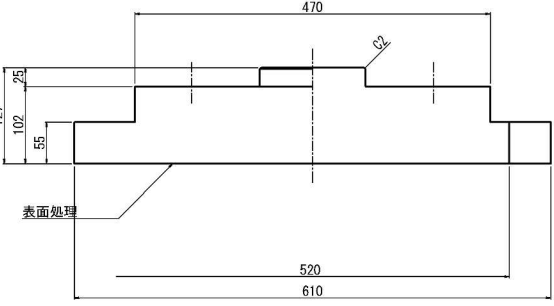
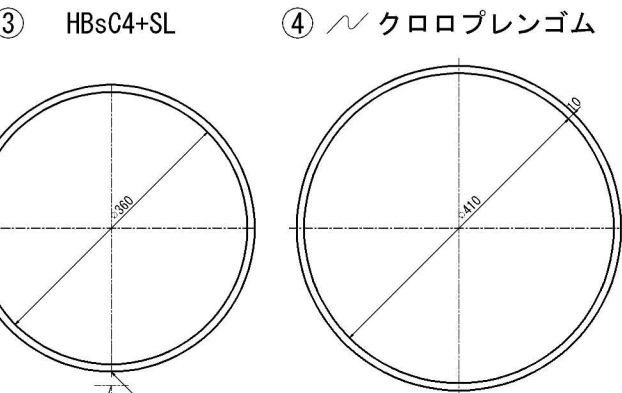
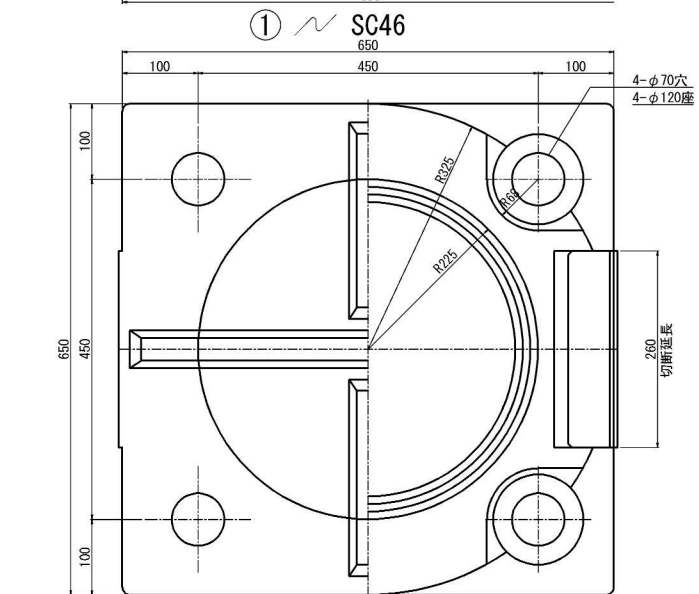
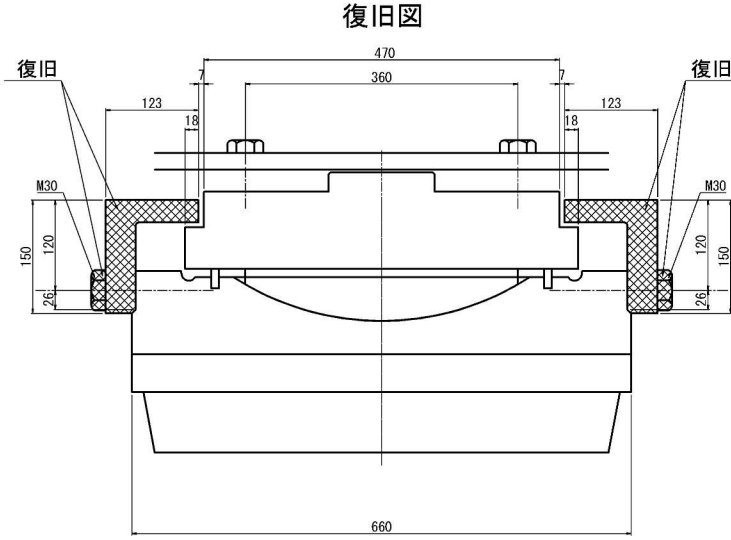
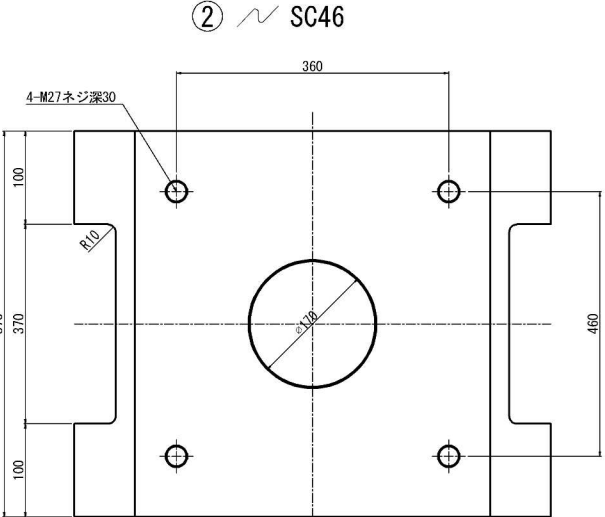
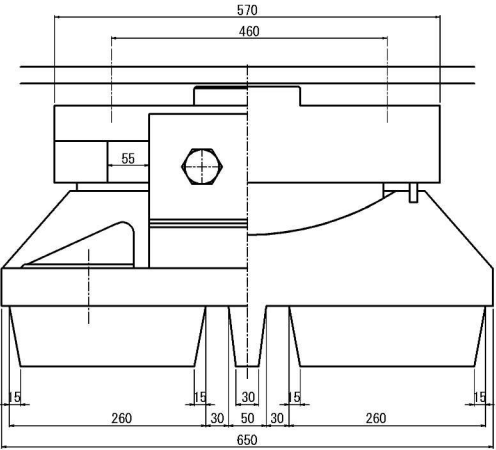
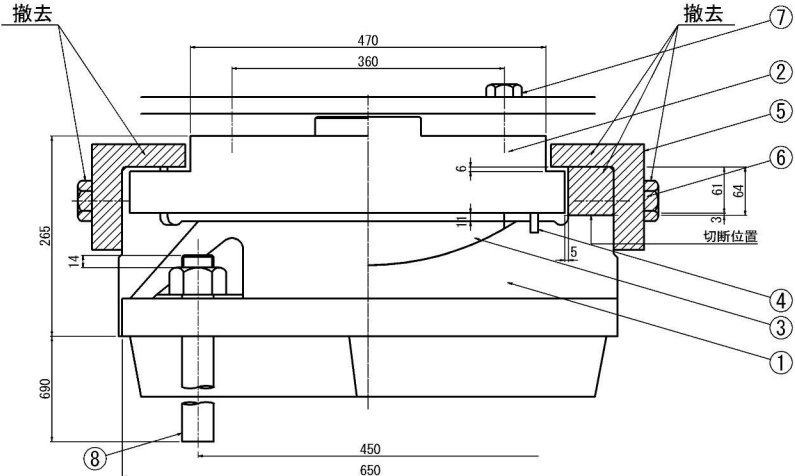
[illegible]

部番	部品名称	工 種	単位	個数	1箇所当り数量	箇所数	数 量	備 考
(B)	ポルト		箇	3	6	4	24	M30
(A)	サイドブロック	現場鋼板孔引	箇所	2	6	4	24	32φ
(A)	サイドブロック	塗装面積	m ²	2	0.308	4	1.2	
(B)	ポルト		m ²	6	0.088	4	0.4	

八 戸 自 動 車 道 橋引馬淵川橋耐震補強工事			
奥入瀬川橋			
図面の種類	支承改良工詳細図(その7)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

奥入瀬川橋 支承改良工詳細図(その8) S=1:10
上り線 BP・A-5、下り線 BP・A-6

撤去図



撤去数量表

部番	部品名称	材質	個数	1箇所当り重量(kg)	箇所数	数量(kg)	備考
①	下 管	SC46	1	15.675	4	62.7	
⑤	サイドブロック	SC46#SS41	2	31.300	4	125.2	
⑥	ボルト	SS41	4	2.600	4	10.4	M30
合計						198.3 kg	

切断延長数量表

部番	部品名称	材質	個数	1箇所当り延長(m)	箇所数	数量(m)	備考
⑤	サイドブロック	SC46#SS41	2	0.520	4	2.1	

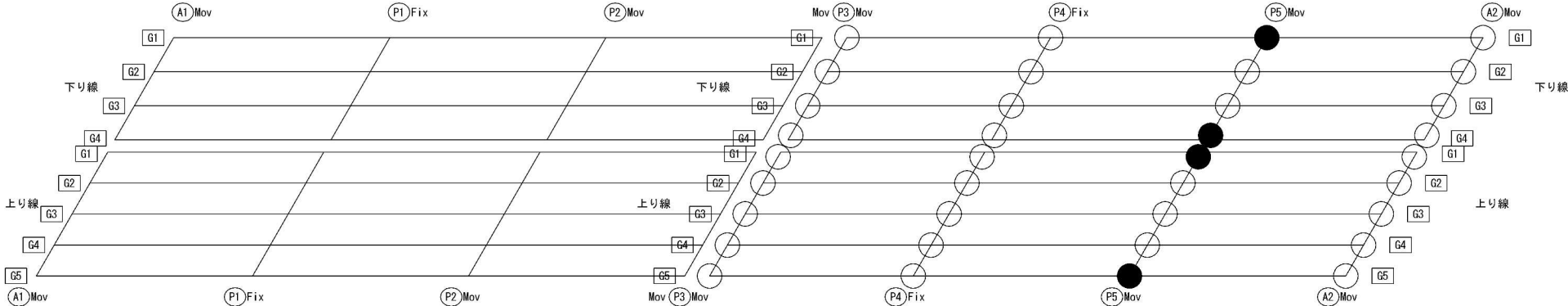
復旧重量数量表

部番	部品名称	材質	個数	1箇所当り重量(kg)	箇所数	数量(kg)	備考
A	サイドブロック	SC46#SS41	2	34.656	4	138.6	
B	ボルト	SS41	6	3.528	4	14.1	M30
合計						152.7 kg	

復旧数量表

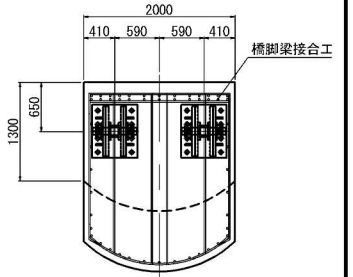
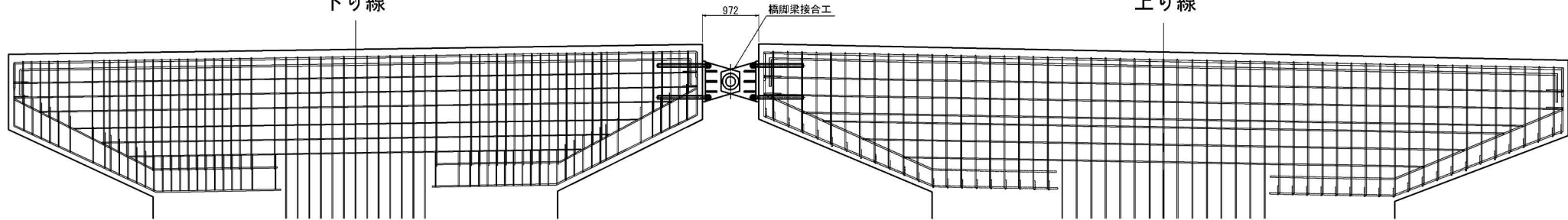
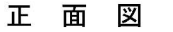
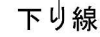
部番	部品名称	工 種	単位	個数	1箇所当り数量	箇所数	数 量	備 考
B	ボルト		個	3	6	4	24	M30
A	サイドブロック	現場鋼板孔明	箇所	2	6	4	24	32φ
A	サイドブロック	塗装面積	m2	2	0.308	4	1.2	
B	ボルト		m2	6	0.088	4	0.4	

配置図

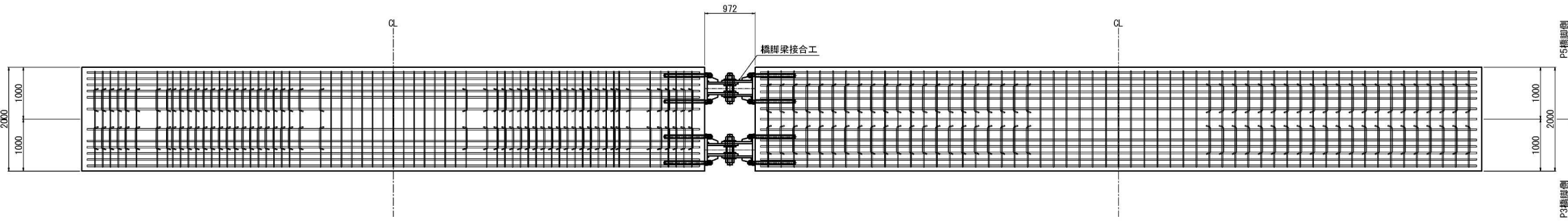
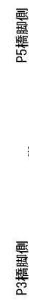


八 戸 自 動 車 道 櫛引馬瀬川橋耐震補強工事	
図面の種類	奥入瀬川橋 支承改良工詳細図(その8)
縮 尺	図 示 図面番号
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所

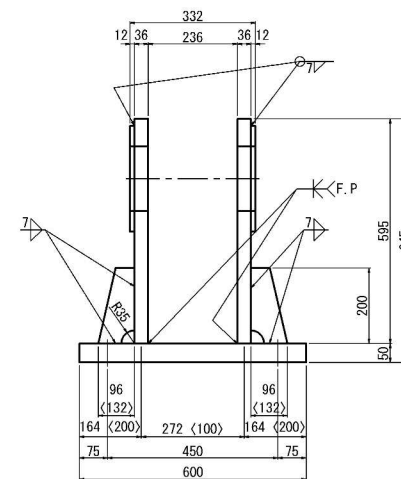
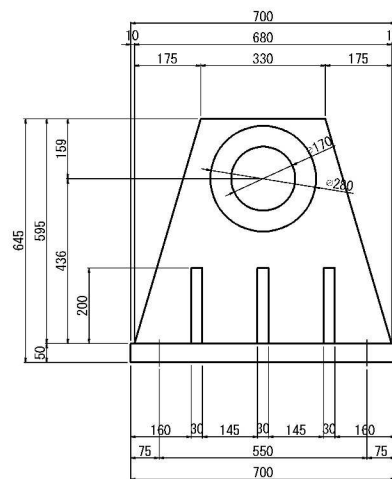
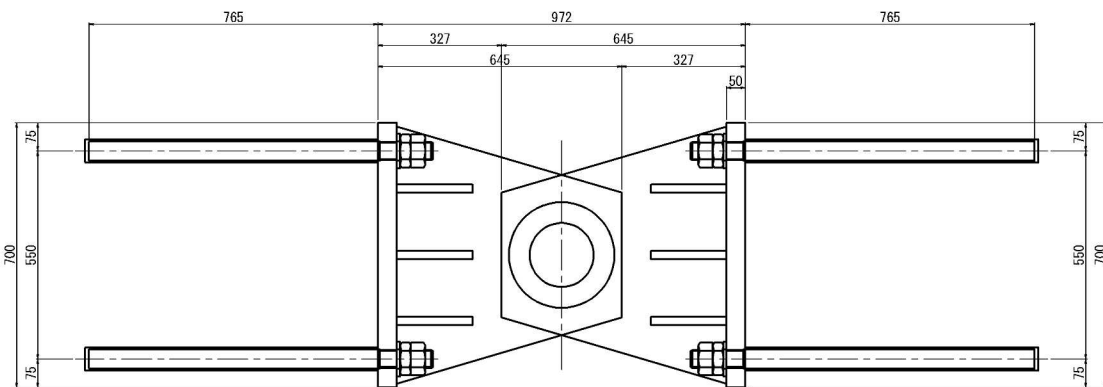
上り線



ブラケット詳細図 S=1:20

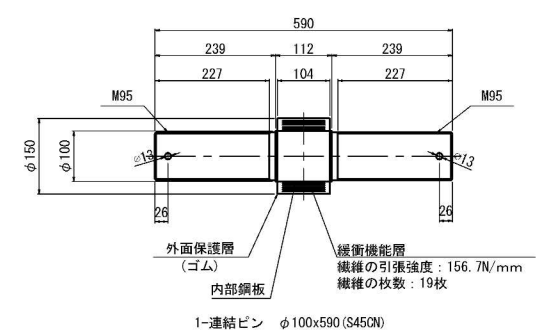


側面図

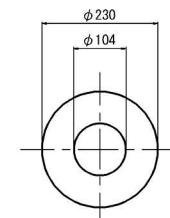


連結ピン S=1:15

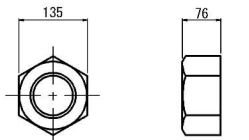
1基あたり(製作数:2)



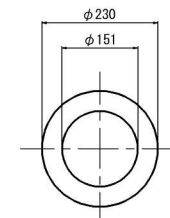
1-連結ピン $\phi 100 \times 590$ (S45CN)



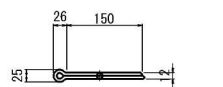
2-ワッシャー $\phi 230(\phi 104) \times 22$ (SS400)



2-ナット(1種) M95 (SS400)



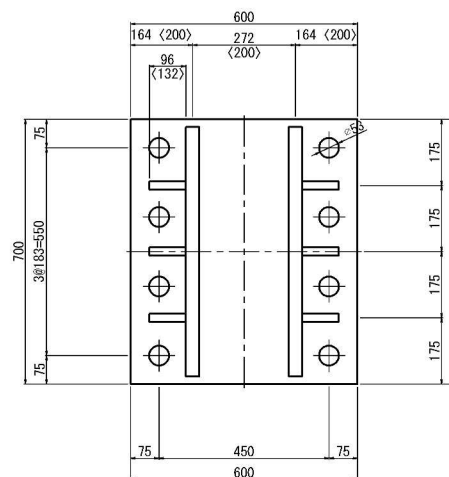
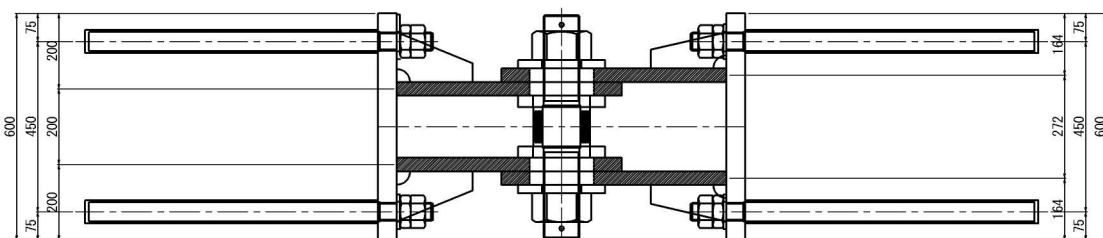
2-スぺーサー $\phi 230$ ($\phi 151$) $\times 30$ (ゴム)



2-割りピン $\phi 13 \times 150$ (SUS304)

アンカーボルト詳細図 S=1:15

1基あたり(製作数:8)



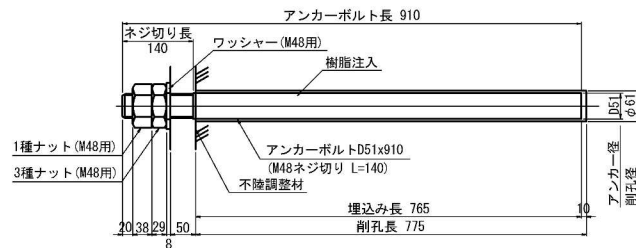
1基あたり(製作数:4<4>)

- 1-Base PL 600×50×700 (SM400A)
 2-Top PL 680×36×595 (SM400A) (Net:69%)
 2-Cov PL 280×12×280 (SM400A) (Net:50%)
 6-Rib PL 96 (132)×30×200 (SM400A) (Net:76%<69%)
- ※ 〈 〉 内数値は下り線側を示す。

※〈 〉内数値は下り線側を示す。

アンカーボルト詳細図

1基あたり(製作数:8)



6-アンカーボルト D51×910(SD345)

6-ナット・ワッシャー-M48用(SS400)<1種, 3種>

特記事項

- 1) 連結金具の露出部、及び露り部を除く付属金具及びアンカーボルト類は、溶接部鉛メッキ処理（厚取：H/D2 T 4 9）を施すこと。
- 2) 取付金具類は、溶接部鉛メッキ処理（厚取：H/D2 T 7）を施すこと。
- 3) 連結金具の寸法、鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地調査の上最終決定すること。なお、寸法を変更する時には必要に応じて応力計算を行うこと。
- 4) また、ピン本体と鉄骨部は加硫接着したものを使用すること。
- 5) 指示された溶接は完全溶け込み溶接を行い、鉄筋を切らないようにすること。

八戸自動車道 楢引馬淵川橋耐震補強工事			
奥入瀬川橋		橋脚梁接合工詳細図	
図面の種類			
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管 理 事 務 所		